



# 報会師剤薬沖新大

No.312. 2022(令和4年) 3・4・5月号



沖繩県薬剤師会

# ／目／次／

## 薬剤師綱領

|           |                                                      |
|-----------|------------------------------------------------------|
| トピックス     | 岸田文雄内閣総理大臣との意見交換会に出席…………… 大城 喜仁 ( 2 )                |
|           | 松野博一内閣官房長官との面会…………… 長嶺 勇作 ( 2 )                      |
| 表 彰       | 令和3年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰 (新川重一先生)…………… 長嶺 勇作 ( 3 )     |
|           | 第53回沖縄県公衆衛生大会長表彰 (又吉智賀子先生)…………… 長嶺 勇作 ( 3 )          |
| 総 会       | 第85回臨時総会開催…………… 大城 喜仁・玉寄 博之 ( 4 )                    |
| 総 会 資 料   | 令和4年度事業計画および令和4年度収支予算…………… ( 7 )                     |
|           | 令和4年度会費額、その他議案資料…………… ( 19 )                         |
| 地域医療提供    | 厚生労働省事業 令和3年度成育医療分野における薬部療法等に係る連携体制構築推進事業            |
|           | ～沖縄県薬剤師会の取り組み及び実施報告～…………… ( 22 )                     |
|           | ～中部地区薬薬連携研修会～…………… 平安座 有美 ( 27 )                     |
|           | ～小児在宅医療と薬物療法の特殊性～…………… 饒平名 千春 ( 28 )                 |
|           | ～多職種連携～…………… 宮本 直樹 ( 30 )                            |
|           | ～連携シート・広報ポスター・関連記事～…………… ( 33 )                      |
| 薬 事 情 報   | 令和3年度医療安全講習会報告…………… 平良 恭子 ( 38 )                     |
| 薬事情報・災害対策 | 新型コロナウイルスワクチン及び医療用抗原検査キットに関する研修会報告… 吉田 典子 ( 40 )     |
| 女性薬部会     | 暮らしに役立つ薬膳教室…………… 平良 仔己子 ( 42 )                       |
|           | 令和3年度第2回妊娠・授乳とくすりの研修会に参加して…………… 島袋 優子 ( 44 )         |
| 寄附・支援金    | 沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式…………… 大城 喜仁 ( 46 )                    |
| D I       | 薬事情報おきなわNo. 269…………… 薬事情報センター ( 47 )                 |
| 薬連だより     | 古謝玄太氏に三連盟が推薦状を交付…………… 大城 喜仁 ( 63 )                   |
|           | 沖縄県薬剤師連盟 令和3年度臨時評議員会…………… 大城 喜仁・玉寄 博之 ( 64 )         |
|           | 政幸だより～全国支部訪問を振り返って・全国幹事長連絡協議会開催～… 神谷 まさゆき ( 66 )     |
|           | オレンジ日記～予算委員会で質問・政府予算の成立とウクライナ大統領の国会演説～… 本田 顕子 ( 68 ) |
|           | 国会レポート ～診療・調剤報酬の改定、令和4年度予算成立～…………… 藤井 基之 ( 69 )      |
| 薬 草 学     | 身近な薬草を知ろう 第54回 クチナシ：山梔子：梔子…………… 狩俣 イソ ( 70 )         |
| リレー随筆     | 玄米と私(とコロナ)…………… 平田 崇 ( 72 )                          |
| 転 載 記 事   | 交通遺児の夢かなえて 県内4医療団体が寄付…………… ( 46 )                    |
|           | 薬学部設置の基本方針策定へ 沖縄県、来年度予算案…………… ( 74 )                 |
|           | 参院沖縄区に古謝氏、薬剤師で元総務官僚 自民党新人の38歳…………… ( 74 )            |
|           | 薬学部新設、支援先大学や時期も明記へ 沖縄県が基本方針で…………… ( 75 )             |
|           | 「健康」含む新たな産業構造に意欲 薬学部新設は創薬人材創出にも…………… ( 76 )          |
|           | 抗原検査キット県内に浸透…………… ( 77 )                             |

## ・表紙

題字：豊平峰雲

「マカオの薬局」 photo by 山里 美恵子 撮影地：中華人民共和国マカオ特別行政区

|         |                               |      |
|---------|-------------------------------|------|
| 日 薬 通 達 | 令和3年度医薬品販売制度に関する自己点検結果について    | (78) |
| 会 務 報 告 | 令和4年1月～3月分                    | (80) |
|         | 沖縄県薬剤師連盟会務報告(令和4年1月～3月分)      | (81) |
| 計 報     | 謹んでご冥福をお祈り申し上げます              | (83) |
|         | (千田兼徳先生、松村喜子先生、江口幸典先生、神谷正秀先生) |      |
| 会 員 作 品 | 誌上ギャラリー(裏表紙)について              | (84) |
| 編 集 後 記 |                               | (84) |
| お 知 ら せ | Facebookをご覧ください!              | (39) |
|         | 地区・部会からの原稿をお寄せ下さい!            | (39) |
|         | 会報原稿募集のご案内                    | (73) |
|         | 沖縄県薬剤師連盟Facebookをご覧ください!      | (77) |
|         | 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について      | (83) |

## 薬剤師綱領

一 薬剤師は国から付託された資格に基き、  
医薬品の製造、調剤、供給において、その固有  
の任務を遂行することにより、医薬水準の向  
上に資することを本領とする

一 薬剤師は広く薬事衛生をつかさどる専門職  
としてその職能を発揮し、国民の健康増進に  
寄与する社会的責務を担う

一 薬剤師はその業務が人の生命健康にかかわる  
ことに深く思いを致し、絶えず薬学、医学の  
成果を吸収して、人類の福祉に貢献するよう  
努める

日本薬剤師会

## トピックス

### 岸田文雄内閣総理大臣との意見交換会に出席

去る5月14日、沖縄ハーバービューホテルにおいて、翌15日の本土復帰50周年記念式典に岸田文雄内閣総理大臣が参列のための来沖に合わせて開催されることになった各関係団体との意見交換会に、本会から前濱朋子会長と川満直紀副会長が出席した。

沖縄県内の国公立大学に薬学部を創設する活動の経緯と沖縄県内の現状を端的に説明の上、「県内国公立大学に薬学部を創設することにより、薬剤師不足による地域の医療提供体制の格差是正だけでなく、沖縄の天然資源を利用した医薬品開発の推進や医薬品製造に関連した新たな産業振興等が期待される。現在、琉球大学や名桜大学において薬学部創設について検討いただいているが、国立大学の定員の問題や建設費の財源等、様々な課題があり、大学側だけでは課題解決が大変難しい



と聞いている。沖縄県は復帰50周年を迎えるが、これまで県内では薬剤師の養成教育が行われておらず、SDG s の目標4『質の高い教育をみんなに』の達成のためにも、岸田総理には、是非、県内国公立大学への薬学部創設の実現に向けて、力添えをいただきたい。」と記載した要請文を事前に提出していた。

(文：事務局 大城喜仁)

### 松野博一内閣官房長官と面会

去る4月25日、沖縄県医師会館にて松野博一内閣官房長官、沖縄県薬剤師会（前濱朋子会長、姫野耕一理事）、沖縄県県看護協会（平良孝美会長）による三者面会が行われた。

冒頭で、松野内閣官房長官が、「沖縄県におけるワクチン接種率が全国平均を12.3%も下回っており、特に若年者層での未接種が目立つ。若年者でも感染すると重症化するケースが出ており、後遺症の心配もある。」

と指摘があった。

前濱会長から、「県内各市町村、離島においてもワクチン充填業務に薬剤師の派遣を行っている。薬局では、服薬指導や医療用抗原検査キットを販売した際に、ワクチンの接種促進の指導助言をしている。」と報告した。

その後、三者間で10分程度意見交換、記念撮影を行い、面会は終了した。

(文：事務局 長嶺勇作)





## 令和3年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰

### 新川 重一 先生、おめでとうございます



本会会員の新川重一氏が、公衆衛生事業功労者の厚生労働大臣表彰を受賞した。

本来であれば、全国学校薬剤師大会にて表彰式が執り行われるが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

新川氏は、昭和45年に宜野湾市に新川薬局を開局し、薬局経営の傍ら、厚生労働省の事業にて「宜野湾市生活習慣改善まちかど相談所事業」や「宜野湾市回想法“かたりあしばな教師”」などを実施する等、今現在も地域住民の健康、病気の予防等に積極的に取り組み、公衆衛生の普及に貢献している。また、昭和47年から平成31年まで宜野湾小・中学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数の学校を受け持ち、積極的に学校薬剤師活動を行いながら学校環境衛生に係る定期検査や指導助言、薬物乱用防止の講話や禁煙活動を行い、児童生徒の健康保持に取り組まれた。

これらの活動が認められ、同表彰を受賞した。

(文：事務局 長嶺 勇作)

## 第53回沖縄県公衆衛生大会長表彰

### 又吉 智賀子 先生、おめでとうございます



本会会員の又吉智賀子氏が、第53回沖縄県公衆衛生大会長表彰を受賞した。

本来であれば、沖縄県公衆衛生大会にて表彰式が執り行われるが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

又吉氏は、平成18年4月に那覇市立垣花小学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数の学校薬剤師に就き、専門的立場から学校環境衛生検査の指導助言を行い、公衆衛生の向上に貢献している。また、平成22年には学校薬剤師部会的那覇支部長を担当する等、組織の強化及び会員の資質向上にも貢献された。

これらの活動が認められ、沖縄県公衆衛生大会長表彰を受賞した。

(事務局：長嶺 勇作)

## 総会

## 第85回 臨時総会 開催

日時：令和4年3月20日（日）13:30～14:25

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

第85回臨時総会は、盛本直也常務理事の司会により進行した。

司会より、代議員には、「新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえた今回の臨時総会開催の取扱いについて、海外渡航者、感染者への濃厚接触者、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、さらに参加に際しては、マスク着用や手指消毒等の感染予防を心掛け、濃厚接触を避けていただく。」「まん延防止等重点措置が解除されたが、未だ高止まりの状況であることから、去る2月12日開催の本会理事会にて、本臨時総会の開催、運営方法について協議した結果、『会場での感染防止に努めつつ、最小限の運営に徹すること。』並びに、『できるだけ、書面評決もしくは委任状による議決権を行使いただくこと。』で決議された。」「最終的な議題および関係資料が3月の理事会で決議された後、直ちに関係書類と出席確認票を発送した。」ことを述べた。

また、本臨時総会の出席者内訳について、「50人の代議員の内、会場出席4人、書面評決書提出による議決権行使34人、議長へ委任12人となっている。」「Webからは14人の代議員と一般会員1人が視聴参加予定である。」ことを述べた。次に、配布資料の確認が行われた。

開会の辞を中村克徳副会長が、「近年にもまして、コロナ禍の影響で薬剤師への期待が高まっている。県民の期待に応えるべく益々薬剤師の職能を発揮していく必要がある。」と述べた。

定款第15条により、議長と副議長の選出が行われ、議長に糸満支部の伊敷松太郎代議員、副議長には小禄支部の又吉智賀子代議員が選出され、代議員50名の内、会場出席4人、書面評決書提出による議決権行使34人、議長へ委任12人の出席扱いとすることを確認し、議

決権定数（代議員総数の過半数）を満たしていることが述べられ、第85回臨時総会の成立を宣言した。

### 会長あいさつ

はじめに、3月11日に東日本大震災から11年となった東北地方で震度6の大きな地震が発生したことについて、被災された方々と関係者へ見舞いの言葉を述べた。

「新型コロナウイルス・オミクロン株による感染の終息点が見えぬ中、より強い感染力を持つとされるオミクロン派生型が沖縄県内でも検出され、初めて10歳未満の小児への感染も判明し、オミクロン株から置き換わりつつあると発表されている。この現状を踏まえ、本会は医療団体として、本日の臨時総会の完全対面での開催は困難と判断し、先に開催された日本薬剤師会臨時総会に準じての新しい試みで開催することになった。このような中、会場へ参集いただいた代議員には心より御礼を申し上げる。そして、本日この場に参加ができず、Webでの出席を余儀なくされた代議員においては、医療に携わる者としてやむを得ない判断で現地参加以外の方法で選択したものと思う。6月19日に開催を予定している第86回定時総会では完全対面での開催ができることを願っている。先のまん延防止等重点措置下において、特に会員薬局には、医療用抗原定性検査キットを使用した検査実施体制について、沖縄県が緊急設置した抗原定性検査・陽性者登録センターへの協力や、卸売販売業者から購入することが困難となった社会機能維持者である事業者への販売等、時限的特例措置等への対応について度重ねて緊急的な協力要請をしてきた。それにもかかわらず、迅速に対応いただいた会員薬局におかれて

は、誠に感謝申し上げます。この官民一体となった取り組みは、薬剤師の地域医療での存在を県民に示すことができたものと思う。4月の薬価改定は薬剤師の対人業務が期待されているとはいえ、実際には厳しいものとなっている。本日の臨時総会では、令和4年度の事業計画、予算、会費額等についての審議を執行する。本会の今後の活動がより良きものになるように審議していただきたい。また、令和4年度も役職員と共に頑張っていく所存である。」と述べた。

### 報告第1号 令和4年度事業計画について

西川裕常務理事が、配布資料に沿って事業計画を滞りなく説明した。各委員会、各部会の事業計画については、特に新規、変更のあった箇所については具体的に説明した。

### 報告第2号 令和4年度歳入歳出予算について

川満直紀副会長（財務担当理事）が、これら予算は、今年度の収支状況を踏まえ本会顧問税理士と調整、去る2月25日開催の財務委員会においても調整と確認をして、3月12日開催の理事会にて承認を得ていると先に述べた。資料の説明は、事業会計ごとに概要を説明した後、予算書の数字を読み上げる順序で行われた。特に、前年度予算や今年度決算見込額との差額が大きい科目については、具体例を挙げて説明した。また、合算内訳予算表より、公益事業にあたる実施事業等会計、共益及び収益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・とよみ等）、薬剤師会本体の管理にあたる法人会計についても説明し、会費収入だけに頼らない経常収益の強化、国や県の補助金の獲得・拡充を図っていることも述べた。

### 議案第1号 令和4年度会費額に関する件

川満直紀副会長（財務担当理事）が、各種会費額は昨年度と同じ設定額となっているが、今年度の収支状況を踏まえ、去る2月25日開催の財務委員会を通し、3月12日開催の理事会にて承認を得ていると先に述べ、各種

会費について説明した。また、会員からの会費は、あるから使うのではなく、節約するところは節約して、国や県からの補助金が利用できるところは補助金を利用し、無駄が無いように、また効率的に事業を行うように心掛けるとも述べられた。

議長が、議案第1号について、会場参加の代議員へ賛成方への挙手を求め2人全員が挙手（議長・副議長を含まず）、書面表決による賛成が34人であることから、定款第17条第1項により、賛成が過半数であり、賛成多数で、議案第1号が承認されたことを述べた。

### 議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会

#### 定款の一部を改正する定款の件について

阿部理事より、去る1月15日開催の理事会にて本定款変更の議案について、承認を得ていることを述べ、変更に至る経緯及びその必要性について、新旧対照表等の資料を用いて説明した。

なお、今回の一部改正は正会員会費のみを対象としており、賛助会員会費は含まれていないことが述べられた。

議長が、議案第2号は定款の変更事項となっていることから、定款第17条第2項より、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数の賛成を必要とすることを述べた。

議長が、会場参加の代議員へ賛成方への挙手を求め2人全員が挙手、書面表決による賛成が34人、議長への委任12人も含め、賛成が3分の2以上の賛成多数で、議案第2号が承認されたことを述べた。

滞りなく会を進行した議長と副議長が降壇した。

閉会の辞を村田美智子副会長が、「前濱会長第一期目の初めての臨時総会で幾分緊張もしたが、皆様方の協力の下、議題すべてを無事に審議することができた。本会は今後とも、会員一人一人の意見に耳を傾け、支持される開かれた会であるよう努めていく。」と述べ、予定通りの時間で閉会となった。

（文：事務局 大城喜仁・玉寄博之）

<第85回臨時総会次第>

1. 開会の辞

(議長・副議長選出)

2. 議長・副議長登壇あいさつ

(点呼、宣告)

3. 会長あいさつ

4. 議題

報告 第1号 令和4年度事業計画について

第2号 令和4年度歳入歳出予算について

議案 第1号 令和4年度会費額に関する件について

第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会定款の一部を改正する定款について

5. 閉会の辞

司 会 常務理事 盛本 直也

副 会 長 中村 克徳

議 長 伊敷松太郎

副 議 長 又吉智賀子

会 長 前濱 朋子

常務理事 西川 裕

副 会 長 川満 直紀

副 会 長 川満 直紀

理 事 阿部 義則

副 会 長 村田美智子

[第85回臨時総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

|                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ○前濱 朋子 (会長)     | ○川満 直紀 (副会長)    | ○中村 克徳 (副会長)    |
| ○村田美智子 (副会長)    | ○佐藤 雅美 (常務理事)   | ○西川 裕 (常務理事)    |
| ○宮城 幸枝 (常務理事)   | ○盛本 直也 (常務理事)   | ○浅沼 健一 (北部地区代表) |
| ○阿部 義則 (法務対策担当) | ○石川 恵市 (中部地区代表) | ○上原 卓朗 (青年部会代表) |
| ○古謝 真己 (宮古地区代表) | ○島袋さゆり (卸部会代表)  | ○知名 博樹 (学薬部会代表) |
| ○名嘉 紀勝 (南部地区代表) | ○吉田 典子 (薬事情報担当) |                 |
| ○江夏 京子 (監事)     | ○山里 勇 (監事)      |                 |

<代議員>

|                |                  |                |
|----------------|------------------|----------------|
| ※玉城 純 (名護支部)   | ※新垣 紀子 (首里支部)    | ※大城 博次 (浦添支部)  |
| ○西坂 順 (名護支部)   | ※大塚成一郎 (首里支部)    | ※杉山 英司 (浦添支部)  |
| ※屋嘉比康作 (名護支部)  | ※神谷朝斗志 (首里支部)    | ※武富 弘記 (浦添支部)  |
| ※江夏 恭範 (うるま支部) | ※磯 昭子 (那覇東支部)    | ※日高久美子 (浦添支部)  |
| ※徳嶺 恵子 (うるま支部) | ※太田井 寛 (那覇東支部)   | ※宮城 友寛 (浦添支部)  |
| ※福地 健治 (うるま支部) | ※上原美沙子 (那覇東支部)   | ※新垣 秀幸 (糸満支部)  |
| ※阿嘉 秀寅 (沖縄支部)  | ※仲宗根かおり (那覇東支部)  | ☆伊敷松太郎 (糸満支部)  |
| ※玉城 幸輝 (沖縄支部)  | ※備瀬 紀子 (那覇東支部)   | ※小湾 勝敏 (糸満支部)  |
| ※玉城 武範 (沖縄支部)  | ※又吉 晴美 (那覇東支部)   | ※松本 圭五 (糸満支部)  |
| ※仲間 聖 (沖縄支部)   | ※狩俣 イソ (那覇北支部)   | ※兼城 崇 (南風原支部)  |
| ※普久原 隆 (沖縄支部)  | ※平良 博文 (那覇北支部)   | ※川上雄一朗 (南風原支部) |
| ※諸見里めぐみ (沖縄支部) | ※枡井 亮太 (那覇北支部)   | ※川上 善久 (南風原支部) |
| ※四谷 祐子 (沖縄支部)  | ※我喜屋智香子 (那覇中央支部) | ※城間 盛伸 (南風原支部) |
| ※藤原 明人 (嘉手納支部) | ※小湾 喜彦 (那覇中央支部)  | ※知念 大輔 (南風原支部) |
| ※新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ※普久原理江 (那覇中央支部)  | ○下地 仁 (平良支部)   |
| ※新川 祥平 (宜野湾支部) | ※國吉 直子 (小禄支部)    | ※新嵩 由香 (石垣支部)  |
| ※仲座 方利 (宜野湾支部) | ◎又吉智賀子 (小禄支部)    |                |

☆：議長 ◎：副議長 ※議長委任・書面表決



## 総会資料

### <報告第1号 令和4年度事業計画の件>

## 令和4年度沖縄県薬剤師会事業計画

～はじめに～

我が国は、コロナ禍から脱却し通常の生活を取り戻すと共に、2040年には働き世代が現在より1,000万人以上減少し、高齢者は200万人程度増加する社会構図をどのように乗り越えていくかが大きな課題である。その中で、地域コミュニティを維持し、地域住民の医療・介護・生活支援を支えていくことを実行していく必要がある。

国は、「国民皆保険」「社会保障制度・地域コミュニティの維持発展」から、超高齢社会における地域医療提供体制の姿として「地域包括ケアシステム」の構築を目指している。

この仕組みでは、「医療・介護・生活支援」を三位一体として、医療関係者にも適切な連携体制の構築を求めており、薬剤師・薬局は、地域における医療・社会インフラとして、調剤のみならずセルフケア・セルフメディケーションを支える一般用医薬品等の提供の充実を図るなど、その目的達成に向けて積極的に取り組んでいくことが肝要である。

そのため、全ての薬局が健康サポート機能、かかりつけ機能、高度薬学管理機能を発揮するために、薬局機能の充実強化を図るための研修を推進し、行政とも協力し、地域医薬品提供計画の策定を目指すなどその環境整備を図っていく。

その関連として、次期（第8次）の医療計画では5疾病6事業が規定されるが、そこに規定されているがんについては専門医療機関連携薬局の整備、小児医療に対しては成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業を通じて必要な対応を令和3年度開始している。その他の疾病群、事業についてもこれまで取り組んでいる内容を基礎としてその充実を図っていく。

ジェネリック医薬品を中心とする医薬品供給の逼迫については、患者に必要な医薬品を提供する責務を有する薬剤師・薬局として看過できない重大な問題であると認識している。そのため、日本薬剤師会及び行政と連携して医薬品提供体制構築の前提となるメーカーの医薬品生産体制、卸による流通に対しても、それが安定的かつ医薬品を必要とする薬局等が適切に購入できる体制の構築を目指していく。

セルフケア・セルフメディケーションに対しては、上述した薬局の健康サポート機能の充実を図るための研修を充実するほか、必要な環境整備に取り組んでいく。

医療分野のICT・デジタル化の推進については、国民の安全を守る薬剤師・薬局の業務に与える影響も見定めて、オンライン資格確認、電子処方箋、電子お薬手帳など国が推進している事業に、日本薬剤師会が必要な意見を述べていくことに同調し、各薬局で適切に取り組めるよう支援する。

会員の入会促進については、新たな会員サービスの充実として、各会員への情報提供、研修の充実を図るため、日本薬剤師会役員が対応している国の各種会議等の情報や各種行政等の通知を速やかに各会員にダイレクトに届ける「日薬メールナビ」の普及促進をする。

新型コロナウイルス感染症については、まだ収束の見通しが立たないが、薬剤師会は薬剤師が社会貢献活動を行うプラットフォームであり、薬局は社会インフラである。この国難に対し、県民へのワクチン接種の協力、環境衛生知識の啓発普及を今後とも進める他、その治療薬の医薬品提

供体制を構築し、地域住民が必要な検査を行える環境を整備し、医療的ケアにつなげていくことなどを通じ、患者・県民のため、会員とともに、コロナ問題に立ち向かっていきたい。

以上を基本として、本年度は、自律した専門職業人団体として、会員の力を結集し、県民の健康な生活に寄与する自覚と覚悟の下、長期的な展望を描く広い視野とともに、短期的な課題解決に向けた俊敏な行動もできる組織作りを目指し、各地区薬剤師会との連携・協力の下、以下に掲げる事項に取り組んでいく。

## 1. 時代の変化に即した薬剤師・薬局機能の充実のための取り組み

昨年は2020年に国内初の感染が発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、多くの会議等が対面での開催が困難な状況となった。加えてコロナウイルスの変異株の出現もあり、これまで経験したことのない第4波、第5波のパンデミックの到来と、それに対処するための度重なる緊急事態宣言が発令されるなど、国民生活がCOVID-19に翻弄された一年となった。

昨年6月からスタートしたワクチン接種については、2回接種の完了を目指すという国の方針のもと、沖縄県内で各地の薬剤師が集団接種会場等で不足しがちなワクチンの打ち手を確保する観点から協力を行って頂いた。

調剤薬局では経験することのない、注射筒への充填作業等を通じて、迅速な接種環境の確保に協力するなど、通常の業務に加えて「有事における薬剤師の活動」が進められた年となった。

また、感染者の急増に伴い、自宅あるいは施設等で療養を余儀なくされた地域の方々への、切れ目のない医薬品提供体制を維持し、地域住民への円滑な医薬品提供を通じて、地域医療への貢献も滞ることなく実施できた。

一方、改正薬機法は施行2年目を迎え、超高齢社会を見据えた薬剤師・薬局の新たな姿を目指す、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局という認定薬局制度がスタートした。昨年中の新たな認定薬局の認定数は決して多いとは申しませんが、目先の認定にとらわれることなく、地域住民の医薬品ニーズに即応可能な新たな概念に基づいた基本的機能を備えた薬局として、その役割を担い地域住民から確実な信頼が得られるよう、本年は不断の努力が求められることになる。これまで以上にセルフケア/セルフメディケーションに積極的に取り組み、「医薬品の安全は薬剤師が守る」という気概のもとで、調剤業務とともに、薬剤師職務の両輪である、OTC医薬品への積極的な対応や、地域の方々からの健康相談等に対応する体制の構築が急務である。そのためには、地域の医薬品提供体制の実情を踏まえて、地域住民のニーズの解決に向けて的確・適切な取り組みが不可欠である。さらに近年の規制改革の圧力は、様々に形を変えながら、薬剤師業務の変革や規制緩和を求められている。医薬品の専門職を自他ともに任ずる薬剤師としては、国が進めるICT化やデジタル化が薬剤師業務に大きな影響を与えることに対して臆することなく、「薬剤師の本質的な業務」について自ら再検討を加えることが求められている。

「薬剤師の本質的な業務」については自ら再検討を加え、国民・患者の医薬品に係る安全を守るために、「薬剤師の役割は何か？」という基本的命題について、温故知新これまでの歴史を振り返りながら、現在の実態を踏まえて将来の在り方を模索し、「真に薬剤師の輝ける年」を目指したいと思います。

以上を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けてその一翼を担うとともに、患者・住民から信頼されて選ばれる「かかりつけ」としての機能と役割を充実・強化していくために、以下の事業を行う。

(1) 地域医療提供体制の構築推進

地域包括ケアシステムを基盤とした地域医療・保健等の提供体制において、「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた薬局のあり方について取り組む。これに係る地域や病院(行政や他医療職種および病院薬剤師など)との連携に係る事業の企画を行う。かかりつけ薬局・薬剤師を基本としつつ、健康サポート薬局、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局といった薬局の理念、機能を発揮できる環境整備のため、各種施策の検討や実施を行う。

(2) 地域包括ケアシステムを踏まえた介護、保健等の提供体制への取り組みの推進

一般用医薬品等の供給、販売制度における薬局・薬剤師のあり方について検討する。要指導医薬品・一般用医薬品販売の適正な普及啓発、セルフメディケーションの普及促進、医薬品販売制度の正確な理解と遵守状況の向上に資する取り組み等を行う。

(3) 災害時等の医薬品の確保・供給への対応

大規模地震や近年頻発する気象災害等に備えて、BCP(事業継続計画)の運用や各地区薬剤師会、関係団体との連携協力等、災害対策における当会の関与のあり方について検討する。また、災害時における情報共有の重要性に鑑み、安否確認システムの利用拡充等、連絡体制の整備についても取り組む。災害時等の感染症対策や新興・再興感染症対策等につき検討する。

(4) 公衆衛生・薬事衛生への対応

試験検査センターの協力のもとに、医薬品等の品質確認のための試験検査の実施にかかわる事業を行う。試験検査を通じて、医薬品等の品質確保が確実に行われることを目指し、公衆衛生に貢献するために活動する。学校環境衛生の維持管理、児童、生徒の健康やくすりの正しい使い方等について指導、助言する立場の学校薬剤師の支援を目的に活動する。

具体的には、行政や関係団体との連携のほか、学校薬剤師や学校関係者向けの資材の制作や研修会等を企画・実施する。

(5) 薬剤師養成のための薬学教育への対応

薬剤師を目指す薬学生(大学薬学部、薬科大学)の教育を支援する。特に、学生が5年生次に行う薬局での実務実習がより充実した質の高いものとなるよう、全国の薬学部と連携を図りながら取り組む。

また、県内の薬剤師偏在解消を目的として、沖縄県との連携のもと薬剤師確保対策事業を展開する共に雇用を促進し、薬学部の創設に向けて取り組む。

(6) 関係機関との連携強化

地区・職域薬剤師会および病院薬剤師会、保健行政や関連企業の薬剤師と連携強化を図ると共に、非会員薬剤師や薬学生へ本会活動を周知し、組織強化ならびに会員増大に務める。会務運営の効率化に努め、必要な関係諸団体とのさらなる連携強化を推進する。

## 2. 生涯学習

生涯学習については、今後も各種研修会、講演会など積極的に開催していく。その学習成果の確認として、JPALSのCLレベル6となる「薬剤師生涯学習達成度確認試験」や日本薬剤師研修センターなどの認定制度があり、今後も認定の取得等、積極的に研鑽することが望ましい。

地域包括ケアシステムの一翼を担うには、薬薬連携の中で高度化・専門化する薬物療法に責任を持ち、高度な薬学領域の知識と経験を得ることが必要である。そのため、学会が認める資格を修得することが重要であり、福岡県薬剤師会が主催している「認定薬剤師取得へ向けた継続セミナー」へ多くの会員を参加させるための「認定薬剤師育成支援事業」を活用し、専門薬剤師の育成を行う。また、薬剤師の医学・薬学的知識及び実践力の向上によるかかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会を開催する。これらの研修実施にあたり、2020年に世界的流行を認めた新型コロナウイルス感染症対策としてweb開催、ハイブリッド開催などの多角的な研修形態を推進していく。

本会の「研究倫理審査委員会」では、日本薬剤師会学術大会等の発表や論文投稿など、業績として残していくよう推進していく。

そのため、研修会等の企画・実施、学術大会の開催、学会発表や論文作成の支援など、生涯学習全般を推進するための支援体制の充実を図るべく、以下の事項を推進する。

- (1) 沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- (2) 新任・新人薬剤師研修会の開催
- (3) 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第17回学術大会（沖縄開催）の支援
- (4) 地域薬学ケア専門薬剤師などの薬剤師育成支援事業への参画並びに専門薬剤師の養成
- (5) 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の登録及び利用促進
- (6) かかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会の開催
- (7) 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の認定薬剤師取得の支援
- (8) 日本薬剤師会学術大会への参加・発表促進
- (9) 地域薬剤師会生涯研修の計画及び実施の支援
- (10) 病院薬剤師会との共催による学術講演会の開催
- (11) 他団体の実施する研修会・講演会への積極的参加の促進
- (12) 倫理審査の円滑な運用
- (13) 会員が求める新しい生涯学習の企画、実施

## 3. 関連事業

- (1) 健康とおくすり相談会の実施
- (2) 「薬と健康の週間」事業（10月17日～10月23日）
- (3) 各種関連協議会への参加協力
- (4) 関連機関団体との協議及び懇談
- (5) 関係行政当局との定期的連絡協議
- (6) おきなわ薬剤師会報の発行
- (7) 薬剤師求人求職斡旋事業、薬剤師確保対策事業
- (8) 日本薬剤師会各種保険への加入促進  
(薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険・休業補償保険)



- (9) 財政基盤の強化
- (10) 麻薬覚せい剤及び薬物乱用防止対策行事への参加協力
- (11) 公的介護保険制度への積極的参加
- (12) 「健康おきなわ21」の企画実践

#### 4.委員会・部会

##### (1) 学術研修委員会

- ① 第35回沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- ② 令和4年度新任・新人薬剤師研修会の開催
- ③ 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会主催第17回学術大会（沖縄開催）の支援
- ④ 地域薬学ケア専門薬剤師などの  
認定薬剤師育成支援事業への参画ならびに専門薬剤師の養成
- ⑤ かかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会の管理
- ⑥ 日本薬剤師会学術大会への参加・派遣・発表促進
- ⑦ JPALSの登録及び利用促進
- ⑧ 薬剤師生涯学習の支援
- ⑨ 生涯教育担当者連絡会議等への参加
- ⑩ 倫理審査の円滑な運用
- ⑪ その他、研修会・講演会の共催及び支援

##### (2) 地域医療提供体制対策委員会

- ① 薬薬連携会議の開催（薬薬連携及び医療従事者間の連携事業の推進）
- ② 医薬分業関連事業に関すること
- ③ お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動
- ④ おきなわ津梁ネットワークの推進
- ⑤ 健康サポート薬局機能の充実を図る研修と周知活動の実施
- ⑥ 在宅医療支援薬局の拡充と他職種への情報提供の実施
- ⑦ 成育医療分野における薬物療法に係る連携体制構築
- ⑧ 「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」認定サポート
- ⑨ 無菌調製研修会の実施（会営薬局うえはら無菌室の共同利用を支援）
- ⑩ ジェネリック医薬品の推進
- ⑪ その他、地域医療提供体制対策に関すること

##### (3) 医療保険委員会

- ① 適正な調剤報酬請求業務についての研修会の開催
- ② 共同指導・個別指導における指摘事項の研修会
- ③ 充実した薬歴簿作成についての研修会
- ④ 会報への「調剤報酬請求業務Q&A」の継続掲載
- ⑤ 新規保険薬局向け相談業務
- ⑥ 調剤報酬の改定に伴う薬局業務に必要な書類等の整備（掲示物・お薬手帳等）
- ⑦ その他、医療保険に関すること

(4) 保健・福祉委員会

- ① 健康とおくすり相談会等の薬剤師の予防医療に関わる事業
- ② 薬剤師の地域貢献に関する事業
- ③ 薬剤師認知症対応力向上研修会の開催
- ④ 地域包括ケアシステムにおける薬局薬剤師の役割に関する事業
- ⑤ 自殺対策に関する事業
- ⑥ 禁煙支援事業
- ⑦ 薬剤師のフィジカルアセスメントに関する事業
- ⑧ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する事業
- ⑨ その他、保健・福祉に関すること

(5) 薬事情報委員会

- ① 医薬品情報の管理・収集・提供
- ② 県民からの薬の相談及び県民向け広報活動  
(沖縄県難病相談支援センター「アンビシャス」原稿執筆等)
- ③ 日本薬剤師会「文献書誌情報検索システムBunsaku」事業
- ④ アンチ・ドーピング防止・啓発活動
- ⑤ 沖縄県薬剤師会ホームページの制作・企画・運用
- ⑥ 広報誌発行
- ⑦ 医療事故調査制度に関すること(沖縄県医師会医療事故調査支援委員会への参加等)
- ⑧ PMDA(医薬品医療機器総合機構)が集積する医療安全に係る関連事業の啓発・推進
- ⑨ 薬局における医療安全管理指針、業務手順書の定期的な見直しを啓発
- ⑩ 調剤業務、医薬品販売業務に関する過誤対策及び支援
- ⑪ 医療安全講習会の開催
- ⑫ DEM事業の実施
- ⑬ 高度管理医療機器等継続研修会の開催
- ⑭ 薬剤師会関連機関および他機関との機能連携
- ⑮ 地域公衆衛生活動の推進
- ⑯ 新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務(沖縄県委託業務)
- ⑰ 薬局における新型コロナウイルス感染症拡大防止事業に対する支援
- ⑱ その他(小児救急でんわ相談#8000のデータ管理、会営薬局の支援等)

(6) 災害対策委員会

- ① 新型コロナ等感染症への対応
- ② 沖縄県薬剤師会BCP(事業継続計画)の訓練
- ③ 災害時の救援活動等への医薬品・支援用品の準備
- ④ 災害拠点薬局・事前登録支援薬剤師の募集・訓練
- ⑤ 災害時における公衆衛生対策方法の周知
- ⑥ 救命活動に関する事業ガイドラインに基づいたBLS(一次救命救急)訓練、講習会開催
- ⑦ 県の防災計画・訓練等への積極的な参画
- ⑧ 県内医薬品卸売業者との災害時医薬品供給に関わる連携

- ⑨ 災害派遣及び災害支援薬剤師の育成研修会の開催
- ⑩ その他、災害対策に関すること

(7) 広報委員会

- ① おきなわ薬剤師会報の年6回隔月発行・会報掲載用取材
- ② 薬剤師職能のPR（県民への啓発・薬学生との懇談）
- ③ ホームページの効果的活用のための支援
- ④ 薬学部創設に向けての広報活動
- ⑤ マスコミへのタイムリーな情報提供
- ⑥ くすりと健康フェア（薬と健康の週間）PR活動
- ⑦ その他、広報に関すること（Facebook運営など）

(8) 財務委員会

- ① 一般会計、収益事業部の予算・決算に関すること
- ② 会費徴収に関すること
- ③ 収益事業部の運営・経済面での監督、指導
- ④ その他、予算・決算に関すること

(9) 会営薬局委員会

- ① 調剤報酬改定等に対応した運営に関すること
- ② 会営薬局であることを意識した運営に関すること
- ③ 会営薬局の労務環境に関すること
- ④ その他、会営薬局の運営等に関すること

(10) 試験検査センター委員会

- ① 令和4年度計画的試験
- ② 医薬品精度管理試験（日本薬剤師会）および  
登録試験検査機関技能試験（厚生労働省）の実施
- ③ 学校関係の水質検査等の委託業務
- ④ 会員並びに調剤薬局等からの医薬品等分析依頼への対応
- ⑤ 医薬品医療機器等法（旧薬事法）上における  
試験検査センター業務に関連する問い合わせへの対応
- ⑥ 学校薬剤師業務の支援
- ⑦ 本会会報誌に試験検査センターの業務紹介および周知事項等を掲載
- ⑧ その他、試験検査センター業務に関連すること

(11) 薬学生実務実習受入委員会

- ① 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへの参加派遣
- ② 本島及び先島においての認定実務実習指導薬剤師養成講習会（新規・更新）の開催
- ③ 指導薬剤師のスキルアップ研修会の開催
- ④ 実務実習指導薬剤師の適正配置と実習生のマッチング

- ⑤ 受入薬局への事前説明会およびサポート体制の充実
- ⑥ 早期体験実習の受入
- ⑦ 地区薬剤師会・他協力施設との連携
- ⑧ その他、薬学生実務実習受入に関すること

(12) 組織強化委員会

- ① 病院薬剤師の入会促進
- ② 未加入薬剤師の入会促進
- ③ 各委員会・部会への組織強化につながる提言
- ④ その他、会の組織強化に関すること

(13) 学校薬剤師部会

- ① 学校薬剤師としての資質の向上のための講習会・研修会の実施  
※公衆衛生に関連した地域活動に係る内容を含む
- ② 学校環境衛生検査全項目実施への働きかけ
- ③ 学校給食センターでの環境衛生検査の実施
- ④ 「全国学校保健調査」の実施ならびにデータ解析
- ⑤ 組織強化、試験検査センターへの検査委託の推進
- ⑥ 学習指導要領に基づいた“くすり教育”の充実
- ⑦ 健康教育全体の中でがん教育についての在り方の検討
- ⑧ 学校における薬剤師職能紹介事業への講師派遣
- ⑨ 学校薬剤師の配置（1人1校担当を具体的に進めていく）
- ⑩ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑪ 県薬ホームページ“学薬の頁”と県薬会報“学薬だより”の充実
- ⑫ 関係団体への協力と連携の推進
- ⑬ 未成年の喫煙・飲酒防止ならびに薬物乱用防止活動の推進
- ⑭ 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会40周年記念誌の発行
- ⑮ 学校における新型コロナウイルス感染症等への対応

(14) 病院診療所薬剤師部会

- ① 組織と役員会の強化拡大
- ② 学術・教育研修活動の推進（Web対応の強化）
- ③ 認定・専門薬剤師育成
- ④ 薬薬連携の強化・拡大（研修制度の充実、合同研修会の実施）
- ⑤ 「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」における研修体制の充実
- ⑥ 学会・学術大会に対する協力
- ⑦ 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- ⑧ 実務実習の充実と新規事業への取り組み
- ⑨ その他、病院診療所薬剤師部会事業に関すること

(15) 女性薬剤師部会

- ① 一般社団法人日本女性薬剤師会 講座「令和4年度薬剤師継続学習通信教育講座」の幹旋とスクーリングの実施
- ② 漢方講座の定期的継続開催
- ③ 沖縄の薬草への知識を深める活動  
おきなわ薬剤師会報連載「暮らしの中の薬草学」の継続、ミニ薬草園の充実
- ④ 「妊娠・授乳とくすり」関連研修会の開催
- ⑤ 地域貢献活動として、浦添市の「乳児一般健康診査」への継続参加  
沖縄県病院薬剤師会の妊婦・授乳婦分科会との連携活動
- ⑥ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催
- ⑦ その他、女性薬剤師部会事業に関すること

(16) 青年薬剤師部会

- ① 青年部組織強化（各地区での情報交換会）
- ② 研修会・勉強会の開催
- ③ 他県薬剤師会青年部会との交流（九州各県薬剤師会との交流）
- ④ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑤ 薬剤師職能に関する啓発活動（グッジョブ事業など）
- ⑥ 薬学生とU・Iターンに関する相談（薬剤師無料職業紹介所と協働）
- ⑦ 日本薬剤師会学生会員への入会促進
- ⑧ その他（施設見学など）

(17) 卸勤務薬剤師部会

- ① 学術大会、研修会、フォーラム等への派遣
- ② 薬学生実務実習生の受け入れ協力
- ③ 令和4年度の継続研修テーマに則った研修の実施
- ④ その他、卸勤務薬剤師部会事業に関すること

(18) 行政薬剤師部会

- ① 組織の強化拡大
- ② 全国又は地方学会等への参加
- ③ 沖縄県薬剤師会への入会取組強化
- ④ その他、行政薬剤師部会事業に関すること



# 第85回臨時總會資料

<報告第2号 令和4年度歳入歳出予算について>

## 令和4年度 収支予算

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

| 科 目                   | 実施事業等会計    | その他会計         | 法人会計        | 合 計           |
|-----------------------|------------|---------------|-------------|---------------|
|                       | 小 計        | 小 計           |             |               |
| I 一般正味財産増減の部          |            |               |             |               |
| 1. 経常増減の部             |            |               |             |               |
| 【 経 常 収 益 】           |            |               |             |               |
| 基 本 財 産 運 用 益         | 0          | 0             | 0           | 0             |
| 基 本 財 産 受 取 利 息       | 0          | 0             | 0           | 0             |
| 特 定 資 産 運 用 益         | 100        | 800           | 600         | 1,500         |
| 特 定 資 産 受 取 利 息       | 100        | 800           | 600         | 1,500         |
| 受 取 入 会 金             | 0          | 0             | 700,000     | 700,000       |
| 受 取 入 会 金 費           | 0          | 0             | 700,000     | 700,000       |
| 受 取 会 費               | 0          | 6,000,000     | 102,920,000 | 108,920,000   |
| 正 会 員 受 取 会 費         | 0          | 0             | 56,000,000  | 56,000,000    |
| 賛 助 会 員 受 会 費 A       | 0          | 0             | 570,000     | 570,000       |
| 賛 助 会 員 受 会 費 B       | 0          | 6,000,000     | 46,000,000  | 52,000,000    |
| 特 別 会 員 会 費           | 0          | 0             | 350,000     | 350,000       |
| 事 業 収 益               | 79,450,000 | 1,795,700,000 | 0           | 1,875,150,000 |
| 出 版 物 事 業 収 益         | 1,400,000  | 2,500,000     | 0           | 3,900,000     |
| 広 告 料 事 業 収 益         | 350,000    | 0             | 0           | 350,000       |
| そ の 他 事 業 収 益         | 17,200,000 | 1,700,000     | 0           | 18,900,000    |
| 調 剤 報 酬 収 入           | 22,500,000 | 1,647,000,000 | 0           | 1,669,500,000 |
| 一 部 負 担 金 収 入         | 5,900,000  | 129,800,000   | 0           | 135,700,000   |
| 小 分 治 療 剤 収 入         | 11,350,000 | 0             | 0           | 11,350,000    |
| 保 険 外                 | 650,000    | 9,550,000     | 0           | 10,200,000    |
| 受 取 手 数 料             | 150,000    | 5,150,000     | 0           | 5,300,000     |
| 保 険 等 調 整 増 減         | 0          | 0             | 0           | 0             |
| 新 規 契 約 賦 課 金         | 50,000     | 0             | 0           | 50,000        |
| 利 用 契 約 金             | 2,500,000  | 0             | 0           | 2,500,000     |
| 医 薬 品 検 査 手 数 料       | 200,000    | 0             | 0           | 200,000       |
| 水 質 検 査 手 数 料         | 13,000,000 | 0             | 0           | 13,000,000    |
| 空 気 検 査 手 数 料         | 4,200,000  | 0             | 0           | 4,200,000     |
| 保 険 受 託 収 入           | 0          | 0             | 0           | 0             |
| 受 取 補 助 金             | 4,548,408  | 0             | 0           | 4,548,408     |
| 受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金 | 3,500,000  | 0             | 0           | 3,500,000     |
| 受 取 補 助 金 等 振 替 額     | 1,048,408  | 0             | 0           | 1,048,408     |
| 受 取 寄 付 金             | 0          | 0             | 365,207     | 365,207       |
| 受 取 寄 付 金             | 0          | 0             | 100,000     | 100,000       |
| 募 金 収 入               | 0          | 0             | 0           | 0             |
| 寄 付 金 等 振 替 額         | 0          | 0             | 265,207     | 265,207       |
| 雑 収 入                 | 951,200    | 252,150       | 2,800,600   | 4,003,950     |
| 受 取 利 息               | 200        | 2,150         | 600         | 2,950         |
| 受 取 賃 借 料             | 0          | 0             | 0           | 0             |
| 雑 収 益                 | 101,000    | 200,000       | 300,000     | 601,000       |
| 事 務 受 託 収 益           | 850,000    | 50,000        | 2,500,000   | 3,400,000     |
| 経常収益計                 | 84,949,708 | 1,801,952,950 | 106,786,407 | 1,993,689,065 |

| 科 目               |  |  |  | 実施事業等会計     | その他会計         | 法人会計       | 合 計           |
|-------------------|--|--|--|-------------|---------------|------------|---------------|
|                   |  |  |  | 小 計         | 小 計           |            |               |
| 【 経 常 費 用 】       |  |  |  |             |               |            | 0             |
| 事 業 費             |  |  |  | 153,696,000 | 1,788,755,000 | 0          | 1,942,451,000 |
| 期 首 棚 卸 高         |  |  |  | 3,200,000   | 68,300,000    | 0          | 71,500,000    |
| 仕 入 高             |  |  |  | 17,329,000  | 1,611,171,000 | 0          | 1,628,500,000 |
| 期 末 棚 卸 高         |  |  |  | △ 3,200,000 | △ 68,300,000  | 0          | △ 71,500,000  |
| 役 員 報 酬           |  |  |  | 3,128,000   | 772,000       | 0          | 3,900,000     |
| 給 与 手 当           |  |  |  | 42,450,000  | 46,850,000    | 0          | 89,300,000    |
| 雑 給               |  |  |  | 23,342,800  | 39,757,200    | 0          | 63,100,000    |
| 賞 与 費             |  |  |  | 2,700,000   | 11,300,000    | 0          | 14,000,000    |
| 退 職 給 付 費         |  |  |  | 850,000     | 2,280,000     | 0          | 3,130,000     |
| 法 定 福 利 費         |  |  |  | 7,095,500   | 14,414,500    | 0          | 21,510,000    |
| 福 利 厚 生 費         |  |  |  | 257,500     | 707,500       | 0          | 965,000       |
| 会 議 費             |  |  |  | 925,000     | 270,000       | 0          | 1,195,000     |
| 旅 費 交 通 費         |  |  |  | 6,260,000   | 4,560,000     | 0          | 10,820,000    |
| 通 信 運 搬 費         |  |  |  | 2,940,000   | 3,000,000     | 0          | 5,940,000     |
| 減 価 償 却 費         |  |  |  | 7,650,000   | 2,426,000     | 0          | 10,076,000    |
| 消 耗 品 費           |  |  |  | 4,700,000   | 2,470,000     | 0          | 7,170,000     |
| 修 繕 費             |  |  |  | 1,100,000   | 510,000       | 0          | 1,610,000     |
| 研 修 費             |  |  |  | 20,000      | 45,000        | 0          | 65,000        |
| 出 版 物 印 刷 費       |  |  |  | 4,325,000   | 3,175,000     | 0          | 7,500,000     |
| 会 報 発 行 費         |  |  |  | 0           | 0             | 0          | 0             |
| 地 代 家 賃           |  |  |  | 1,080,000   | 18,360,000    | 0          | 19,440,000    |
| 光 熱 水 料           |  |  |  | 2,672,000   | 3,778,000     | 0          | 6,450,000     |
| 賃 借 料             |  |  |  | 2,730,000   | 1,400,000     | 0          | 4,130,000     |
| 広 報 費             |  |  |  | 7,510,000   | 0             | 0          | 7,510,000     |
| 保 険 料             |  |  |  | 352,200     | 1,107,800     | 0          | 1,460,000     |
| 諸 謝 金             |  |  |  | 1,000,000   | 100,000       | 0          | 1,100,000     |
| 租 税 公 課           |  |  |  | 2,760,000   | 470,000       | 0          | 3,230,000     |
| 支 払 負 担 金         |  |  |  | 1,500,000   | 0             | 0          | 1,500,000     |
| 支 払 補 助 金         |  |  |  | 0           | 6,000,000     | 0          | 6,000,000     |
| 支 払 寄 附 金         |  |  |  | 150,000     | 0             | 0          | 150,000       |
| 委 託 費             |  |  |  | 0           | 0             | 0          | 0             |
| 外 注 費             |  |  |  | 2,500,000   | 0             | 0          | 2,500,000     |
| 支 払 手 数 料         |  |  |  | 1,869,000   | 8,581,000     | 0          | 10,450,000    |
| 交 際 費             |  |  |  | 140,000     | 80,000        | 0          | 220,000       |
| 管 理 諸 費           |  |  |  | 0           | 0             | 0          | 0             |
| 管 理 維 持 費         |  |  |  | 2,550,000   | 3,650,000     | 0          | 6,200,000     |
| 新 聞 図 書 費         |  |  |  | 540,000     | 320,000       | 0          | 860,000       |
| 貸 倒 引 当 金 繰 入 額   |  |  |  | 0           | 0             | 0          | 0             |
| 雑 費               |  |  |  | 0           | 0             | 0          | 0             |
| 支 払 利 息           |  |  |  | 770,000     | 50,000        | 0          | 820,000       |
| 商 品 廃 棄 損         |  |  |  | 500,000     | 1,150,000     | 0          | 1,650,000     |
| 雑 損 失             |  |  |  | 0           | 0             | 0          | 0             |
| 法 人 会 計 ( 管 理 費 ) |  |  |  | 0           | 0             | 49,217,505 | 49,217,505    |
| 役 員 報 酬           |  |  |  |             |               | 1,800,000  | 1,800,000     |
| 給 与 手 当           |  |  |  |             |               | 14,000,000 | 14,000,000    |
| 雑 給               |  |  |  |             |               | 0          | 0             |
| 賞 与 費             |  |  |  |             |               | 0          | 0             |
| 退 職 給 付 費         |  |  |  |             |               | 180,000    | 180,000       |
| 法 定 福 利 費         |  |  |  |             |               | 1,700,000  | 1,700,000     |
| 福 利 厚 生 費         |  |  |  |             |               | 100,000    | 100,000       |

| 科 目                   |   |   | 実施事業等会計       | その他会計         | 法人会計        | 合 計           |
|-----------------------|---|---|---------------|---------------|-------------|---------------|
|                       |   |   | 小 計           | 小 計           |             |               |
| 表                     | 彰 | 費 |               |               | 0           | 0             |
| 会                     | 議 | 費 |               |               | 500,000     | 500,000       |
| 旅                     | 交 | 通 |               |               | 3,500,000   | 3,500,000     |
| 通                     | 運 | 搬 |               |               | 1,000,000   | 1,000,000     |
| 減                     | 賃 | 却 |               |               | 1,417,505   | 1,417,505     |
| 消                     | 耗 | 品 |               |               | 1,000,000   | 1,000,000     |
| 修                     | 繕 | 費 |               |               | 800,000     | 800,000       |
| 出                     | 版 | 物 |               |               | 0           | 0             |
| 会                     | 報 | 発 |               |               | 0           | 0             |
| 地                     | 代 | 家 |               |               | 0           | 0             |
| 光                     | 熱 | 水 |               |               | 800,000     | 800,000       |
| 賃                     |   | 借 |               |               | 900,000     | 900,000       |
| 広                     |   | 報 |               |               | 0           | 0             |
| 保                     |   | 険 |               |               | 120,000     | 120,000       |
| 諸                     |   | 謝 |               |               | 0           | 0             |
| 租                     | 税 | 公 |               |               | 500,000     | 500,000       |
| 支                     | 払 | 負 |               |               | 18,000,000  | 18,000,000    |
| 支                     | 払 | 補 |               |               | 0           | 0             |
| 支                     | 払 | 手 |               |               | 1,500,000   | 1,500,000     |
| 交                     |   | 際 |               |               | 600,000     | 600,000       |
| 管                     | 理 | 維 |               |               | 600,000     | 600,000       |
| 雑                     |   | 持 |               |               | 0           | 0             |
| 支                     | 払 | 利 |               |               | 200,000     | 200,000       |
| 経常費用計                 |   |   | 153,696,000   | 1,788,755,000 | 49,217,505  | 1,991,668,505 |
| 評                     | 価 | 損 | △ 68,746,292  | 13,197,950    | 57,568,902  | 2,020,560     |
| 当                     | 期 | 経 |               |               |             |               |
| 常                     | 増 | 減 |               |               |             |               |
| 額                     |   |   |               |               |             |               |
| 評                     | 価 | 損 | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 当                     | 期 | 経 | △ 68,746,292  | 13,197,950    | 57,568,902  | 2,020,560     |
| 常                     | 増 | 減 |               |               |             |               |
| 額                     |   |   |               |               |             |               |
| 2. 経常外増減の部            |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| (1) 経常外収益             |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 経常外収益計                |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| (2) 経常外費用             |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 固 定 資 産 除 却 損         |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 什 器 備 品 除 却 損         |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 経常外費用計                |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 当 期 経 常 外 増 減 額       |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 他 会 計 振 替 額           |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 税引前当期一般正味財産増減額        |   |   | △ 68,746,292  | 13,197,950    | 57,568,902  | 2,020,560     |
| 法 人 税 等               |   |   | 38,000        | 132,000       | 0           | 170,000       |
| 当期一般正味財産増減額           |   |   | △ 68,784,292  | 13,065,950    | 57,568,902  | 1,850,560     |
| 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高   |   |   | △ 89,734,992  | 433,940,789   | 450,086,528 | 794,292,325   |
| 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高   |   |   | △ 158,519,284 | 447,006,739   | 507,655,430 | 796,142,885   |
| Ⅱ 指定正味財産増減の部          |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 受 取 補 助 金 等           |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 受取地方公共団体補助金           |   |   | 0             | 0             | 0           | 0             |
| 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額 |   |   | △ 1,048,408   | 0             | △ 265,207   | △ 1,313,615   |
| 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額 |   |   | △ 1,048,408   | 0             | △ 265,207   | △ 1,313,615   |
| 当期指定正味財産増減額           |   |   | △ 1,048,408   | 0             | △ 265,207   | △ 1,313,615   |
| 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高   |   |   | 0             | 1,189,645     | 20,076,956  | 21,266,601    |
| 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高   |   |   | △ 1,048,408   | 1,189,645     | 19,811,749  | 19,952,986    |
| Ⅲ 正味財産期末残高            |   |   | △ 159,567,692 | 448,196,384   | 527,467,179 | 816,095,871   |

## 第85回臨時総会資料

### <議案第1号 令和4年度会費額に関する件について>

令和4年度会費額は、次の基準により徴収する。

#### 1. 正会員

(1) <入会金> 10,000円

(2) <会 費> 正会員A 年額 54,000円 (県薬会費 36,000円 + 日薬会費 18,000円)  
 正会員B 年額 39,400円 (県薬会費 32,400円 + 日薬会費 7,000円)  
 正会員C 年額 12,000円 (県薬会費 5,000円 + 日薬会費 7,000円)

※新規入会者に対して、上記会費内訳に示す日薬会費は、次のとおりとする。

正会員A → (9月までに入会 18,000円) (10月以降に入会 9,000円)

正会員B・C → (           "           7,000円) (           "           3,500円)

(3) <納付方法および早期納入割引>

※会費納入は原則一括納入とする。

※納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。

※一括納入支払期限は令和4年7月末日とする。

※令和4年7月末日までに一括納入の場合、早期納入割引として

正会員A 3,000円、正会員B 2,700円を還付する。

参考 (会員規程より)

正会員Aとは、薬局の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者

正会員Bとは、正会員AおよびC以外の者

正会員Cとは、勤務先業態が行政薬剤師の者

#### 2. 賛助会員

(1) <会 費> 賛助会員A 年額 15,000円

賛助会員B 処方せん受付回数1回あたり8円 (上限48万円)

(2) <賛助会員B会費の納付> (会費規程より)

第7条 賛助会員Bは、薬剤師職能の向上に係る事業の経費として賛助会員B会費を毎月納付しなければならない。

2 前項の賛助会員B会費の額は、1箇月の処方せん受付回数に別表3に掲げる額を乗じて得た額 (100円未満の端数は切り捨て) とする。

3 前項の処方せん受付回数は、前年1月から12月までの総処方せん受付回数とし、これを12等分した額を当年度4月から翌年3月にかけて支払うこととする。但し、上限を48万円とする。

4 年度途中の入会等、過去の実績の無い賛助会員Bは、入会後の処方せん受付見込み回数により、1箇月の平均回数を算出するものとし、その方法は理事会で定める。

5 賛助会員B会費の納付は、原則として会員の銀行等の口座からの口座振替によるものとする。

「別表3」 賛助会員B会費 (第7条関係)

|               |       |         |
|---------------|-------|---------|
| 処方せん受付回数1回当たり | 8.00円 | 上限 48万円 |
|---------------|-------|---------|

参考（会員規程より）

第9条 定款第5条に定める賛助会員の種別は、次のとおりとする。なお、この中で、(1) から (3) 及び (5) に該当する者を賛助会員A、(4) に該当する者を賛助会員Bとする。

- (1) 薬局経営者
- (2) 薬剤師以外の薬品の製造業及び卸業者等の関係者
- (3) 医薬品販売に従事する者
- (4) 薬局
- (5) その他希望する個人及び団体

2 正会員Aが在籍する薬局は、賛助会員Bとして入会するものとする。

### 3. 特 別 会 員

- (1) ＜会 費＞ 特別会員A 年額 10,000円  
特別会員B 年額 17,000円  
特別会員C 年額 0円

(2) ＜納付方法＞

- ※ 会費納入は原則一括納入とする。
- ※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。
- ※ 一括納入支払期限は令和4年7月末日とする。

参考（会員規程より）

特別会員Aとは、年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者  
(資格：県薬会員のみ)

特別会員Bとは、年齢が満75才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者

特別会員Cとは、正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそれ  
に関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため  
入会を希望する者

### <議案第2号 一般社団法人 沖縄県薬剤師会定款の一部を改正する定款について>

沖縄県薬剤師会定款の一部を次のように改正する。

**第1条** 第9条第1項第2号を削り、第3号を第2号に、第4号を第3号に繰り上げる。

**第2条** 第10条第1項第2号を第3号に、第1号を第2号に繰り下げ、次の1号を第1号として第2号  
の前に加える。

- (1) 第7条第1項に規定する会費等の支払いを怠り、催促を受けた後、2年を経過してもなお  
支払わないとき。

### 附 則

- 1 この定款は、令和4年3月20日から施行する。
- 2 この定款が施行する前にすでに第7条第1項の会費等の未払いについて督促を受けている者  
については、最後に督促を受けた日を会員の資格喪失の起算日とする。

<定款一部抜粋>

(除名等)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会の決議により当該会員を除名することができる。

(1) この定款又はその他の規則に違反したとき。

~~(2) 第7条に規定する会費等の支払いを怠り、催促を受けた後、1年を経過してもなお支払わないとき。~~

(2)(3) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3)(4) その他除名すべき正当な理由があるとき。

2 前項の規定により会員を除名しようとするときは、その社員総会の日から1週間前までに、当該会員に対してその旨を通知し、かつ当該総会において弁明の機会を与えなければならない。

(会員の資格喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 第7条第1項に規定する会費等の支払いを怠り、催促を受けた後、2年を経過してもなお支払わないとき。

(2)(1) 総社員が同意したとき。

(3)(2) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。



開会の辞  
中村克徳 副会長



議長：伊敷松太郎代議員 副議長：又吉智賀子代議員



あいさつ  
前濱朋子 会長



報告第1号  
西川 裕 常務理事



報告第2号・議案第1号  
川満直紀 副会長



議案第2号  
阿部義則 理事



閉会の辞  
村田美智子 副会長



司会  
盛本直也 常務理事



理事・監事



## 地域医療提供

### 厚生労働省事業

#### 令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業

#### 沖縄県薬剤師会の取り組み及び実施報告

近年の医療技術の進歩に伴い、家庭で医療的ケアを受けながら過ごす小児は年々増えてきている。

平成30年12月に成育基本法が制定されると、令和2年6月には「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が制定され、令和3年2月には「成育医療の提供に関する施策を総合的に推進していくための基本方針」が閣議決定された。基本方針には、薬剤師が、医師や保健師、看護師などと共に国や地方自治体が講じる成育医療等の提供に関する施策に協力する必要があると明記されている。小児患者を多く診察する専門医療機関からは、医療的ケア児に対する薬局薬剤師の取り組みが不十分と認識されており、入院から在宅へと移行する場合に対応可能な薬局を紹介できていない実態がある。小児医療を実践するための多職種連携が大きな課題である。

厚生労働省は令和3年度の予算で「成育医療分野における薬物療法等にかかる連携体制構築推進事業」を実施。10都府県の薬剤師会が採択事業者選ばれ、沖縄県薬剤師会も選ばれた。

沖縄県は人口当たりの医療的ケア児数、人工呼吸児数が全国でも上位3県に入るが、小児在宅医療を常時応需可能な薬局は会員登録をしている薬局547店舗中38店舗にとどまっているのが現状である。そのため、医療的ケア児への薬学的情報に関しては、その多くが

薬局で薬剤を受け取る際に家族に対して行われている可能性が高いと予想された。また、沖縄県下の薬剤師生涯学習における高齢者在宅医療に関する分野は、地域毎で多職種連携等の研修会が開催されているが、小児在宅医療の分野に関してはまだそれほど多く開催されていない。

そこで、沖縄県薬剤師会は、同事業の運営・実施がより実現の高いと推測した中部地域において、市町村、医療関係団体等の関係機関と協力し、より充実した小児医療に向け、中部地区薬剤師会とともに、同事業を進めていくこととした。

同事業においては、小児医療に特化した薬剤師養成のための研修会の開催や、医師、歯科医師、看護師、コーディネーター等の関係職種との連携体制構築のための多職種連携会議の開催ならびに多職種連携シートを作成するなどの事業展開を行うこととした。

地域における小児薬物療法に係る専門性の高い薬剤師の育成、小児の医療機関と薬局の連携体制構築に向けた取り組みとして、地域の薬局が医療的ケア児の薬物治療を含めた療養生活を支援するため、入退院児に病院の相談支援専門員との連絡、担当保健師との療養支援定期連絡などに用いる多職種との情報連携シート（以下、連携シート）を作成し、トライアル運用を行った。

## 【目的】

以下の2項目を目的として中部地区薬剤師会を中心に事業を行った。

1. 小児の薬物療法に係る専門性の高い薬剤師を育成する。
2. 小児医療にかかわる医療機関と薬局の連携体制を構築する。(医療提供体制の確保)

## 【取り組み】

1. 小児の薬物療法に係る専門性の高い薬剤師の育成に関して

1- (1) 中部地区薬薬連携研修会(講演) 令和3年12月15日(水)

保険薬局薬剤師による薬薬連携と多職種との係わり・専門的薬学管理について

1- (2) 小児在宅医療と薬物療法の特殊性に関する研修会(講演) 令和4年2月4日(金)

医師による医療的ケア児の薬物治療の実情と症例報告

1- (3) 多職種連携に関する研修会(パネルディスカッション) 令和4年2月13日(日)

医療的ケア児を取り巻く多職種連携の現状と薬剤師の関わりについて

2. 小児医療にかかわる医療機関と薬局との連携体制の構築に関して

2- (1) 事業開始の案内

県、市町村等の行政機関、医師会、歯科医師会、病院薬剤会等の関係団体、多職種へ文書で案内。

2- (2) 広報ポスターの作成

2- (3) 連携シートの作成及び運用

医療的ケア児ご家族の協力が得られた中部地区薬剤師会の会員薬局にて、事業期間内に2回にわたりトライアル運用を行った。

2- (4) 実態調査

2- (4) -①成育医療に関するアンケート

薬剤師が多職種と連携する際に用いる連携シートを作成し、中部地区薬剤師会の会員薬局111軒に対し、医療的ケア児の処方に関わる実態調査を行った。

2- (4) -②研修会後のアンケート

研修会後の学習効果を比較するため同じ内容でGoogleフォームにてアンケートを実施した。以下の4つに分類して評価した。

○医療的ケア児の医学・薬学的内容に関する事

○医療的ケア児の生活にまつわる事

○医療的ケア児の療育・教育に関する事

○医療的ケア児の嗜好に関する事

2- (4) -③小児在宅稼働薬局への実態アンケート

実際に小児在宅医療に係わっている薬局(中部地区薬剤会会管内8薬局)の実態を知ること、連携シートの内容の参考とした。

アンケート内容:

○普段の小児在宅医療の薬剤師業務について

○医療的ケアを受ける家族について

○成育医療に係わる際の知識について

## 【結果】

1. 地域における小児の薬物療法に係る専門性の高い薬剤師の育成に関する取り組み  
 研修会（1-（1）、1-（2）、1-（3））の研修会後のアンケートの結果2-（4）-②（自由記載分）  
良かった点

- 患児の親の心情などが伝わった。
- 滅多に聞けない小児在宅医療について聞けて良かった。
- 症例が多く家族の気持ちに触れられて共感できた。
- 薬剤師に求められていることが分かった。
- 多職種（看護師や養護教諭など）の意見が多角的に聞ける良い機会だった。
- 薬剤師も積極的に関わることが必要だと思った。
- 多職種の話しをもっと詳しく聞きたくなった。

### 薬局はどのような取り組みを広げた方が良いか

- 個別対応の共有（例：経管のアダプター注文、被覆材など衛生材料の取り寄せなど）
- かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師のアピール
- 患者様で提供できるサービスや関連部署についての啓蒙活動
- 薬剤師の意識改革・人材補充・環境整備（車椅子やバギーが入るように）
- 子供や家族の関係職種との連携体制
- 活動やパブリッシュを通して少しでも役に立つよう努力する。
- 責任感を持ち、家族や多職種とのコミュニケーションを積極的にとる。
- 特殊な調剤法や多職種連携など継続的に研修会に参加する。
- 薬局自体も薬薬連携として、近隣の薬局との連携の必要性

2. 小児医療にかかわる医療機関と薬局との連携体制の構築に関する結果

### 2-（3）連携シート運用結果

| 内容        | 1回目 | 2回目                          |
|-----------|-----|------------------------------|
| トライアル件数   | 5件  | 33件                          |
| 連携シート活用薬局 | 1件  | 薬学的相談0件、生活上相談5件、オリジナルシート活用1件 |

### 2-（4）-①成育医療に関するアンケート結果（中部地区薬剤会会員111薬局）

| 内容                              | 運用前                           | 運用後                                    |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------------|
| アンケート回答薬局数                      | 38薬局                          | 22薬局                                   |
| 質問内容<br>「成育医療を知っていますか？」         | はい 8件<br>いいえ 18件<br>少しわかる 12件 | はい 10件<br>いいえ 2件<br>少しわかる 7件<br>無回答 2件 |
| 質問内容<br>「小児在宅医療に関する研修会があれば参加する」 | はい 30件<br>いいえ 4件<br>無回答 3件    | はい 17件<br>いいえ 1件<br>無回答 3件             |

## 2- (4) -③小児在宅稼働薬局の実態アンケートの結果

アンケートは、設問を『普段の薬剤師業務について』『ケアを受ける家族について』『学術的なことに関して』の3つに分類し、その中に全11項目の質問事項を設けた。

『普段の薬剤師業務について』の質問事項は、「医療的ケア児を支えている他職種を知っているか」「他職種から医療的ケア児に関する問い合わせを受けたことはあるか」「病院の地域連携室から退院時の医療的ケア児の相談を受けたことはあるか」「小児の処方箋を受けた時、家族以外に他職種と連絡をとったことはあるか」「直近1年間で他職種との連絡の際に連携シート（報告書類等）を使用したことはあるか」「処方内容が医療的ケア児への処方と判断（予想）することは可能か」「小児在宅医療をするにあたって地域支援に係る多職種とのつながりはあるか」の7項目で、「はい」との回答は53件のうち36件であった。

『ケアを受ける家族について』の質問事項は、「医療的ケア児に係る家族の1日の自由な時間がどのくらいあるか考えたことはあるか」「過去に医療的ケア児に係る家族から薬に関する相談を受けたことはあるか」の2項目で、「はい」との回答は16件のうち13件であった。

『学術的なことに関して』の質問事項は、「薬剤師として、成育医療に係る知識はどのようなものか（自由記載）」「成育医療・医療的ケア児に関する研修会に参加したことはあるか」の2項目で、「はい」との回答は8件のうち3件であった。知識については、家族の心理的ケア、疾病、内服方法、内服管理者、関連医療材料、成育過程等であった。

### <連携機関・広報等>

| I 事業連携機関                                                                                                                                                                                                                               | II 事業成果 ポスター・広報誌等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター</li> <li>○沖縄県中部保健所</li> <li>○訪問看護ステーションムームー</li> <li>○医療的ケア児のご家族</li> <li>○障がい児サポートハウスOhana</li> <li>○沖縄県立泡瀬養護支援学校</li> <li>○沖縄市障がい者基幹相談支援センター</li> <li>○沖縄市</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○他関係機関 <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市役所：広報誌5月号に掲載</li> <li>地元新聞社：令和4年3月23日（水）取材<br/>令和4年4月25日（月）掲載</li> </ul> </li> <li>○地域住民への周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市役所内で広報ポスター掲示</li> </ul> </li> <li>○沖縄県薬剤師会会報誌「おきなわ薬剤師会報」 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容および研修会の報告、関連資料・記事を掲載</li> </ul> </li> </ul> |

### 【考察】

専門性の高い薬剤師育成のための研修会に関して、研修会参加者のアンケート回答より、医療的ケア児や家族のサポートになれるように、薬剤師の意識改革、薬局内の環境（バギーで入れるような入口、おむつ交換場所等）の確保、薬薬連携の必要性、利用できるサービスや関連部署の照会や衛生材料衛生材料などの取り寄せなども重要な薬局の取り組みである等の意見があった。研修前後に行った意識調査では、医療的ケア児に係る際の確認事項

として「医療的ケア児の生活の視点に関して」意識の向上がみられた。小児在宅稼働薬局の実態アンケートの結果からは、回答者の3分の2が日頃の薬剤師業務の中で医療的ケア児との関わりがあると回答した一方、成育医療に係る勉強会に参加したことがあると回答したのは、回答者の3分の1であった。これは、地域の薬局が成育医療に関する相談等の窓口として機能する可能性があるものの、薬剤師の専門的研修が進んでいないことを示唆する

ものと考える。

第1回の研修会(1-(1))で小児在宅医療を行っている薬剤師の薬学的視点からの講義、第2回の研修会(1-(2))に特殊な医療環境・薬物治療について医師からの講義、第3回の研修会(1-(3))では、医療的ケア児の生活周辺、療養環境に係る専門職種からの講義と、視座を広げる形で開催を重ねてきた。研修会のテーマとしては、「医療ケア児を取り巻く多職種連携の現状と薬剤師の関わり」に関して、参加者の満足度が高かった。薬剤師の関心が高いと思われるテーマを中心とした研修を行い、薬剤師の成育医療分野における意識の変化に関しては一定の成果を上げることができた。

今後の研修会のテーマとしては、調剤技術面の向上や対人業務において効果が得られる内容となることが重要と考える。

また、今回使用した連携シートの項目は、相談内容と回答内容が自由に記載できるような形式であったため、薬学的相談よりも日常的な相談に活用されたのではないかと考える。連携シートの相談件数が少なかった原因として、医療的ケア児に関する薬剤師の認識が曖昧であったため、シートを配布する対象者であるかどうか判断できなかったことや、連携シートの運用期間が短かったことによる連携シート自体の配布枚数が少なかったことが挙げられる。医療的ケア児の家族や多職種の観点からすると、地域によっては既に活用している連携シートが存在するため新しい連携シートに記載することが思いつかなかった可能性も考えられる。

第3回の研修会(1-(3))の機会に、連携シートに関わる病院の相談支援専門員、訪問看護師、保健師、その他の医療的ケア児に関わる専門職種から連携シートに関する意見や改善点を直接聴取することができた。

医療的ケア児及びその家族が、地域の学校やレクリエーション等の生活の場面においても医療的ケアの程度に応じた支援を継続して

受けられるような支援が必要であることがわかった。しかし、聴取した意見を連携シートに反映して運用することに関して、本事業期間内だけでは時間的余裕がなかったため、次年度以降の検討課題とする。

事業を通して、地域で支える多職種の一員として薬局の薬剤師も成育医療分野における専門性を高めていくことが重要であること、地域医療の専門職種の一員として小児在宅医療に積極的に係わっていく必要があることを結論とする。

## 【展望】

本事業が、地域モデルとして他の地域に横展開をする際には、前記の検討課題を考慮し進展させたい。具体的には、

1. 本事業において活用する目的で多職種連携シート(薬局保管用・患者様用)とその取り扱い説明書を中部地区薬剤師会で新規作成した。沖縄県薬剤師会ホームページにこれまで成育医療分野の多職種連携シートに関する項目が無いため、県下の他地区薬剤師会においても活用できるように沖縄県薬剤師会ホームページに掲載して啓発する。
2. 成育医療分野における薬物療法等に関わることができる保険薬局薬剤師が増えるように、小児在宅医療や医療的ケア児に関する法律、成育医療・小児在宅医療の特殊な薬物療法や投薬タイミング、入退院時の薬薬連携や現状等について研鑽を積んでいけるように、研修の企画、実施をする。
3. 保険薬局薬剤師が現時点において、多職種連携にて使用する連携ツールや薬薬連携、地域の市町村や医療機関と関わりが少なく感じたため、市町村で開催される研修会や会議等に参加し、顔の見える薬剤師として積極的に多職種と連携をしていきたい。

次頁より、同事業に係った研修会報告、連携シート、広報ポスター、関連記事を掲載する。

## 地域医療提供

[厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業]

### 中部地区薬薬連携研修会

日時：令和4年12月15日（水）19:30～21:00

会場：株式会社 薬正堂

<会次第>

司会：沖縄県薬剤師会地域医療提供体制対策委員会 玉城 武範

○Special Lecture 「医療的ケア児への薬剤師の関わり方」

講師：すこやか薬局 具志川店 新田 有香

○閉会の挨拶

中部地区薬剤師会 会長 普久原 隆

本研修会は、医療的ケア児への薬剤師のかかり方を題材に開催された。厚生労働省にて設立された「成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業」において沖縄県薬剤師会中部地区で小児医療に特化した薬剤師の養成、研修会を開催する目的で実施されている。

当日はZOOMと会場を利用したハイブリッド開催で実施された。講師の新田氏はNICUを有する沖縄県立中部病院門前のすこやか薬局具志川店に勤めており、医療的ケア児との関わりが多くあり、講演内での症例も具体的でも分かり易い内容だった。

その中でも印象的だったのは、医療的ケア児は1日のほとんどの時間、栄養剤の持続注入や定時的な投薬が必要な状態でその家族の負担はとても大きく、それを軽減するために薬剤師は積極的にかかわる必要があるとのことだった。私の勤務している薬局でも医療的ケア児の処方箋を何件か応需しているが、正直、調剤して自宅に配達することがいっぱいばいで、家族の負担を考える余裕はほとんどなかった。例えば、胃ろう注入の場合、裸錠やOD錠などは簡易懸濁でできるから錠剤のまま渡していたり、分包品があるものは積極的に使用したりしていた。しかし、新田氏の話では、漢方薬の顆粒ですらケア者（主に母親）にとっては手間、理想を言えば顆粒剤

へしきや薬局  
平安座 有美



も粉碎してすぐ水に溶かして注入したい。もっと理想を言えば、散剤もすべて混合して一包化して欲しいとのことだった。また、シロップ剤も計量することが手間になるため、散剤に変更したほうが良いとのことだった。

医療的ケア児のケアを担っているのはほとんどが母親で、その母親は家事、他兄弟の育児もあり、ケア児に付き切りでいるわけではない。多くある薬剤をなるべく調剤の工夫で簡素化していくのも薬剤師の役割だと強く感じた。

また、医療的ケア児では、大人と違い栄養面で問題点もあることを改めて痛感した。これまで栄養剤の調剤において処方箋に記載されている薬品を手配して配達するだけで、カロリー計算等はほとんどできていなかったが、新田氏の話では、医療的ケア児は、介護負担軽減のため、体重を増やさないように総カロリーが圧倒的に少ない場合があるそう。すこやか薬局には管理栄養士がいるため気軽に相談でき、成長・発達に必要な微量元素の相談や経腸栄養剤の相談もできるとのことだった。具体的には市販されている栄養補



助食品の提案や水溶性食物繊維食品の摂取により便秘薬を中止できた事例など、処方箋上ではわからない問題が多職種連携により改善できることが多々あったようだ。

成育医療ではケアマネージャーなどの存在はなく、社会福祉制度もまだまだ問題点は多いが、保険薬局薬剤師が多職種と連携することにより、小児、家族が安心して在宅で医療ケアを受けることは可能である。また、今後は多くの保険薬剤師が小児在宅に積極的に目を向け取り組むことが必要となってくる。

これからの課題として、多職種連携のためには、支援者会議への参加、退院時カンファレンスへの参加などでまずは顔見知りになり、相談しやすい環境を整えることが必要となってくる。

研修会の最後に、地域医療提供体制対策委員会の玉城委員から多職種連携シートの活用方法についても説明があった。2022年3月の時点で私の勤める薬局では使用はしていないが、この連携シートが活用できるようになれば多職種連携がもっとスムーズに行えると思う。

また、私たちの薬局では、医療的ケア児の調剤には調剤から監査まで一人当たりだいたい30分から1時間を要している。他の調剤業務をしながらの体制や、薬剤の調剤方法、成育医療に関しての服薬指導を含めての症例等、薬局同士でも気軽に相談でき、薬薬連携の体制が整ってくると、より質の高い医療を提供できるようになると思う。

成育医療とは、妊娠から出産、小児、思春期を経て成人への発達、そして妊娠というサイクルに関わる総合的な医療である。また、日常生活に医療的ケアを必要とする重度心身障がい児・者も含め、多分野の疾患に対しひとりひとりの生活をみつめた支援を行うものである。小児と関わりの少ない薬局にとっては医療的ケア児の処方箋調剤をすることすらも未知の世界でなかなかハードルが高いかもかもしれないが、成育医療のことで相談されたり、処方箋等の相談があればぜひ受けてもらい、その地域で医療的ケア児やその家族の生活を支えてもらいたいと思う。

## 地域医療提供

[厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業]

### 令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る研修会 ～小児在宅医療と薬物療法の特殊性～

日時：令和4年2月4日（金）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館ホールおよびZoom配信

去る2月4日に沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児総合内科、松岡孝医師を講師に「小児在宅医療と薬物治療の特殊性～薬剤師への期待～」についてご講演頂きました。今回の研修会は「令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業」の一環で、小児の薬物療法に係る専門性の高い薬剤師を育成し、医療的ケアを必要とする小児患者を支える地域の医療提

地域医療提供体制対策委員会  
饒平名 千春



供体制の確保につなげることを目的に開催されました。

講演内容は、①小児在宅医療の特徴について、②小児在宅医療等の薬物治療の特殊性、③薬剤師に期待することの3点について話されました。

<会次第>

○開会挨拶

○事業説明

○講演「小児在宅医療と薬物療法の特殊性」

講師：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児総合診療科 医師 松岡 孝

座長：地域医療提供体制対策委員会 玉城 武範

○質疑応答

司会：地域医療提供体制対策委員会 副委員長 盛本 直也

沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子

中部地区薬剤師会 会長 普久原 隆

<講師プロフィール> 松岡 孝（まつおか たかし）

昭和47年長野県生まれ。平成10年 昭和大学医学部卒業。日本小児科専門医。認定小児科指導医。小児循環器専門医。医学博士。

昭和大学病院、千葉県立こども病院、国立成育医療センター勤務後、平成23年より沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児総合診療科に勤務。小児在宅医療を行っている。平成28年より同部長に就任。

（所属学会）日本小児科学会。日本小児循環器学会。日本周産期新生児学会。

日本小児救急医学会。日本小児在宅医療支援研究会。

（趣味）沖縄の自然のままの海岸探しと、街路樹の種を発芽させること(なかなか芽がでない)。



まず①小児在宅医療の特徴では、小児在宅医療の背景や現状について示されました。また、先天異常を持つ親のへのサポートや医療介入については、松岡先生の経験を交えながらお話いただき、退院前後のフォロー体制が十分とは言えない実情を知ることができました。

次に②薬物治療の特殊性では、実際の症例を通して、その経過や処方の実際と薬物選択の理由などの薬物治療について細部にわたる解説をしていただき、貴重な学びの場になりました。

③薬剤師に期待することについては、期待度☆3つとして「薬の飲み合わせ」「残薬確認」「剤型変更」「投与経路の変更」、期待度☆2つとして「新薬の紹介」、期待度☆1つとして「疾患についての説明」が挙げられました。期待度☆1と2については、主に医師が行うため、薬剤師に対してはより専門性を活かした薬剤管理の役割が求められていることが理解できました。

更に「合成の誤謬（ごびゅう）」というキーワードも挙げられ、ケアに係る一人ひとりが正しい行動をとったとしても医療従事者の言葉が治療の妨げになる場合や、医療的ケアの継続が児の本来ある能力の喪失や家族の疲労の増加に繋がる可能性もあるということ。また医療的ケアが終了した症例もある中で、医

療的ケアの導入よりも離脱時に家族を説得するのが難しいという事実、ハッとさせられました。在宅医療を支える医療従事者として、こどもの人権を尊重しながら、不安の多い家族と関わっていく難しさを痛感しました。

小児在宅医療に取り組む薬局はごく限られていることが全国的に課題となっています。2022年診療報酬改定では、医療的ケア児に対する薬学的管理の評価として、「服薬管理指導料小児特定加算」「在宅患者訪問薬剤管理指導料小児特定加算」が新設され、薬剤師が成育医療に積極的に関わることが求められています。

沖縄県は人口当たりの医療的ケア児数、人口呼吸児数が全国的にも多い地域で、小児在宅医療において薬剤師が担う役割は大きいと考えます。小児在宅医療を担う薬局が増え、多くの薬剤師で患児やその家族を支えていけたらと思います。

今回の研修で小児在宅医療について改めて学び、医師が薬剤師に期待することを知る良い機会となりました。患児や家族が安心して在宅での生活を送ることができるようスキルアップし、多職種と連携しながら積極的に小児在宅医療に携わっていきたいです。

## 地域医療提供

[厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業]

### 令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る研修会 ～多職種連携～

日時：令和4年2月13日（日）10:00～11:30

会場：沖縄県薬剤師会館ホール（定員20名）およびZoom配信

<会次第>

○開会挨拶

○事業説明

○パネルディスカッション

テーマ「各職種の小児医療への係わり～薬剤師との連携を探る～」

パネリスト

白井紀子 沖縄県立泡瀬特別支援学校 養護教諭

名幸啓子 NPO法人 障がい児サポートハウスOhana 代表／保育士

高江洲夢美 沖縄市障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員

鈴木恵 一般社団法人Kukuru 代表理事／看護師

金城泉 患児お母様

石田浩 すこやか薬局 野嵩店 管理薬剤師

（コーディネーター兼任・沖縄県薬剤師会 地域医療提供体制対策委員会）

司会：地域医療提供体制対策委員会 委員長 西川 裕

沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子

中部地区薬剤師会 会長 普久原 隆

令和4年2月13日（日）に上記研修会に参加したので報告する。

本研修会は〈令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業（厚生労働省）〉の一環として行われたものである。

研修会は、「各職種の小児医療への関わり～薬剤師との連携を探る～」をテーマとしてパネルディスカッション形式で行われ、石田浩氏の進行で進められた。

まず初めに、各パネリストの自己紹介も兼ねて各10分の発表が行われ、それぞれが働いている環境や関わっている医療ケアの内容などが話された。

○白井 紀子氏

より良い状態で教育が受けられるよう看護師と連携して医療的ケア（たんの吸引・経

地域医療提供体制対策委員会  
宮本 直樹



管栄養・導尿・吸入・患部や各種機材の衛生管理・酸素管理・人工呼吸器の作動確認など）を行う。学校では1人1人ができることをサポートしながら伸ばしていく。

○名幸 啓子氏

障がいに対しての専門指導員のサポートの下で、子どもたちとその家族が地域の中で「普通に暮らしていける力」や「子育て」を支援している。医療ケアはもとより、子どもの成長が一番の目的。

○高江洲 夢美氏

沖縄市から業務委託を受け、5つの委託相談支援事業所と連携しながら、受診の有無



パネリスト：左から、白井紀子氏、名幸啓子氏、高江洲夢見氏、石田浩氏。鈴木恵氏と金城泉氏はwebから出演。

や障害手帳の有無に関わらず障がいの相談を受けている。産後うつや子どもの自傷行為などのケアも幅広く行っている。市役所にも常に1人は相談員を配置している。

#### ○鈴木 恵氏

Kukuruきつずクリニックを運営。医師との連携の下で喀痰吸引の研修など、ケア児やその家族のサポートを行う。また施設内にはプールや日向ぼっこスペースなど様々なふれあいスペースも完備している。重症児が地域で暮らせる環境作りをテーマとして活動。

#### ○金城 泉氏

クラブ病のお子さまの子育てをされている。2歳ごろまでは入退院を繰り返していたが、それ以降は24時間の人工呼吸器での呼吸管理・寝たきり・全介助ではあるが、本人の頑張りとお母さんの愛情、総勢20名以上の多職種の連携・サポートの下で自宅にてすくすくと成長し、現在は11歳を迎えられた。プロジェクターで動画や音楽などを天井に写し、楽しんでいる。

#### ○石田 浩氏

〈小児在宅での薬局・薬剤師の役割〉

- ・デリバリー（処方薬・経腸栄養剤・注射用水などの運搬）
- ・服薬支援（チューブの扱い方、粉碎・混合・

一包化、体重による用量調整）

- ・処方提案（栄養面のサポート、栄養剤の選定、下剤の服用時間の提案）
- ・緊急処方への対応（24時間）

〈薬剤師の在宅ソーシャルワーク〉

ケア児だけではなくご家族が困っていることや心配事などを聞き取り、薬に関係のないことであっても他職種（看護師・管理栄養士など）を紹介するなどして解決につなげる。

〈コミュニケーションのポイント〉

キーパーソンとの信頼関係、多職種（医師・訪問看護師・訪問介護士）と顔がわかる関係性を構築する。SNSを有効利用し、チャットなどを通じて訪問前にキーパーソンに残薬チェックや追加して欲しい薬がないかなどを確認することでスムーズに対応できる。

#### ＜パネルディスカッション＞

多職種が連携して良かったこと、これからしていきたいこと

○学校での過ごし方とそれ以外（家庭やデイケアなど）での過ごし方を連携・共有することで、より良い接し方ができるのではないかな。支援者間でのリモート会議などもできるとなると良い。



○一定期間ごとのバイタルを表にして多職種間で共有することで、その日の変化などに気づけることもある。医療ケアをより密にできる可能性あり。

○ケア児だけではなく家族も含めての支援を意識する。地域全体での結びつきを構築して孤立を防ぐ。最近は高齢者ではその取り組みができてきているが小児はまだまだ行き届いていない部分があるので、強化していく。

○ケア児、家族、多職種のそれぞれの立場からの意見を積極的に取り入れて、どんな支援ができるかを話し合う場を増やしていく。

#### 薬剤師に求めること

○ケア児や家族に対しての積極的な声掛け。「調子はどう?」「お母さん頑張ってるね～」などの何気ない一言でも、その積み重ねが信頼に繋がる。

○薬のことだけではなく、ケア児や家族の実際の生活をもっと知って欲しい。

○ケア児や家族が第一であり、人にはそれぞれの考え方があるので、普段のコミュニケーションの中でしっかりと聞き取ってできるだけ寄り添ったサポートを。「～はこうあるべき」「～はこうでないとおかしい」などの「べき論」や「正論」だけを押し付けないこと。

○ありのままを受け入れる重要性を意識する。介護・看護に正解はないのでケア児やご家族の意見をしっかりと聞き取って柔軟な対応を。

○ケア児の自立をサポートし、尊厳を守り、一人の人間としての在り方を尊重するため、ケア児や家族が頼れる場所や依存できる先をたくさん作ることが重要。薬剤師もその役割を。

※多職種連携シートについて（中部地区薬剤師会にてR3.12.20～R4.1.5まで試験的に実施）

医療的ケア児の在宅医療を実施している方

に配布し、困っていることや疑問に思うことなどを記入して頂くシート。記入後に薬局に持参して頂き、その内容について解決できる職種の方を紹介し繋いでいくためのもの。

しかし、在宅ケアにはすでに書類やシートが複数存在するため、記入自体がご家族の負担にならないか、煩雑にならないか、といった課題がある。これらは、実施期間後に課題や問題点などを持ち寄って改善していくこととなっている。

#### <まとめ>

今回の研修を通して私が最も印象に残ったのは、話されているお母さんが終始すごく笑顔だったことである。お母さんは、我が子のケアに関わる20名以上の医療スタッフの顔と名前をほとんど覚えているとのこと。普段から「ご家族と多職種」また「多職種間」でもしっかりとコミュニケーションを取り、顔が見える信頼関係を築けていることがとても実感できた。

在宅医療において、患者さんにより良い医療を提供するためには多職種との連携は欠かせない。「この課題であればこの職種に相談してみよう、この職種と連携すれば解決できるのではないか」という考えに至るには、それぞれの職種の職能を把握しておくことが重要である。日常の薬局業務では多職種との接点はあまりないかもしれないが、地域ケア会議などに出席することでつながりができることもある。今はコロナ禍で人と会う機会自体が減ってしまっているが、今後も多職種との接点を持つような場には積極的に顔を出していこうと思う。また今回のような多職種が同席する研修会の開催を今後も期待したい。

患者さんやご家族と薬剤師の間には“薬”が存在し、その薬を安心・安全に使って頂くことが薬剤師の職務でありそれはもちろん大切なことだが、何よりも“人と人”であることを忘れず、“心のこもった仕事”ができるようにこれからも心がけていきたいと思う。

〔厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業〕

|                                                                                                                                                                                             |                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|  <b>多職種連携シート（患者様用）</b>  |                                                               |
| 氏名                                                                                                                                                                                          | 様 連携シートは、令和4年年1月5日までに薬局へご返却願います。                              |
| このシートの目的                                                                                                                                                                                    | ご相談されたい事やお困り事などに対して改善できるよう、関係する職種が連携して対応できるようにすることを目的に作成しました。 |
| 注意                                                                                                                                                                                          | 1つの事例につき1枚にご記入いただくようお願いします。                                   |
| <b>相談者</b>                                                                                                                                                                                  | <b>相談内容</b>                                                   |
| 本人・家族<br>DR<br>薬剤師<br>NS<br>リハ<br>保健師<br>相談支援専門員<br>栄養士<br>保育士<br>○で囲んで下さい。                                                                                                                 | R 年 月 日                                                       |
| <b>回答者</b>                                                                                                                                                                                  | <b>回答内容</b>                                                   |
| 本人・家族<br>DR<br>薬剤師<br>NS<br>リハ<br>保健師<br>相談支援専門員<br>栄養士<br>保育士<br>○で囲んで下さい。                                                                                                                 | R 年 月 日                                                       |
| <b>結果</b>                                                                                                                                                                                   |                                                               |
| R 年 月 日                                                                                                                                                                                     |                                                               |
| 住所：<br>電話：                                                                                                                                                                                  | 薬局 店 薬剤師名<br>MAIL：<br>FAX：                                    |





[厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業]

連携シート(薬局保管用)

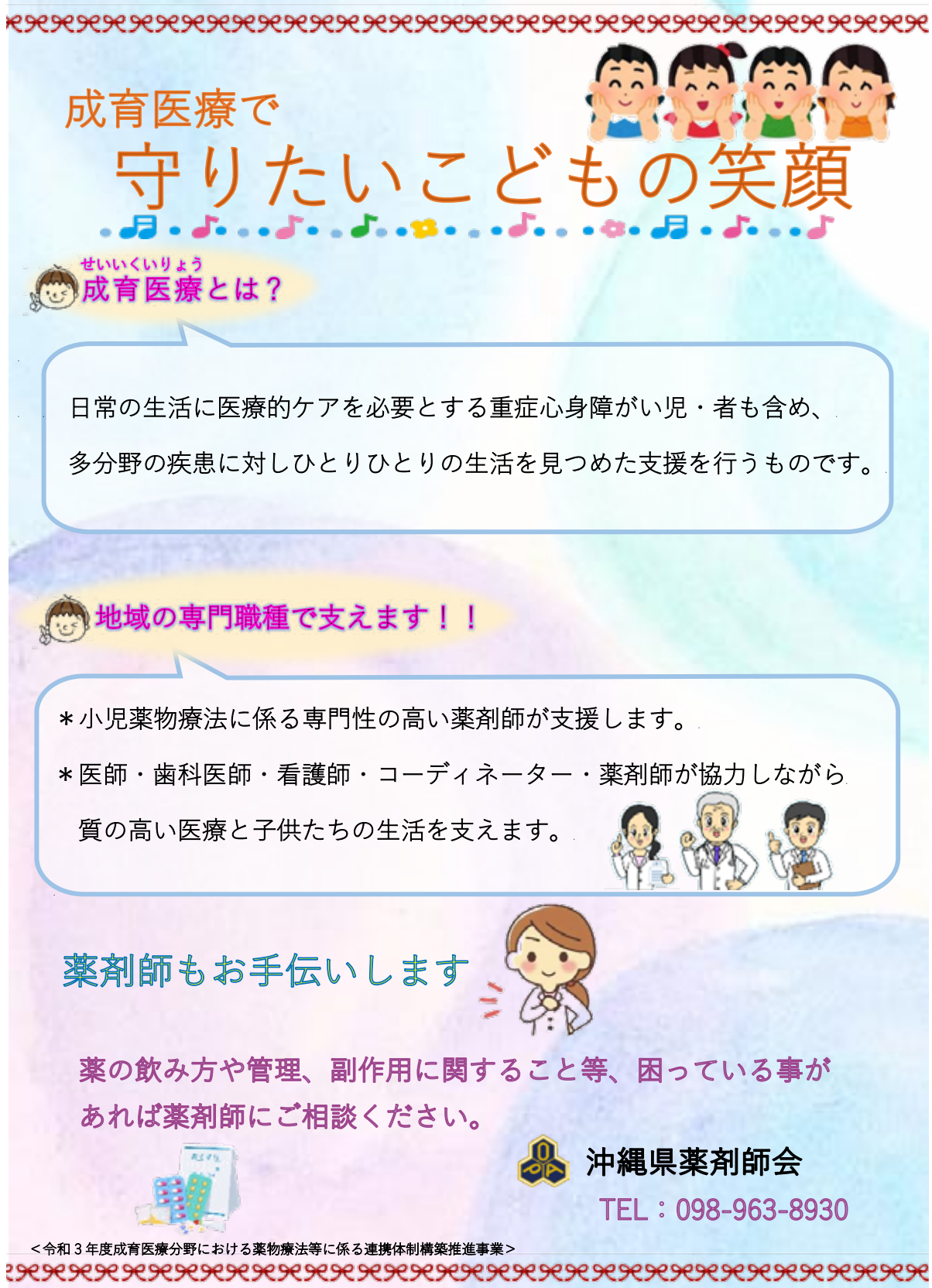
|      |   |   |   |
|------|---|---|---|
| 記入日  | 年 | 月 | 日 |
| 薬局名  |   |   |   |
| 担当者名 |   |   |   |
| 電話番号 |   |   |   |

本シートは、医療的ケア児に関わる各専門職種と保険薬局の薬剤師が、児の療養生活を支援するために必要な情報共有を行うことを目的としています。  
以下の情報の共有は、児の家族の同意を得ています。

|                 |                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------|-------------------------------|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------|------------------|---|-----------|--|
| ふりがな<br>氏名      |                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                     | 生年月日        | 平<br><input type="checkbox"/> | 令<br><input type="checkbox"/> | 年   | 月          | 日                                                                        | 年齢               | 歳 | 兄弟・<br>姉妹 |  |
| 主な連絡先（主<br>介助者） | 〒                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                     | 特記          |                               |                               | TEL | 自宅<br>携帯   |                                                                          |                  |   |           |  |
| 主治医             | 先生                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                     | 病院名(クリニック名) |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
| 関係職種            | 職種                                                                                                                                                                                             | 名前                                                                                                                                                                                                  | 連絡先         |                               |                               |     |            | 所属                                                                       |                  |   |           |  |
|                 | 小児科病棟Ns                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 病院MSW                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 病院薬剤師                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 保健師                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 訪問看護                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 相談支援専門員                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 訪問介護(ヘルパー)                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 訪問診療                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 訪問リハ                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 訪問歯科                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 学校看護師                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
| 薬剤情報            | 特記事項： <div><input type="checkbox"/> 薬剤情報の<br/>添付あり</div>                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
| 医学的課題(1)        |                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          | 他<br>科<br>受<br>診 |   |           |  |
| 医学的課題<br>(2)    | <input type="checkbox"/> 胃食道逆流症 <input type="checkbox"/> 喀痰トラブル <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 発達<br><input type="checkbox"/> 健診(1, 3, 5歳) <input type="checkbox"/> 予防接種 |                                                                                                                                                                                                     |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
| 栄養関連            | 食事                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> IVH    経管栄養 / <input type="checkbox"/> 経鼻 <input type="checkbox"/> 胃ろう・腸ろう ( <input type="checkbox"/> 半固形 ) <input type="checkbox"/> ミキサー食 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 胃残                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし      (投与理由: )                                                                                                                               |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
| 児の状態            | 排便                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> ストーマ <input type="checkbox"/> 浣腸 <input type="checkbox"/> 摘便                                                                                                               |             |                               |                               |     | 医療<br>デバイス | 呼吸器 ( <input type="checkbox"/> NPPV・鼻 <input type="checkbox"/> TPPV・気管 ) |                  |   |           |  |
|                 | 排尿                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> 自己導尿 <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> ストーマケア                                                                                                         |             |                               |                               |     |            | <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 腹膜透析              |                  |   |           |  |
|                 | 筋緊張                                                                                                                                                                                            | <input type="checkbox"/> 脊柱側弯 <input type="checkbox"/> 関節拘縮 <input type="checkbox"/> 脱臼                                                                                                             |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 気管切開                                                                                                                                                                                           | <input type="checkbox"/> 気切部トラブル ( ) <input type="checkbox"/> カテーテル・トラブル ( )                                                                                                                        |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |
|                 | 胃・腸ろう                                                                                                                                                                                          | <input type="checkbox"/> 腹部接続部トラブル ( )                                                                                                                                                              |             |                               |                               |     |            |                                                                          |                  |   |           |  |

## 広報ポスター

[厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業]



# 成育医療で 守りたいこどもの笑顔

せいいくりよう  
成育医療とは？

日常生活に医療的ケアを必要とする重症心身障がい児・者も含め、  
多分野の疾患に対しひとりひとりの生活を見つめた支援を行うものです。

地域の専門職種で支えます！！

- \* 小児薬物療法に係る専門性の高い薬剤師が支援します。
- \* 医師・歯科医師・看護師・コーディネーター・薬剤師が協力しながら  
質の高い医療と子供たちの生活を支えます。

薬剤師もお手伝いします

薬の飲み方や管理、副作用に関すること等、困っている事が  
あれば薬剤師にご相談ください。

 沖縄県薬剤師会  
TEL：098-963-8930

<令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業>

## 広報ポスター

[厚生労働省：令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業]

### 成育医療とは？

日常生活に医療的ケアを必要とする重症心身障碍児を含め、様々な分野の疾患に対してひとりひとりの生活を見つめた支援を行う医療のことを言います。

### 私達薬剤師も参加します。

#### \*在宅薬剤師として\*

家の中にある薬剤の整理や残薬の調整まかせてください。

重たい薬剤は私たちが家までお届けします。

主治医の先生に聞きにくい事代弁します。

薬の飲み合わせ任せてください。

関係職種（医師・歯科医師・看護師・コーディネーター）と協力しながらもつといい医療を提供します。

薬剤師もお手伝い、みんなで支えよう  
大切な命！



成育医療  
沖縄県薬剤師会

## 転載記事

健 薬剤師が  
お手伝いします!!  
「守りたい  
こどもの笑顔」

沖縄県薬剤師会では、医療的ケアを必要とする障がい児・障がい者などを対象に、薬の飲み方や副作用に関することなどについての相談・支援を行っています。困っていることがあれば、地域の薬局・薬剤師にお気軽にご相談ください。



成育医療分野における  
薬物療法等に係る連携  
体制構築推進事業

お問い合わせ/  
沖縄県薬剤師会  
TEL.098-963-8930

沖縄市広報誌  
「広報おきなわ」  
2022年5月号 No.575

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

## 沖繩市と連携 厚労省事業

[illegible]

服薬助言、薬局で情報提供

日常的に人工呼吸器やたんの吸入など医療支援が必要な医療的ケア児の支援に薬剤師会が加わる取り組みが、県薬剤師会と沖縄市の間で進んでいる。厚労省のモデル事業を受け、同会の中部地区薬剤師会が沖縄市の医療的ケア児等支援連絡会に加わり、処方薬を手渡し際の情報提供や、訪問による服薬の助言を担うことを想定している。県薬剤師会の佐藤雅典常務理事は「薬学の専門家としてだけでなく、ケア児や家族の日常生活を支える一助になっていきたい」と語った。

サービスに関する情報提供も進めたいという意向している。

薬剤師会との提携を始めた  
沖縄市障害福祉課にもとづいて、  
市内在住の18歳未満の医療的  
ケア見は把握しているだけで  
58人。市では、当事者や医師、  
保育・幼稚園関係者らで構成す  
る同連絡会で、登園などの支  
援を行っている。

同連絡会のメンバーである  
沖縄市障がい者支援相談支援  
センターによると、医療的ケ  
ア見の家族は、ヘルパーや訪  
問看護などの支援があるもの  
の、服薬などの医療的ケアが  
生活の中心となっているとい  
う。

こうした環境下に薬剤師が関わり、相談の上で服薬の時間や量を調整できれば、ユーザーの活動時間を増やせるだろう。家族の心的負担の軽減も望まれているように。回や々々「一長の一短もある」とは「情報を基に連携できれば、家族の生活事柄にあつた服薬方法も提供できる」と、医師への「フーニャクワたまる」と期待を寄せる。

豊芳町の2020年度調査では、県内の薬剤師は人口10万人当たりの148.3人と、全国で最も少ない。医療的ケア員に対したる薬局は、やはり少ないものの、佐藤常務理事は「まずは薬剤師1人1人が、医療的ケア員への関心を持つことが重要。できることから支援の輪を広げていきたい」と語った。

(嘉陽拓也)



## 薬事情報

### 令和3年度医療安全講習会報告

会 期：令和4年2月20日（日）13:00～14:40

会 場：沖縄県薬剤師会館 ホール

参加者：会場：25人 Web:143人

#### <会次第>

##### 【講義 1】

司会 薬事情報委員会 副委員長 中尾 滋久  
損害保険ジャパン株式会社 翁長 佑菜

1. 日本薬剤師会団体保険制度について
  - ①「薬剤(商品)補償制度」新規制度追加
  - ②「新型コロナウイルス感染症対応 店舗休業補償制度」の継続
2. 実例に学ぶ薬剤師賠償責任保険事故

##### 【講義 2】利用者による調剤鑑査機器の紹介

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1. 計数調剤管理システム F-WAVE      | とくりん薬局 石井 秀典   |
| 2. 薬剤監査支援システム ATTELNO     | 共創未来 天久薬局 成底 徹 |
| 3. 複数同時画像照合システム 鑑査レンジ     | ぴいぷる薬局 中尾 滋久   |
| 4. 一包化監査支援システム PROOFIT 1D | かなさん薬局 三浦 健太郎  |

平成19年4月より薬局における安全管理体制の整備が薬局開設者に義務付けられたことにより、多くは管理薬剤師が、医薬品管理責任者を兼ねて、薬局従事者に対する研修の実施が行われなければいけない旨を司会の中尾氏から説明がありました。前濱会長から、コロナ禍で学術大会などが中止になるなどして医療機器等の展示を实际見る機会が少なくなっている今日、本研修では実際に薬局で使っている機器について聞ける良い機会になるとの紹介がありました。

私は、損保ジャパンの翁長様の講義で新し

薬事情報委員会  
平良 恭子



く発売されたという薬剤(商品)補償制度に関心があり、詳しく聞けて今後のために大変参考になりました。保険支払いの症例のところでは、なじみのある薬、ラシックスの例から始まりマイスタン、マイスリーとどこの薬局でも扱われる可能性の高い事例で保険がかかった話を聞きました。他人事でなく、明

#### <講師陣>



翁長 佑菜 氏



石井 秀典 氏



成底 徹 氏



中尾 滋久 氏



三浦 健太郎 氏

日は我が身、気を引き締めました。

安心・安全につながるなら進化していく機器は、取り入れて医療が提供できた方がいい。F-WAVE は持ち運べる手軽さが利点でした。ATTELNOは重量で数の確認もできるのが利点でした。鑑査レンジは、ピックアップして写真を撮ってチンと知らせてくれるのはなかなか面白く、PROOFIT 1D は、一包化の鑑査を任せてほかの業務に専念できるというのは魅力で、進化した業務組み立てを可能にしてくれそうでした。処方箋に基づいて手作業でピックアップしたものと処方入力と連携した機械でピックアップ鑑査をすることで、スルーし

がちな処方入力ミスを見つけるのに優れていると感じました。これらの機器を参考にインターネットを検索していると、調剤薬局向け薬剤鑑査システムの比較のページを偶然にも開くことができ、多種多様の機器が販売されていることも知ることができました。さらには、当薬局で既存の機器には、オプションで簡易ピックアップ鑑査機能が備わっていることを気付くことができました。今後も情報得て、今日の明日の業務に生かし安心安全な医療提供ができるよう勤めていきたいです。

本研修を計画された委員の皆様、講師の皆様、お得な情報本当にありがとうございました。

お知らせ

## Facebook をご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

お知らせ

## 地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！



## 薬事情報・災害対策

# 新型コロナウイルスワクチン及び 医療用抗原検査キットに関する研修会報告

日時：令和3年12月8日（水）19:00～20:30

会場：沖縄県薬剤師会館研修室およびWeb

<会次第>

○あいさつ

講義 1. 「新型コロナウイルスワクチンの3回目接種（ブースター接種）について」

司会：薬事情報担当理事 吉田 典子  
沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子  
講師：薬事情報委員会 委員長 糸嶺 達

講義 2. 「新型コロナウイルス感染症における医療用抗原検査キットの基礎知識」

講師：琉球大学医学部保健学科 非常勤講師 長嶺 辰美

令和3年12月8日（水）に薬事情報委員会・災害対策委員会主催で本研修会が開催され、参加者は78名（Web62名、現地16名）でした。

薬事情報担当理事  
吉田 典子



### 講義 1. 「新型コロナウイルスワクチンの 3回目接種（ブースター接種）について」

糸嶺達氏より、新型コロナウイルスワクチンに関して国内外の最新データをもとに3回目接種の意義や有効性・安全性、交接種等についてご講義いただいた。ワクチンの感染予防効果については、初回接種後時間の経過に伴い徐々に低下、6ヶ月で抗体価は2分の1に、またブースター接種により低下した感染予防効果や重症化予防効果等が再び上昇することをデータに基づき説明された。安全性については、3回目接種後1ヵ月間の有害事象としてリンパ節腫脹の発現割合が5%と高いが、殆どの場合軽度で発現後短期間に症状は治まる。腋窩リンパ節腫脹がある場合、マンモグラフィー、CT検査等に影響があるためワクチンとは間隔をあけて検査を受ける必要がある。オミクロン株の特徴については、感染力

が高くワクチンや薬が効きにくい可能性も指摘されているが、現段階では、オミクロン株に対するワクチンは有効と考えられている。

### 講義 2. 「新型コロナウイルス感染症における 医療用抗原検査キットの基礎知識」

琉球大学医学部保健学科生体代謝学分野非常勤講師の臨床検査技師・長嶺辰美氏より、医療用抗原検査キットの基本構造、測定原理、精度、使用方法等についてご講義いただいた。医療用抗原検査キットの「特異度」と「感度」については、4つの試薬を比較し検証された。各キットの特異度は100%だったが、感度については36.4%～73.8%の差があることをデータで示された。特異度が高いという事は、偽陽性が少なく検査結果が陽性の時に威力を発揮し確定診断に有用である。また、感度が高いという事は偽陰性が少なく、検査結果が

陰性の時に威力を発揮するため除外診断に有用である。簡易抗原定性検査の陰性判定を含めた確定診断への適応は、発症初日から9日目以内である。医療用抗原検査の特徴については、長所として前処理や測定機器が不要である、目視判定が簡単、キットの保管が簡便、必要な検体数だけ取り出して実施可能であることをあげ、短所として個人による判定誤差がある、ロット間差、試薬間差があることを指摘された。検査キットごとに注意点が異なるため製品ごとの注意事項を厳守する事が重要である。

質疑応答では、使用後のキットの廃棄方法や、鼻出血や鼻水が出た場合の結果への影響について等質問があった（後述）。新型コロナウイルス感染症に関しては感染予防対策や地域における医療・検査体制の構築など薬剤師が行ってきた事業は多岐にわたる。12月23日には沖縄県ワクチン接種等戦略課よりワクチン・検査パッケージ等定着促進事業及び感染拡大傾向時の一般検査事業についての説明会も行われた。薬局においても、引き続き医療用抗原定性検査キットの販売・供給、治療薬の備蓄等、地域住民が安心して社会生活を送ることが出来るよう積極的な対応が期待されている。



左より、  
前濱朋子会長、糸嶺達氏、長嶺辰美氏、吉田典子理事

## 【研修会での質問について】

Q1: 自宅で使用後の検査キットの廃棄方法は？

A1: 製品の添付文書には、廃棄上の注意について「次亜塩素酸ナトリウム溶液に浸す」等としているものもあるが、実際の所家庭では難しい。厚生労働省は家庭で使用したキット（綿棒、チューブ等を含む）を廃棄するときは、ごみ袋に入れて、しっかりしばって封をする、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付ける等注意喚起している。

Q2: 検体採取時に鼻血が出てしまった場合の影響は？

A2: 反応溶液中に血液が少量混入しても影響しないというデータがあるが、血液が多く混入した場合は判定ラインが判りにくくなり、偽陽性と出てしまう事がある。その場合、判定保留として再度新しい綿棒で検体を採り直して再検査を行う。

Q3: 鼻水が多かった場合？カサカサの場合は？

A3: 量が多い場合であっても、通常の場合支障が出ることはない。粘度が高い場合は目詰まりが起こることもあり、判定時間にラインが出ない場合がある。難しい場合には医療機関の医師にお願いする。

参考：新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での 医療用抗原検査キットの取扱いについて（厚生労働省事務連絡令和3年9月27日）、検査キット添付文書等

## 女性薬部会

## 暮らしに役立つ薬膳教室

日時：令和3年11月21日（日）10：00～11：30

会場：沖縄県薬剤師会館ホールおよびZoom研修

### <会次第>

○あいさつ

○講演「自分の体質を知ろう！気血水を整える薬膳茶 ～気虚編～」

司会：女性薬剤師部会 副部長 与儀 和子

女性薬剤師部会 部長 草壁 瑞江

講師：すこやか薬局 宇地泊店 久場 良亮

「暮らしに役立つ薬膳教室」のタイトルが私の波動にマッチング！コロナ渦久しぶりの沖縄県薬剤師会館での講座です（私にとっては）。講義室の中に入ると既に入口右手のテーブルにお茶セットらしきポットと紙コップ用意され、何かしら懐かしい漢方の香りに胸がかすかな動悸（あっ！決して更年期障害の症状ではないのよ）、心の中で試飲するのかしらと少しの期待感が。さて、講義を聴くときはいつも前の席に座る癖があるのは真面目そうかなと思われがちですが単なる目が近眼だから、、です。いつものごとく前列2番目の席に座り講義を受ける体勢準備オーケー。

### 【気虚編】

久場先生の講義はフレンドリーに穏やかな声で始まりました。

中国では不調第一選択は食事医、改善できなければ2番目には内科（漢方医）と考える。つまり、薬膳の延長として身体のバランスが取れないときは漢方に切り替え処方するという流れです。久場先生は学んできた知識と経験を踏まえて、対面对応が簡単で短時間で出来るような体質チェック（気虚、気滞、血虚、

調剤薬局クオレ  
平良 予己子



瘀血、陰虚、水滞の6種）、内臓チェック（肝、心、脾、肺、腎の5種）の問診票をオリジナルでまとめられました。チェック項目が多いほど今の自分の体質を知ることが出来、日頃の体調管理に役立てるように、加えてチェック表は患者対面に時間が取れない薬剤師にとってすごくシンプル、かつ的確でとても印象に残りました。

今回は～気虚編～からスタートです（気虚の体質チェック表）

チェックが多いほど、現在のあなた自身の体質傾向が強く表れるので、自身の体のサイクルを知り対応することができます。気虚の体質改善ポイントとして①体全体を温める→冷たい食べ物飲み物はだめ ②胃腸の消化機能を高める食べ物（胃腸負担をかけない食べ物）：脂っこい、チョコレートなどの甘すぎるもの、刺激物は控える③料理は平性のもの⇒例として山芋の例を上げられ、料理

☐ 体力がない、疲れやすい

☐ 汗をかきやすい

☐ 寒さに弱い、風邪をひきやすい

☐ 胃腸が弱い、胃もたれしやすい

☐ 気力がない、やる気がでない

☐ 下痢しやすい、お腹が冷える

☐ 呼吸が浅い、息切れしやすい

☐ 月経がだらだらと続く（女性のみ） \_\_\_\_\_点



# <講師プロフィール> 久場 良亮 (くば よしあき)

○針灸師の父の影響で、幼い頃から東洋医学が身近にある家庭環境で育ち、大学進学は漢方の研究で著名な富山大学に進学。

○2009年 富山大学大学院修士課程修了。

○在学中は漢方勉強サークルに所属し、東京上野にある漢方塾の勉強合宿に参加したり、漢方薬局の丸薬づくりや紫雲膏づくりなどに参加したり、大学の勉強の傍らで楽しみながら漢方の勉強をして学生時代を過ごす。

○研究室は和漢薬研究所に配属され、生薬の品質と安全性に関する研究に従事。

○大学院修了後は、沖縄県の株式会社薬正堂に就職し、現在は宜野湾市宇地泊にある店舗の管理薬剤師。

○実家の薬膳カレー屋の集客を目的に、薬膳をテーマにしたゼミやお茶会&漢方問診会を多数開催し、薬膳を通して健康啓発活動を行っており、現在もオンラインで薬膳の勉強会や、漢方薬膳をベースにした腸活講座やめぐり改善講座&漢方体質別からだ改善講座などをオンラインにて開催。

○鍼灸師である父や姉の仕事仲間の鍼灸師向けに漢方の勉強会を行ったり、父や姉の患者から漢方薬&薬膳の相談を受け、指導を行っている。

○漢方薬生薬認定薬剤師の資格取得以外に、ティーコンシェルジュ取得、アロマセラピー検定1級を取得、勤務している社内の漢方研修会への参加など、漢方&薬膳に関する情報収集を趣味に、日々過ごしている。



メニューと効用について説明④火を通したもの、お茶は暖かくして飲む等。

そして、漢方の基本方剤としては、①四君子湯:気虚のベース、②に六君子湯:胃の水滯に伴って消化力が落ちているとき、③補中益気湯:体力低下、風が長引くなど、④十全大補湯:血虚を伴って体力低下、貧血や抗ガン剤治療での体力低下を防ぐために。因みに女性はチェックが多くなくても瘀血の対応は必要で有るとも話されました。

お話は日常の会話のように楽しく、明確で時間が短く感じられました。後半では楽しみにしていたお茶を実際に飲んでいただく体験を。自身の好みの温かい紅茶にシナモン(高価なスティック状)、生姜をたっぷりいただいた私は、ほっと緩やかな気分にならせたいただき、体もポカポカとしてきて講義中のこともしばし忘れてしまいました。

以前、ハーバビューホテルで女優、作家(岸恵子)の講演を聞きに行った事があり低体温(35度台)、長年の不眠(睡眠薬服用歴は数十年)に悩まされていたのを改善してくれたの

は、1日3~4杯の暖かい紅茶にすりおろしの生姜(ジンジャー)、それと非加熱(新鮮?な)はちみつを常に持参してロケの合間、食後とかにゆっくりと飲む、その習慣が女優の体質改善に役立った話が脳裏に鮮やかによみがえりました。まさに、薬膳の効果さまざまです。久場先生曰く、はちみつの代わりに黒糖でもいいですとの事。

毎日1日3回365日、体が美味しいと感じる食事とマイ・セルフチェックとしてプラス「薬膳の知恵」があれば、人生100歳時代に突入のこれからの超予防時代に向かって素敵な積み重ねになるかと、、、振り返ると私の食生活も母親の薬膳の知恵満載の日々でした。

例えば、子育ての時、パパイヤが母乳の出を良くするといって煮物(小豆とパパイヤ)、サラダにしたり、アロエは外用タイプと内服タイプがある事、1日5粒のラッキョウが痛風、血糖下げるなど、まさに薬膳が日常でした。

「暮らしに役立つ薬膳教室」の旅は始まったばかりです。久場先生のシリーズ化を願い、期待して感想を述べさせていただきました。



## 女性薬部会

### 令和3年度第2回 妊娠・授乳とくすりの研修会に参加して

日時：令和4年1月23日（日）10:00～11:30

会場：沖縄県薬剤師会館およびZoom配信

#### <会次第>

○あいさつ

○講演「情報ツールを読み取り・活かそう」 講師：琉球大学病院 薬剤部 大田 久美子

司会：女性薬剤師部会 高木 英子

女性薬剤師部会 部会長 草壁 瑞江

新型コロナの流行によりワクチン接種が推し進められている中、妊娠中のお薬やサプリメントの服用について、日常業務において以前よりも質問や電話での問い合わせ等が多くなりました。当薬局でも、情報のアップデートが重要と考え、今回の研修会に参加させていただきました。

#### 【妊娠時】

○妊娠中の薬物療法の考え方

・奇形リスクとは

全出生中、先天異常3%。そのうち薬剤が特定されている奇形は3%のうちの、さらに1%程度、ごく少ないといえる。

・薬物の胎盤通過性を決める要素

分子量：小さいものほど(300-600)ほどよく通過する。

血漿タンパク結合率：タンパクとくっつくと通過しにくい。

脂溶性：分子量が600以上の場合、脂溶性の程度で通過率が上昇する。

イオン化の程度：イオン化すると通過しにくい。

○妊娠週数による胎児に対する影響の違い

・投与された妊娠時期と密接に影響

・薬によって胎児に影響を及ぼす時期や内容が異なる。

※妊娠中の薬物療法について、主治医と共に再評価する。

※不可欠でない薬剤について、種類、投与量を減らせるか検討する。

※胎児毒性のない薬剤を選択する。

※母体と胎児の健康に必要な薬剤を中止しない。

※妊婦自身が薬物療法に参画できるように支援する。

#### 【産後・授乳時】

○出生後、新生児薬物離脱症候群

・代表的な薬剤

催眠・鎮静剤、抗てんかん薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ薬、気管支拡張薬などがあるが、薬ごとの頻度や相互作用はまだ不明。

・一般に自然軽快し、後障害を来さない。

・離脱症候群を理由に服薬中止はない、母体管理を最優先させる。

・分娩前に母体の服薬状況を把握し、本症を疑う。

○母体を介した乳児への薬物の影響

・ほとんどの薬物は母乳に出ることが分かっている。

・多くの薬剤において、母親の薬の投与量の“1%未満”と知られている。

・投与量の1%しか母乳へ出ていなくても、その影響力が乳児にとって深刻なものとなりうる場合には授乳を避けなければならない。

・ガイドラインに記載されている薬剤の例を除き、授乳婦が使用している医薬品が乳児に大きな影響を及ぼすことは少ない

＊児への影響とともに、医薬品の有益性・必要性及び母乳栄養の有益性についても説明し、母乳哺育を行うか否かの授乳婦自身の決定を尊重し支援する

### 【妊娠・授乳時の添付文書の限界】

- ・添付文書の妊娠・授乳に関する記載の多くは十分ではない
- ・科学的な情報を用いて客観的に評価していく必要がある
- ・同じ薬剤でも、スイッチOTCの場合添付文書の情報が異なる
- ＊妊娠していることには気づかず服用してしまった場合など、添付文書の記載内容をそのまま伝えることがないように十分注意をすべき

### 【適切な薬物療法のためには】

- ・適切な情報；信頼性が担保されていること（最新の情報であること）
- ・適切な評価；情報の限界を把握すること、現在の検討事項に即した回答であること
- ・情報の種類；総説、原著論文、症例報告、ガイドライン、ガイダンス、指針など
- ＊医療情報は常に変化する可能性があり、信頼性のある情報を確認したうえで、情報を提供する必要がある。

服用に関し不安な患者様が多い中、私たち薬剤師が、妊娠・授乳中の患者様や胎児・乳児の健康管理の為に、患者様が安心して過ごせるように、常に新しい情報を入手し提供することで、信頼し相談してもらえるよう務めていきたいと思いました。

（報告：ハート薬局 あかみち店 島袋 優子）



講師の大田久美子氏（左から3人目）と記念撮影



#### ＜講師略歴＞ 大田 久美子（おおた くみこ）

1976 年 那覇市生まれ

1999 年 3 月 昭和薬科大学薬学部卒業

2001 年 3 月 昭和薬科大学大学院薬学研究科院修士課程修了

2005 年 3 月 大阪大学大学院薬学研究科博士課程修了（薬学博士）

2005 年 4 月～2009 年 2 月 国立長寿医療センター研究所 流動研究員

2009 年 3 月～2011 年 5 月 沖縄科学技術研究基盤整備機構（OIST の前身）研究員

2011 年 6 月～2014 年 3 月 金沢大学がん進展制御研究所 助教

2014 年 4 月～2016 年 10 月 金沢大学がん進展制御研究所 博士研究員

2016 年 10 月～現在 琉球大学病院薬剤部 薬剤師

2021 年～ 名桜大学助産専攻科非常勤講師、琉球リハビリテーション学院 非常勤講師  
日本病院薬剤師会認定薬剤師



## 寄附・支援金

## 沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式

日時：令和4年3月9日（水）14:00～14:20

会場：株式会社ラジオ沖縄 応接室



写真左より、前濱朋子薬剤師会会長、知念望看護協会副会長、森田明交通遺児育成会理事長、安里哲好医師会会長、米須敦子歯科医師会会長

### ○令和3年度四師会募金額

|          |           |
|----------|-----------|
| 沖縄県医師会   | 634,617 円 |
| 沖縄県薬剤師会  | 50,000 円  |
| 沖縄県歯科医師会 | 50,000 円  |
| 沖縄県看護協会  | 50,000 円  |
| 合 計      | 784,617 円 |

去る3月9日、四師会による沖縄県交通遺児育成会への募金贈呈が、株式会社ラジオ沖縄にて行われた。本会は、沖縄県交通遺児健全育成資金造成のため、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会と協力して、毎年、募金活動を行っている。

四師会会員他、関係者の温かい支援により、今年度は784,617円の寄附をすることができた。平成2年より寄附を始め、今年度で33回目の募金贈呈となった。平成11年度まではチャリティー写真展を開催、その後も寄附を続けるため四師会が協力、各関連施設へ募金箱を設置し、募金活動を行っている。

四師会を代表して安里哲好医師会会長より、「先日、沖縄県が2年ぶりに飲酒がらみの人身事故全国ワーストという残念な報道があった。交通事故が無ければ交通遺児も生まれない。県民の命と健康を守る医療団体として、交通事故防止に取り組むと共に、交通遺児の支援に引き続き取り組んでいくので、学業に専念し夢を実現してほしい。」と述べた。

森田明沖縄県交通遺児育成会理事長（株式会社ラジオ沖縄取締役相談役）から、「当会の事業推進に理解を頂き、大変貴重な寄附金

まで頂いた。この尊い芳志は、遺児達の学業上の不安を和らげ、強く逞しく成長して将来立派な社会人になるよう有効に活用させて頂く。」と挨拶した。

同育成会は、昭和55年より、交通事故で父母を亡くした、または父母が後遺障害を負った小・中・高・特別支援・専門・大学生を対象に“奨学・育成金”等を給付してきた。令和3年度は、奨学金・育成金の給付対象者56人が認定され、支給総額5,358,000円を給付することができたとのことである。

（文：事務局 大城喜仁）



令和4年3月12日（土）沖縄タイムス

# 薬事情報おきなわ No.269

2022年3-5月号 : Vol.37 No.1

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

## 薬価基準追補収載品目

### ●新医薬品 2022年4月1日付

| 区分          | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示      | 規格単位               | 薬価       | 会社名            | 成分名・適応症・効能効果                                                               |
|-------------|-------------------------------|--------------------|----------|----------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 内<br>用<br>薬 | バイアグラ錠25mg<br>(Pfizer/VGR 25) | 25mg1錠             | 959.60   | ヴァイアリス         | シルデナフィルクエン酸塩: 勃起不全治療剤(勃起不全(満足な性行為を行うに十分な勃起とその維持ができない患者))(新有効成分)            |
|             | バイアグラ錠50mg<br>(Pfizer/VGR 50) | 50mg1錠             | 1,380.00 |                |                                                                            |
|             | バイアグラODフィルム25mg               | 25mg1錠             | 991.60   |                |                                                                            |
|             | バイアグラODフィルム50mg               | 50mg1錠             | 1,424.10 |                |                                                                            |
|             | シアリス錠5mg<br>(C5)              | 5mg1錠              | 1,343.80 | 日本新薬           | タダラフィル: 勃起不全治療剤(勃起不全(満足な性行為を行うに十分な勃起とその維持ができない患者))(新有効成分)                  |
|             | シアリス錠10mg<br>(C10)            | 10mg1錠             | 1,454.60 |                |                                                                            |
|             | シアリス錠20mg<br>(C20)            | 20mg1錠             | 1,529.90 |                |                                                                            |
| 注<br>射<br>薬 | レコベル皮下注12μgペン                 | 12μg0.36mL1キ<br>ット | 10,992   | フェリング・<br>ファーマ | ホリトロピン デルタ(遺伝子組換え): 遺伝子組換えヒト<br>卵巣刺激ホルモン(FSH)(生殖補助医療における調節卵<br>巣刺激)(新有効成分) |
|             | レコベル皮下注36μgペン                 | 36μg1.08mL1キ<br>ット | 26,293   |                |                                                                            |
|             | レコベル皮下注72μgペン                 | 72μg2.16mL1キ<br>ット | 45,582   |                |                                                                            |
|             | ガニレスト皮下注0.25mgインリンジ           | 0.25mg0.5mL1筒      | 8,904    | オルガノン          | ガニレリクス酢酸塩: GnRHアンタゴニスト(調節卵巣刺激<br>下における早発排卵の防止)(新有効成分)                      |
|             | セトロタイド注射用0.25mg               | 0.25mg1瓶(溶解液<br>付) | 9,057    | 日本化薬           | セトロレリクス酢酸塩: GnRHアンタゴニスト製剤(調節卵<br>巣刺激下における早発排卵の防止)(新有効成分)                   |
| 外<br>用<br>薬 | ルテウム膣用坐剤400mg<br>(Ak329)      | 400mg1個            | 541.90   | あすか製薬          | プロゲステロン: 黄体ホルモン(生殖補助医療における黄<br>体補充)(新投与経路)                                 |
|             | ウトロゲスタン膣用カプセル200mg<br>(FJ69)  | 200mg1カプセル         | 361.30   | 富士製薬工業         | プロゲステロン: 天然型黄体ホルモン(生殖補助医療に<br>おける黄体補充)(新投与経路)                              |
|             | ルティナス膣錠100mg<br>(FPI/100)     | 100mg1錠            | 361.30   | フェリング・<br>ファーマ | プロゲステロン: 黄体ホルモン(生殖補助医療における黄<br>体補充)(新投与経路)                                 |
|             | ワンクリン膣用ゲル90mg                 | 90mg1管             | 1,083.80 | メルクバイオ<br>ファーマ | プロゲステロン: 黄体ホルモン(生殖補助医療における黄<br>体補充)(新投与経路)                                 |

### ●新医薬品 2022年4月20日付

| 区分          | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示  | 規格単位              | 薬価       | 会社名                          | 成分名・適応症・効能効果                                                                            |
|-------------|---------------------------|-------------------|----------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 内<br>用<br>薬 | レイボー錠50mg<br>(L-50/4312)  | 50mg1錠            | 324.70   | 日本イーライリ<br>リー                | ラスミジタンコハク酸塩: 片頭痛治療剤 5-HT <sub>1F</sub> 受容体作<br>動薬(片頭痛)(新有効成分)                           |
|             | レイボー錠50mg<br>(L-100/4491) | 100mg1錠           | 570.90   |                              |                                                                                         |
|             | リフヌア錠45mg<br>(777)        | 45mg1錠            | 203.20   | MSD                          | ゲーファビキサントクエン酸塩: 選択的P2X <sub>3</sub> 受容体拮抗<br>薬 咳嗽治療薬(難治性の慢性咳嗽)(新有効成分)                   |
|             | ルマケラス錠120mg<br>(AMG)      | 120mg1錠           | 4,204.30 | アムジェン                        | ソトラシブ: 抗悪性腫瘍剤/KRAS G12C阻害剤(がん化学<br>療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の切除不能な<br>進行・再発の非小細胞肺癌)(新有効成分)  |
| 注<br>射<br>薬 | ピヴラツ点滴静注液150mg            | 150mg6mL1瓶        | 80,596   | イトルシアファーマ<br>シューティカルズ・シ<br>ヤ | クラゾセンタンナトリウム: エンドセリン受容体拮抗薬(脳<br>動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮、及びこれ<br>に伴う脳梗塞及び脳虚血症状の発症抑制)(新有効成分) |
|             | エヌジェンラ皮下注24mgペン           | 24mg1.2mL1キ<br>ット | 43,032   | ファイザー                        | ソマトロゴン(遺伝子組換え)注: 長時間作用型遺伝子<br>組換えヒト成長ホルモン(骨端線閉鎖を伴わない成長ホ<br>ルモン分泌不全性低身長症)(新有効成分)         |
|             | エヌジェンラ皮下注60mgペン           | 60mg1.2mL1キ<br>ット | 107,580  |                              |                                                                                         |

●新医薬品 2022年4月20日付

| 区分  | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示  | 規格単位         | 薬価         | 会社名                 | 成分名:適応症・効能効果                                                                                                                                                                                               |
|-----|---------------------------|--------------|------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 注射薬 | ビンゼレックス皮下注160mgオートインジェクター | 160mg1mL1キット | 156,820    | ユーシービー<br>ジャパン      | <b>ビメキズマブ(遺伝子組換え)</b> :ヒト化抗ヒトIL-17A/IL17Fモノクローナル抗体(既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症)(新有効成分)                                                                                                              |
|     | ビンゼレックス皮下注160mgシリンジ       | 160mg1mL1筒   | 156,587    |                     |                                                                                                                                                                                                            |
|     | ウィフガート点滴静注400mg           | 400mg20mL1瓶  | 421,455    | アルジェニクス<br>ジャパン     | <b>エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)</b> :抗FcRn抗体フラグメント(全身型重症筋無力症(ステロイド剤またはステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限る)(新有効成分)                                                                                                        |
| 外用薬 | ラビフォートワイプ2.5%             | 2.5%2.5g1包   | 262.00     | マルホ                 | <b>グリコピロニウムトシル酸塩</b> :原発性腋窩多汗症治療剤(原発性腋窩多汗症)(新有効成分)                                                                                                                                                         |
| 注射薬 | アベクマ点滴静注                  | 1患者当たり       | 32,647,761 | ブリストル・マイヤーズ<br>スクイブ | <b>イデカブタゲン ピクルユーセル</b> :ヒト体細胞加工製品(再発又は難治性の多発性骨髄腫。ただし、以下のいずれも満たす場合に限る。・BCMA抗原を標的としたキメラ抗原受容体発現T細胞輸注療法の治療歴がない。・免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤及び抗CD38モノクローナル抗体製剤を含む3つ以上の前治療歴を有し、かつ、直近の前治療に対して病勢進行が認められた又は治療後に再発した)(新再生医療等製品) |

\* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。

## 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

新型コロナでドライアイ患者が増えたと聞いたが  
本当か？

日本医事新報 5107号

COVID-19のパンデミックにおける眼表面研究のトピックのひとつに、「マスク関連ドライアイ」が挙げられます。これはマスクを長時間つけていることで、マスク上方の隙間から漏れる呼吸が常に角膜に当たり、涙液の蒸発が促進してドライアイになるというものです。欧米人においては、マスクをつける生活を経験したことで目の調子が悪くなったと訴える患者が急増しました。海外の報告では、ドライアイになったと訴える割合は18.3%とされています。Kroloらはマスク関連ドライアイに関連する因子として、女性、1日3時間以上のマスク装用、ドライアイの既往、の3つを挙げています。さらに、世界的にパソコンやスマートフォンの画面を見るVDT作業の時間が飛躍的に長くなりました。集中してディスプレイを見ている間は、瞬目回数が極端に減少し、ドライアイのリスクが増えます。マスク装用とVDT作業の増加、これらがコロナ禍でドライアイ患者が増えた理由です。患者に対してはドライアイのリスクを回避するような指導、たとえばまばたきを意識する、長時間連続のVDT作業を避ける、点眼薬を使って目の湿潤を保つなどを行っていくのが大切だと思います。

大阪大学大学院医学系研究科視覚機能形成学  
森本 壮

COVID-19が他の感染症の流行に及ぼした影響は

日本医事新報 5102号

流行当初有効な治療薬やワクチンが存在しなかったことから、水際対策、学校閉鎖、個人レベルでの予防対策などの公衆衛生上の対策が強化されました。人の動き、特に海外からの人の流入は極端に落ち込み、マスクの着用や手指消毒の徹底、「三密回避」などの行動変容はCOVID-19以外の感染症に大きな影響を及ぼしています。COVID-19流行直前、ワクチン未接種の成人男性を中心に、主に職場での感染伝播が持続した風疹の流行は、患者数が激減し、事実上終息しました。また、麻疹は2020年わずか13例の報告にとどまりました。麻疹や風疹の患者数の極端な減少はCOVID-19への感染予防対策の影響が大きいと考えられます。さらに、毎年夏に流行したヘルパンギーナや手足口病は患者数の減少だけでなく、秋に患者数が増え始めるなど流行の時期にも変化が生じています。このほか、伝染性紅斑やマイコプラズマ肺炎などは、患者報告はほとんどなくなっています。今後、感染予防策が緩和される時期が訪れる際には、現在患者数が減少している疾患の疫学に再び変化が生じる可能性があります。今後もワクチンで予防可能な疾患に対してはワクチン接種を行うなど、感染予防策の継続が求められます。

国立感染症研究所実地疫学研究センター  
神谷 元





## Medical News

### ●医療機能評価機構 疑義照会関連が過去最大-ヒヤリ・ハット事例（薬事日報 4月5日）

日本医療機能評価機構は、2021年7～12月までの薬局ヒヤリ・ハット事例を公表した。報告件数に占める疑義照会関連事例の割合が過去最大の83%を占めた。一方、調剤関連の割合は16.9%で過去最少となった。参加薬局数は4万3166軒で、全国の約7割の薬局が参加。

### ●8割が在庫選定基準変更-安定供給重視、出荷調整響く（薬事日報 4月6日）

相次ぐ医療用医薬品の出荷停止や調整を受け、医療従事者の約8割が在庫品目の選定基準を変更したことが、「医療用医薬品供給状況データベース」（DSJP）の運営者が利用者を対象に実施した調査で明らかになった。約半数が選定基準として安定供給を最も重視すると回答した。臨床現場からは、「患者への説明が大変。現場は未曾有の混乱をしている」「患者に薬を用意できず他薬局を紹介した」など悲痛な声が上がっている。3月末までの約2週間のアンケートに793人が応じた。

### ●大阪府薬、敷地内薬局に反対要望書-乾会長、大阪医薬大と面会（薬事日報 4月13日）

大阪府薬剤師会の乾会長は11日の定例会見で、大阪医科薬科大学附属病院の敷地内薬局設置について、大学法人の理事長らと面会し、反対表明の要望書を提出したことを明らかにした。乾氏は「地域包括ケアの中で、薬局薬剤師がしっかりとその役割を果たすためにも敷地内薬局はおかしい。患者のための薬局ビジョンにも逆行するため、強く反対している」と強調。「薬学部のある大学の附属病院の敷地内にできるということは、薬学生に対する薬学教育が正しく理解できるかということに非常に矛盾を感じている」との見解を示した。

### ●SNSで副作用兆候検出-24品目対象に試行調査開始～PMDA（薬事日報 4月18日）

医薬品医療機器総合機構（PMDA）は今年度、発売直後の新薬などを対象に、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を安全対策の一環として活用するための試行調査を開始する。SNS上の副作用情報データを効率的に抽出し、副作用の兆候となる安全性シグナルとして早期に検出できるかSNSの活用可能性を模索したい考え。24品目程度を対象に6月から12月まで調査を行い、有用性を評価する。

### ●厚労省がモデル事業、多剤服用対策を地域展開（薬事日報 4月27日）

厚生労働省は、診療所や薬局、介護施設などが連携した高齢者のポリファーマシー（多剤服用）対策を推進

するため、今年度に複数地域を対象にモデル事業を開始する。大規模な医療機関を対象としたモデル事業の第1弾では、院内での対策チーム設置に加え、処方見直しや減薬などの効果が見られた。医療機関での運用と同様、病院や薬局が連携した地域の取り組みでも国が作成した業務手順書を活用し、対策を進める上での課題を抽出する。ポリファーマシー対策が院内から地域へと広がり、2023年度以降には全国の各地域が取り組みに着手できるよう準備を進めていく。

### ●4回目接種、「60歳以上」など対象に無料で-厚労省分科会が了承（読売新聞 4月27日）

厚生労働省の有識者分科会は27日、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種について、感染による重症化リスクが高い60歳以上と基礎疾患がある18歳以上を対象とすることを了承した。厚労省は5月にも全国で接種を始めた考え。

### ●「みなし陽性」7人死亡 千葉、東京、兵庫70～90代（共同通信5月9日）

千葉、東京、兵庫の3都県で2～3月、自宅などで死亡した70～90代の計7人が、新型コロナウイルスの検査を行わずに医師が判断する「みなし陽性」だったことが6日、警察庁のまとめで分かった。高齢者は重症化しやすいが、厚生労働省は健康観察が適切だったかなど、みなし陽性に特化した検証は予定していないという。厚労省は流行「第6波」の今年1月、オミクロン株の感染急拡大で医療機関が逼迫しないようにするため、みなし陽性の仕組みを導入した。

### ●コロナ抗原検査キット、「研究用」の販売自粛を～厚労省（読売新聞5月10日）

厚生労働省は、新型コロナウイルスの感染の有無を簡易に調べられる抗原検査キットについて、精度が不確かな「研究用」と称する製品の販売自粛を薬局などに要請するよう、自治体に文書で通知した。厚労省は、感染者が未承認品を使い、誤って陰性と判定された場合、受診が遅れて感染を広げる恐れがあると指摘した。今年初めには承認品が不足する事態も起きたが、厚労省によると、今年4月時点で計1.8億回分がメーカーで確保され、今後感染が拡大しても十分に供給できるといふ。

### ●後発品切替えて副作用-後藤厚労相「品質への懸念点を検討」（薬事日報5月13日）

後藤厚生労働相は10日の閣議後会見で、後発品の供給不安の影響による服用薬の切り替えなどで患者に副作用が生じている実態を受け、国立医薬品食品衛生研究所の「ジェネリック医薬品品質情報検討会」で議題として後発品の品質に関する懸念点を検討する考えを表明した。

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

## 医療 安全情報

No.183 2022年2月

# 製剤量と成分量の違い(第2報)

医療安全情報No.9「製剤の総量と有効成分の量の違い」(2007年8月)で、製剤量と成分量を間違えた事例を取り上げました。その後、類似の事例が8件報告されていますので再度情報提供します(集計期間:2015年1月1日~2021年12月31日)。この情報は、第66回報告書「再発・類似事例の分析」で取り上げた内容をもとに作成しました。

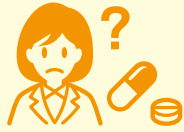
**散剤の処方において、製剤量と成分量を間違えたことにより過量投与した事例が再び報告されています。**

### 事例1のイメージ



- ◆ 「製剤量」は秤取量、秤量、「成分量」は主薬量、原薬量、力価などを示しています。
- ◆ この医療安全情報は、医療安全情報No.9「製剤の総量と有効成分の量の違い」の第2報です。





薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

# 共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2022年  
No.1  
事例2

## 禁忌



### 事例

#### 【事例の詳細】

40歳代の女性患者に膀胱炎の治療のため、レボフロキサシン錠500mg 1回1錠1日1回夕食後5日分が処方された。初回質問票から患者が妊娠を希望していることが分かったため詳細を確認すると、現在不妊治療を行っており妊娠している可能性があった。レボフロキサシン錠の添付文書の禁忌に「妊婦又は妊娠している可能性のある女性」が記載されているため、処方医に疑義照会を行った。その際、愛知県薬剤師会が発行している「妊娠・授乳と薬」対応基本手引き（改訂2版）を参考にして代替薬を提案した結果、セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 1回1錠1日3回毎食後へ変更になった。患者に薬剤が変更になった経緯について説明した。

#### 【推定される要因】

処方医は、患者が妊娠を希望しており不妊治療中であることを把握していなかったと思われる。

#### 【薬局での取り組み】

不妊治療のため産婦人科を定期的に受診している患者が、急な体調不良の際に別の医療機関を受診することがある。妊娠可能な年齢の女性に薬剤が処方された際は、妊娠の可能性がないか患者に確認する。妊娠の可能性がある場合は、患者が処方された薬剤を安全に服用できるかを検討する。



### その他の情報

<参考>クラビット錠250mg/500mg/細粒10%の添付文書 2020年8月改訂（第1版）（一部抜粋）

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）
  - 2.2 妊婦又は妊娠している可能性のある女性
  3. 組成・性状
  - 3.1 組成
- 有効成分：レボフロキサシン水和物



### 事例のポイント

- 本事例は、初回質問票の記載内容をもとに薬剤師が患者から詳細を聴き取り、患者が妊娠している可能性があることを把握したため、妊婦に禁忌の薬剤について疑義照会および処方提案を行った好事例である。
- 妊娠に関する情報は、初回質問票や薬剤服用歴だけでなく、最新の状況を直接患者に確認することが重要である。特に、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に禁忌の薬剤が処方された際は、妊娠の可能性の有無だけでなく、患者が妊娠を希望しているか、あるいは不妊治療を行っているかなどの情報も丁寧に確認する必要がある。
- 患者から妊娠に関する情報を収集するには、妊娠に関する情報が処方された薬剤の適正使用に必要であることを、患者に説明し理解してもらう必要がある。妊娠と薬剤に関する掲示物を薬局の待合室に用意する、薬局内を患者のプライバシーに配慮した構造にするなど、患者が伝えやすい環境を整えることが望まれる。
- 本事業が2019年9月に公表した第21回報告書では、「妊婦に禁忌の薬剤に関する疑義照会の事例」について分析を行い、患者の年齢や妊娠の時期、処方された薬剤などを整理し、主な事例の内容や妊婦に対する薬局での取り組みを紹介している。

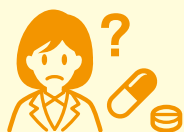
[http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/report\\_2019\\_1\\_T001.pdf](http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/report_2019_1_T001.pdf)



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

## 共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2022年  
No.2  
事例2

### 投与量



#### 事例

##### 【事例の詳細】

患者にフォシーガ錠5mg 1回1錠1日1回が処方された。投与量から糖尿病の治療目的であると推測したが、患者に糖尿病治療薬が処方されたのは初めてであった。そこで、付き添いの高齢者施設の看護師に確認したところ、心不全の治療薬として追加されたことが分かった。慢性心不全の治療目的でフォシーガ錠を使用する場合は10mgを1日1回投与するため、処方医に問い合わせた結果、フォシーガ錠10mg 1回1錠1日1回に変更になった。

##### 【推定される要因】

処方医が、フォシーガ錠を慢性心不全の患者に使用する場合の投与量を把握していなかった可能性がある。もしくは、慢性心不全の患者に投与する場合の投与量を把握していたが、処方を入力する際に5mgと10mgの選択を間違えた可能性も考えられる。

##### 【薬局での取り組み】

患者に初めて処方された薬剤を調剤する際は、患者から情報を聴取し、処方内容と合致するかどうか検討する。疾患により用法・用量が異なる薬剤があることに留意する。フォシーガ錠の効能・効果に慢性心不全が追加になった際に、製薬企業による勉強会を薬局内で行い、慢性心不全の患者への投与量について理解していたことが、今回の疑義照会に役立った。今後も積極的に勉強会や研修会に参加する。



#### その他の情報

フォシーガ錠5mg/10mgの添付文書 2021年8月改訂（第3版、効能変更）（一部抜粋）

##### 6.用法及び用量

##### 〈2型糖尿病〉

通常、成人にはダパグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg1日1回に増量することができる。

##### 〈慢性心不全、慢性腎臓病〉

通常、成人にはダパグリフロジンとして10mgを1日1回経口投与する。



#### 事例のポイント

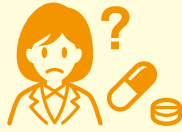
- フォシーガ錠5mg/10mgは選択的SGLT2阻害剤として2型糖尿病治療薬の承認を取得し、2014年5月に販売開始された薬剤である。その後、2019年3月に1型糖尿病、2020年11月に慢性心不全、2021年8月に慢性腎臓病が効能・効果に追加された。
- フォシーガ錠5mg/10mgは使用目的により用量が異なるため、患者の疾患や使用目的を把握したうえで処方監査を行うことが重要である。
- 効能・効果の追加に伴い、用法及び用量や重要な基本的注意などが変更になることがあるため、その都度、添付文書やインタビューフォーム、医薬品リスク管理計画（RMP）に基づく資料である医療従事者向けガイドなどの最新情報の収集に努める必要がある。
- 本事例を報告した薬局では、フォシーガ錠5mg/10mgの効能・効果が追加になった際に薬局内で勉強会を行っており、そこで得た知識が処方監査の際に活かされた。効能・効果に新たな疾患名が追加されるなど添付文書に重要な変更があった際や、新薬が販売開始された際は、薬局で薬剤に関する研修会を開催する、あるいは製薬企業による製品説明会などに参加するなどして知識を深めておくことは重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

# 共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2022年  
No.2  
事例3

## 同効薬の併用



### 事例

#### 【事例の詳細】

関節リウマチの治療のためプログラフカプセル、プレドニン錠、メトトレキサートが処方されている患者に、リンヴォック錠7.5mg 1回1錠1日1回が初めて処方された。電子薬歴システムに入力した際に併用禁忌のアラートが出たため添付文書を確認すると、タクロリムスとの併用はしないことと記載されていた。さらに、詳しい情報を入手するため製薬企業に問い合わせたところ、プレドニン錠やメトトレキサートとの併用の実績はあるが、プログラフカプセルとの併用の実績はなかった。これらの情報を処方医へ伝えたところ、プログラフカプセルが削除になった。

#### 【推定される要因】

免疫抑制剤との併用について、添付文書の「7.用法及び用量に関連する注意」には記載されているが、「1.警告」や「2.禁忌（次の患者には投与しないこと）」に記載がないため気づきにくい。電子薬歴システムのアラートが出た際に内容を確認したため、併用薬について疑義照会を行うことができた。

#### 【薬局での取り組み】

添付文書の警告や禁忌の項目だけでは、薬剤の併用の適否を判断することが難しい場合があることがわかった。電子薬歴システムのアラートが出た際は添付文書を確認し、その情報だけで足りない場合は、製薬企業からも情報を集める。今後も、アラートが出たらその内容を確認する。



### その他の情報

リンヴォック錠7.5mg / 15mg / 30mgの添付文書 2021年11月改訂（第7版）（一部抜粋）

7.用法及び用量に関連する注意

〈効能共通〉

7.1 免疫抑制作用が増強されると感染症のリスクが増加することが予想されるので、本剤と適応疾患の生物製剤、他の経口ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤、タクロリムス、シクロスポリン、アザチオプリン、ミゾリビン等のような免疫抑制剤（局所製剤以外）との併用はしないこと。本剤とこれらの薬剤との併用経験はない。



### 事例のポイント

- 電子薬歴システムのアラートにより併用薬の適否について疑義照会を行うことができた事例である。その際、添付文書の情報だけでは不十分と考え、詳しい情報を入手するため製薬企業に問い合わせるなど積極的に情報収集を行った好事例である。
- 電子薬歴システムが有する機能を適切に利用することは、処方監査において有用である。システムの機能は機種により様々であり、薬局で設定を変更できる仕組みであることが多い。電子薬歴システムの運用について薬局で十分に検討し、アラートなどの情報を見落とさないための手順やアラートが表示された際の具体的な対応方法などを業務手順に定め、スタッフ間で周知することが重要である。
- 添付文書の警告や禁忌、相互作用の項目だけでなく、その他の項目に併用薬に関する記載がある薬剤があることを認識し、添付文書を確認する際は全文を確認し把握する必要がある。また、それらの項目には、該当する薬剤の成分名ではなく薬効分類名などが記載されている場合があり、該当する薬効分類に含まれる薬剤を抽出してリストを作成し、具体的に注意喚起を行うことが望ましい。



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。

薬事情報センターに寄せられた質問から

## はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

〔質問〕 子供にPCR検査をしたいが、唾液の採取が出来ないと親御さんから相談があった。(薬局)

〔回答〕 スポンジを口に含ませて唾液を取るタイプの採取キットが販売されており、県内保育園等でも使用されている。

参考:新唾液採取キット「サライバクリア」商品情報(株式会社臨床検査器材)

〔質問〕 唾液による抗原定性検査キットが発売されたが、メリットは。(薬局)

〔回答〕 唾液吐出による検体採取のため、スワブによる侵襲がなく患者負担も軽減される、採取時のくしゃみによる飛沫発生もなく、感染拡大防止に有用。また、鼻腔からの採取が難しい方等幅広い年齢層で使用できる。  
参考:イムノエースARS-Cov-2Saliva商品情報(株式会社タウンズ)

〔質問〕 ビタミンDを活性化するのに紫外線が必要だが、日焼け止めを使うとどうなのか。(薬局)

〔回答〕 平成25年に国立環境研究所と東京家政大学が、健康な生活を送るのに必要不可欠な成人の1日のビタミンD摂取量の指標とされる5.5 $\mu$ gすべてを体内で生成するとした場合に必要日光浴の時間を、那覇についても季節や時刻を考慮した数値計算を用いて求めている。その結果、両手・顔を晴天日の太陽光に露出したと仮定した場合、紫外線の弱い冬の12月の正午では、那覇では8分の日光浴で必要量のビタミンDを生成することができる」と報告している。環境庁は、多くの人は必要なビタミンDの半分以上を日光紫外線に依存しているとしている。ビタミンDをつくる紫外線の波長は日焼けをする紫外線の波長とほぼ同じで、SPF30の日焼け止めを使用すると、皮下でのビタミンD産生は5%以下に落ちてしまうことにも注意が必要であると注意喚起している。

参考:「紫外線環境保護マニュアル2020」(環境省HP)、「体内で必要とするビタミンD生成に要する日照時間の推定」(国立環境研究所HP)

〔質問〕 ドーピング禁止薬について。アスリートへのフルチカゾン点鼻液の処方の問題はないか。競技名:サッカー(病院)

〔回答〕ステロイド点鼻薬は競技会時、競技会外共に禁止されない。

〔その他の質問〕

- ・薬局で陽性者が出た場合の対応
- ・医療用抗原検査キットの販売について
- ・管理薬剤師の兼務について
- ・ラゲブリオ投与の対象者について
- ・在宅医療における注射薬
- ・保険適応となる不妊治療薬
- ・薬歴の開示について

◎検査キットに関するQ&A:「検査促進枠交付金を活用した検査無料化の実施に関するQ&A(第5版) 令和4年3月22 日時点」より

[Q11-4] 一般検査事業において無症状者に対して抗原定性検査を用いることについて、どのように考えればよいか。  
[A11-4] 抗原定性検査キットは、感染していてもウイルス量が多くなると結果陰性となることから、医療等においては、他の検査と比較して、不十分な面がある。感染して間もない無症状者も含め感染者をより確実に発見し治療につなげることが必須であるため、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針(第5版)」において「無症状者に対する抗原定性検査は、(…)確定診断として用いることは推奨されない。」とされている。一方で、無症状の感染者のうちウイルス量が多く他人に感染させる者を拾い上げる可能性があることにより、飲食、イベント、旅行など感染リスクが高いとされている活動における場の感染リスクを下げることもあり得ることから、ワクチン・検査パッケージ制度又は対象者全員検査等で抗原定性検査を活用することは意味があると考えられる。また、感染拡大傾向時には社会経済活動全般の感染リスクが高まっており、感染不安を有する者が日常生活において人との接触前などに検査を受けることで、社会全体の感染リスクを引き下げることがあり得るほか、感染者の早期発見・早期治療にもつながる。

このような観点から、結果をその場で迅速に確認でき、簡単に利用できる検査手段を提供し、一定の予算の下で、地方でPCR検査が困難な地域も含めて多くの国民の方々に検査が行えるよう、抗原定性検査も活用していくことが必要。ただし、無症状者への抗原定性検査の使用は偽陰性のリスクが大きいため、研修を受講した検査管理者の下で実施し、仮に検査結果が陰性であった場合にも、その検査結果が感染している可能性を否定するものではなく、引き続き感染予防策を徹底するよう、検査管理者から受検者に説明することとしている。





沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口  
「おくすり相談室」受付事例から  
消費者専用電話：098-963-8935

●安全性情報●

[質問] 糖尿病だと言うのを忘れて市販薬フストールシロップA（成分：トリメトキノール塩酸塩水和物、クロルフェニラミンマレイン酸塩、セネガ流エキス）を購入した。説明書に糖尿病の人は相談するようにとある。インスリンを使用しているが大丈夫ですか。

[回答] フストールシロップAに含まれているトリメトキノール塩酸塩水和物には血糖値を上げる作用があるため、糖尿病の方は注意が必要です。糖尿病の状態によっては服用できない場合もありますので、主治医とよくご相談ください。

[質問] 3か月前からピタバスタチンを飲んでいる。1ヶ月後の検査でコレステロールは正常値になり、肝臓の検査AST、ALTが少し高くなった。2か月後にγGPTが高くなり、今回はAST、ALT、γGPTも高かった。副作用ですか。薬はやめた方がいいですか。

[回答] 薬を服用してからの検査値の変動は副作用の可能性が考えられます。しかしながら、このお薬は定期的に肝機能検査を行うこととされており、主治医は検査値の変動についても把握していらっしゃると考えます。お薬を継続するにあたりご心配な事等がありましたら、主治医にご相談されるのが良いと思います。

●新型コロナウイルス感染症関連●

[質問] コロナ感染症患者が増えているが、これからの感染対策はどうしたらいいですか。

[回答] これまでと同様お一人お一人の咳エチケットや手洗いがとても重要です。外出される場合にはマスクを着用し感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

[質問] 「研究用」と書かれた抗原検査キットは使用できますか。

[回答] 研究用の抗原検査キットは、性能等が確認されたものではなく、自己判断で新型コロナウイルス感染症の罹患の有無を調べる目的で使用すべきでないとして、厚生労働省や消費者庁から注意文書が発出されています。抗原検査キットによる検査が必要な場合には、薬局などで販売されている医療用の抗原検査キッ

トを使用するようにしましょう。医療用抗原検査キット取扱い薬局は沖縄県、沖縄県薬剤師会のホームページで公表されています。

参考：新型コロナウイルス感染症の研究用抗原定性検査キットの販売に関する留意事項について（令和4年5月2日付け厚生労働省事務連絡）、「新型コロナウイルスの研究用抗原検査キット及び抗体検査キット使用についての注意」（消費者庁・厚生労働省）

[質問] コロナワクチンの2回目はファイザーだったが、3回目もファイザーで大丈夫ですか

[回答] 新型コロナワクチンの3回目接種は、現在ファザー社製とモデルナ社製が承認されています。3回目接種については、1・2回目に接種したワクチンの種類にこだわらず、どちらのワクチンでも十分な効果と安全性が確認されています。

[質問] 3回目のワクチンを打って2週間経つ。今日の熱は36.5℃。だるくはないが寒気がする。副反応の可能性はありますか。

[回答] ワクチンによる副反応は通常接種後2日目をピークに徐々に軽快していきます。すでに2週間が経過していますので、副反応の可能性は低いと思われます。発熱はないようですが、寒気がおありなので今日は温かくして様子を見られた方がいいでしょう。

[質問] コロナ陽性で自宅療養中。38℃余りの熱があったのでドラッグストアに電話をしてタイレノールを持ってきてもらった。4日経つが熱が続いており、タイレノールを飲んでも2-3時間で熱が上がる。タイレノールが残り少ないのですが、保健所から市販薬で様子を見るようにともいわれている。咳や鼻水もあるが市販薬でいいお薬はないですか。

[回答] 市販薬では鼻水や咳、熱に効く成分が含まれている製品等も販売されています。ご家族などに購入をお願いし、薬局で症状にあったものを選んでもらうといいでしょう。お薬を服用してもつらい症状が長く続くようでしたら、「自宅療養の手引き」にある沖縄県の相談窓口にご相談ください。（感染症対策課健康管理センター TEL：098-866-2107）



〔質問〕19歳の子供がコロナで陽性になってホテル療養している。39.8℃の高熱だが、ホテルでは薬を用意できないので用意してほしいと言われた。カロナール200と300は持っているが飲ませてもいいか。子供の体重は60Kg位ある。

〔回答〕アセトアミノフェンの成人の解熱への使用量は1回300～500mgです。お手持ちの200mgと300mgを各1錠ずつ服用し、次の服用まで4～6時間以上あけるようにしてください。服用後も症状が改善せず体調不良や症状の悪化が見られた場合には、沖縄県の自宅療養中の相談窓口にご相談ください。

〔質問〕家族がコロナ陽性になった。鼻水が強くて、咳もある。保健所から市販の風邪薬等で対応するようになると言われ、風邪薬を買ってきた。熱もあるので病院からもらったカロナールも一緒に飲んでいいですか。

〔回答〕市販薬には熱を下げる成分が含まれているものもあります。お手持ちの風邪薬に熱や痛みを抑える成分が含まれているか確認してください。重複すると1日の用量を超える場合があります。成分がわからない場合には病院または薬局にお問い合わせください。

〔質問〕コロナの家庭内感染で、子供（9歳）が濃厚接触者になっている。38.7℃の発熱があり、保健所からは今日は手元にある薬で対応するよう言われた。家にあるのはパブロンキッズかぜ錠で、子供の体重は25Kg。自分（親）も濃厚接触者なので薬局に薬を買いに行くことができない。どうすればいいですか。

〔回答〕パブロンキッズかぜ薬には解熱成分アセトアミノフェンも含まれているため十分対応できます。このお薬は9歳のお子様では1回3錠の量となります。用法用量通り服用させてください。また、発熱時には水分の摂取に加え、首、鼠径部、脇の下等を濡れたタオルで冷やしてあげると、相乗効果で熱の下がりも良くなります。

〔質問〕コロナ陽性でラゲブリオを処方されて2日間飲んだ。熱は下がり倦怠感もなくなったが咳が続いている。ただ、今日から水のような下痢になってつらい。医師から下痢があれば中止していいと言われたが、それでいいのかわかっている。解熱剤や咳止め薬も処方されている。今日は病院が休みで相談できない。

〔回答〕ラゲブリオは5日間服用することでウイルスを減らします。2日間の服用で症状が改善してきているようですが、下痢の症状については医師の指示もあり

ますので、今後の服用は中止してください。その他のお薬は症状に応じて服用してください。ただし、咳がひどくなったり胸が苦しいなどの症状の悪化が見られた場合には、受診可能な医療機関を受診してください。処方医へは、病院の診療時間内に服用を中止した経緯等お伝えください。

〔質問〕来週3回目のワクチンを予定している。最近リクシアナを飲み始めたけど、接種しても大丈夫ですか。血液サラサラの薬は注意が必要と聞いたのですが、どうですか。

〔回答〕リクシアナ等の血液サラサラのお薬を服用中は、ワクチン接種後注射部位からの出血が止まりにくくなる場合がありますので、接種後2分以上は接種部位を押さえておきましょう。予診票には現在の服用薬を記載し、接種前の診察時にも服用中のお薬についてお伝えください。

#### ●漢方薬●

〔質問〕婦人科からの処方で猪苓湯を飲み始めた。食前に1日3回出ているが、胃の調子が良くないときに太田胃散A錠を飲んだりしている。先生は食前に飲めなかったら食後でもいいと言っていた。本当に食後服用でも大丈夫ですか。

〔回答〕漢方薬は通常は食前あるいは食間等、胃に食べ物がないときに服用するとされています。胃もたれ等がある場合には食後に服用することもあります。薬は定期的に服用することが大切なので、食前に服用が難しい場合には食間または食後に服用してください。

#### ●その他の質問・相談●

・〇〇市に住んでいるが、医療用抗原検査キットを扱っている薬局を教えてください。

・家族がコロナ陽性となったので、パルスオキシメーターを探している。売っている所を教えてください。県から借りられるが、郵送するというので遅くなる。早く入手したい。

・医療用抗原検査キットの販売薬局一覧が公表されているが、扱っている製品は皆同じなのか。価格にかなり違いがある。

・いつも利用しているかかりつけ薬局で、今回医師から処方いただいた薬がないと言われた。その場合どうしたらいいですか。この前にもその薬局で薬をもらったが、気付いたら処方箋に書いてある薬とは名前の違う薬だった。（後発医薬品についての説明不足）

Medical Magazines titles

# 今月の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

## 【今月の特集】

- ◇medecina 59巻2号
- \*意外と知らない?外用薬・自己注射薬
- ◇medecina 59巻3号
- \*成人が必要とするワクチン
- ◇エキスパートナーズ 38巻2号
- \*呼吸のみかた・聴かた
- ◇エキスパートナーズ 38巻3号
- \*これでできる!腎臓病のケア
- ◇エキスパートナーズ 38巻4号
- \*私の分野の看護で大切なこと
- ◇きょうの健康 2月号
- \*治療と予防とのトレンド 脳卒中、糖尿病
- ◇きょうの健康 3月号
- \*さよなら腰痛、大腸の病気
- ◇きょうの健康 4月号
- \*延ばそう!健康寿命、口と喉のがん
- ◇月刊薬事 64巻2号
- \*非がん患者の緩和ケア
- ◇月刊薬事 64巻3号
- \*救急/急性期・病棟での漢方製剤の使い方
- ◇月刊薬事 64巻4号
- \*心×腎疾患の薬物治療
- ◇産科と婦人科 89巻2号
- \*早産と妊娠高血圧腎症: 病因・病態生理ー私はこうみる
- ◇産科と婦人科 89巻3号
- \*新型コロナウイルス感染症が産婦人科診療に与えた影響
- ◇産科と婦人科 89巻4号
- \*婦人科腹腔鏡下手術 TLH/LM/LC の基本とコツ
- ◇産科と婦人科 89巻増刊号
- \*こんな時どうする?他科とのコミュニケーションガイド
- ◇総合診療 32巻2号
- \*with コロナかぜ診療の心得アップデート
- ◇総合診療 32巻3号
- \*AI時代の医師のクリニカル・スキル
- ◇総合診療 32巻4号

- \*えっ、これも!?知っておきたい!意外なアレルギー疾患
- ◇調剤と情報 28巻2号
- \*口からはじめる薬学的管理
- ◇調剤と情報 28巻3号(臨増)
- \*現代未病がわかる本
- ◇調剤と情報 28巻4号
- \*薬局でよくみる貧血のマネジメント
- ◇治療 104巻2号
- \*終末期の心不全ケア
- ◇治療 104巻3号
- \*その絶食、ちょっと待った!食べるを支えるアプローチ
- ◇日経ドラッグインフォメーション 292号
- \*フォローアップはここを抑える 慢性心不全
- ◇日経ドラッグインフォメーション 293号
- \*患者が薬を嫌がるとき
- ◇日経ドラッグインフォメーション 294号
- \*大解剖!調剤報酬改定2022
- ◇日本医事新報 5100号
- \*知っておきたい成人の食物アレルギー
- ◇日本医事新報 5101号
- \*厄介な花粉症の治療戦略-合併症と重症例の対応・コツと落とし穴
- ◇日本医事新報 5102号
- \*増加する子どもの摂食障害-プライマリケア医が知っておきたいこと
- ◇日本医事新報 5103号
- \*肺非結核性抗酸菌症-薬物治療の実際
- ◇日本医事新報 5104号
- \*コロナ治療におけるステロイド-抗炎症療法としての位置づけ
- ◇日本医事新報 5105号
- \*偽痛風とはどのような病気?
- ◇日本医事新報 5106号
- \*便秘エコーのいろはにほへと
- ◇日本医事新報 5108号
- \*知っておくべき造影剤の重篤リスクと副作用
- ◇日本医事新報 5109号

\*見逃さない！鼻の痛み・つまりに潜む疾患

◇日本医事新報 5110号

\*CKDと高尿酸血症

◇薬局 73巻2号

\*今日から始める“せん妄”対応

◇薬局 73巻3号

\*心不全薬物治療の道しるべ

◇薬局 73巻4号(増刊)

\*お薬立ち book2022

◇薬局 73巻5号

\*抗菌薬、その理由

## 【今月の論文等】

### ■薬物療法■

#### ▶吸入薬 Q&A

Medecina59 (2) p.242

#### ▶糖尿病治療薬 Q&A

Medecina59 (2) p.280

#### ▶ステロイド外用薬 Q&A

Medecina59 (2) p.313

#### ▶湿布薬 Q&A

Medecina59 (2) p.322

#### ▶貼付薬 Q&A

Medecina59 (2) p.336

#### ▶点眼薬 Q&A

Medecina59 (2) p.352

#### ▶点鼻薬 Q&A

Medecina59 (2) p.361

#### ▶坐薬 Q&A

Medecina59 (2) p.371

#### ▶鼻汁・鼻閉の症状が長引く患者の事例

薬局 73 (5) p.81

#### ▶抗菌薬にプロバイオティクス(整腸剤)は併用した方がよいですか？

薬局 73 (5) p.134

#### ▶発達障害の小児にリスペリドンが処方された理由

日経ドラッグインフォメーション (292) p.PE003

#### ▶トラマールを各食前に少量処方する理由

日経ドラッグインフォメーション (292) p.PE009

#### ▶せん妄ハイリスク薬の使用をどうする？代替薬はある？

薬局 73 (2) p.46

#### ▶抗菌薬の予防服用を提案した小児尿路感染症患者の事例

薬局 73 (5) p.89

#### ▶原因微生物を推定し処方提案した性感染症患者の事例

薬局 73 (5)

### ■新薬■

#### ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [16]

ベリキューボ錠 2.5mg、5mg、10mg (ペルイシグアト)  
月刊薬事 64 (2) p.184

#### ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [17]

サイバインコ錠 50mg・100mg・200mg (アプロシチニブ)

月刊薬事 64 (4) p.162

#### ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [18]

ツイミーグ錠 500mg (イメグリミン塩酸塩)

月刊薬事 64 (5) p.146

### ■安全性情報■

#### ▶薬剤性の口腔機能障害～口腔乾燥

調剤と情報 28 (2) p.28

#### ▶薬剤性の口腔機能障害～口腔粘膜障害

調剤と情報 28 (2) p.34

#### ▶薬剤性の口腔機能障害～味覚障害

調剤と情報 28 (2) p.40

#### ▶薬剤からみた食べるためのアプローチ(摂食・嚥下障害)

治療 104 (3) p.278

#### ▶医薬品適正使用・育薬 FLASH ニュース

・フルオロキノロン系抗菌薬で動脈瘤リスク

・医師と薬剤師の協働で糖尿病の治療効果改善

薬局 73 (2) p.146

#### ▶医薬品適正使用・育薬 FLASH ニュース

・コーヒー多量摂取でラモトリギン曝露量低下

・小児における PPI 使用で喘息リスクが上昇

薬局 73 (3) p.156

#### ▶医薬品適正使用・育薬 FLASH ニュース

・DOAC はワルファリンより骨折リスクが低い

・チアジド系利尿薬で皮膚がんリスクが上昇

薬局 73 (5) p.152

#### ▶薬剤性貧血の原因薬剤

調剤と情報 28 (4) p.52

### ■薬剤師業務■

#### ▶誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者への薬学的介入はどのように進めたらよいか？

月刊薬事 64 (2) p.21

#### ▶COVID-19 患者の呼吸器症状にどのようにアプローチすべきか？

月刊薬事 64 (2) p.25

- ▶黄痘に伴う痒みへの有効な介入とエビデンスは？  
月刊薬事 64 (2) p.18
- ▶コリンエステラーゼ阻害薬を使用する際に重要となるコミュニケーションは？  
月刊薬事 64 (2) p.80
- ▶非がん疾患におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) の特徴を踏まえ、薬剤師はどのように関わるべきか？  
月刊薬事 64 (2) p.127
- ▶かかりつけ薬局による生活習慣病の取り組み  
調剤と情報 28 (3) p.130
- ▶貧血治療薬の服薬指導とモニタリング  
調剤と情報 28 (4) p.16
- ▶慢性心不全の薬物治療に使われるくすりと服薬サポート  
薬局 73 (3) p.67
- ▶トラマドールの処方変更で生じた疑義照会  
日経ドラッグインフォメーション (293) p.PE001
- ▶予防接種に関するコミュニケーション  
Medecina59 (3) p.432
- ▶薬剤師が実践する貧血のアセスメント  
調剤と情報 28 (4) p.12
- ▶貧血治療薬の服薬指導とモニタリング  
調剤と情報 28 (4) p.16
- ▶薬剤師が介入した緩和ケア症例 在宅患者 - ポリファーマシー  
調剤と情報 28 (5) p.42
- ▶薬剤師が介入した緩和ケア症例 在宅患者 - 腹部膨満感と呼吸困難の症状緩和  
調剤と情報 28 (5) p.48
- 産科・婦人科■
- ▶プロゲスチン製剤による、子宮内膜症や月経困難症への治療  
日本医事新報 (5103) p.49
- ▶妊娠に気付かず抗ヒスタミン薬を服用した妊婦  
日経ドラッグインフォメーション (292) p.PE020
- ▶バセドウ病でチアマゾール服用中の挙児希望女性  
日経ドラッグインフォメーション (293) p.036
- ▶妊娠したらスマトリブタンは服用できない？  
日経ドラッグインフォメーション (294) p. PE020
- ▶頑張る女性をサポートする漢方処方プロセス 月経不順  
治療 104 (2) p.229
- 新型コロナウイルス感染症関連■
- ▶かぜとコロナの見分け方  
総合診療 32 (2) p.185

- ▶新型コロナワクチンの臨時接種の制度  
Medecina59 (3) p.499
- ▶女性や妊婦におけるワクチン接種の現状  
産科と婦人科 89 (3) p.233
- ▶中和抗体定量による、新型コロナウイルスワクチンの有効性評価  
日本医事新報 (5100) p.50
- ▶鼻咽頭ぬぐい液による SARS-CoV-2 の検出  
日本医事新報 (5100) p.51
- ▶ COVID-19 が他の感染症の流行に及ぼした影響は？  
日本医事新報 (5102) p.53
- ▶新型コロナウイルスに対するウイルスベクターワクチンの血栓症発症頻度？  
日本医事新報 (5103) p.48
- ▶新型コロナウイルス感染症を考慮した急性咳嗽治療 104 (4) p.451
- ▶コロナ治療におけるステロイド - 抗炎症療法としての位置づけ  
日本医事新報 (5104) p.18
- その他■
- ▶塗布剤混合のメリットとデメリット  
日本医事新報 (5108) p.52
- ▶術前に服用中止を検討すべきサプリメント  
日経ドラッグインフォメーション (292) p.PE005
- ▶医薬品情報のバイブル 新添付文書を使いこなせていますか？  
添付文書の最初には大事なことが書かれています  
調剤と情報 28 (2) p.120
- ▶医薬品情報のバイブル 新添付文書を使いこなせていますか？  
適正使用においてコアになる情報  
調剤と情報 28 (4) p.132



## Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は情報センターに見本があります。

### ★【日薬幹旋図書】調剤報酬点数表の解釈 令和4年4月版

【発行】社会保険研究所 【発行日】2022年6月下旬発刊予定

【版型/頁】A4判/約960頁 【定価】4,290円(税込) 【幹旋価格】3,650円(税込)

薬局関係者必携、保険調剤のすべてを収載した定本。

調剤報酬の算定・請求に必要な情報を、実務上活用しやすいよう編集し、法令上の根拠とともに示している。

### ★【日薬幹旋図書】レセプト事務のための 薬効・薬価リスト 令和4年版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2022年4月

【版型/頁】B5判/1,108頁 【定価】7,150円(税込) 【幹旋価格】6,400円(税込)

レセプト業務向けに、薬価基準収載医薬品の薬価、効能・効果、用法・用量、禁忌・併用禁忌、保険の扱い(厚生労働省保険局通知の概要)を1冊に収録。「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬剤」の投与経路別に商品名の50音順に掲載し、後発医薬品、先発医薬品、準先発品などにわかりやすいマークを付している。

### ★【日薬幹旋図書】投薬禁忌リスト 令和4年版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2022年4月

【版型/頁】B5判/626頁 【定価】4,620円(税込) 【幹旋価格】4,100円(税込)

“投与しない”“授乳中止”などの禁止事項がある場合のみ掲載。併用禁忌の欄では、表組を採用、“↑”“↓”の記号を用いて表現を簡潔にし、見やすくまとめました。重大な副作用は、症状のみを列記し、発現頻度は具体的な数字があるものだけをピックアップした。

### ★【日薬幹旋図書】薬の影響を考える 臨床検査値ハンドブック 第4版

【監修・編集】木村 聡 【発行】じほう 【発行日】2022年3月

【版型/頁】B6判/404頁 【定価】3,300円(税込) 【幹旋価格】2,970円(税込)

臨床上実施されている検査のうち、保険適用される主要な検体検査項目について、検査値の上昇・低下、あるいは逸脱したときに、その原因が「病気」なのか「薬の影響」なのかを判断するためのポイントを解説。

### ★【日薬幹旋図書】薬事衛生六法

【発行】薬事日報社 【発行日】2022年4月

【版型/頁】B5判変型/約2,000頁 【定価】5,170円(税込) 【幹旋価格】4,650円(税込)

医薬品医療機器等法及び関係政省令、告示を中心に薬剤師法、毒劇、麻薬、医療保険、保健医療、食品・家庭用品、など薬事・医療・衛生関係法令を幅広く収載した法令集。



## Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

### ★【日薬幹旋図書】薬価基準点数早見表 令和4年4月版

【発行】じほう 【発行日】2022年3月

【版型/頁】A5判/1,092頁 【定価】3,960円(税込) 【幹旋価格】2,050円(税込)

薬価基準収載医薬品を、「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬」の投与経路別に、商品名の50音順に配列し、点数早見表、薬効別分類表を収録した医療事務必携の書籍。

### 適応・用法付き薬効別薬価基準

### ★【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus+ 令和4年4月版

【編著】薬業研究会 【発行】じほう 【発行日】2022年3月

【版型/頁】A5判/1,070頁 【定価】5,060円(税込) 【幹旋価格】4,550円(税込)

同一成分の剤形や規格単位ごとの薬価を調べられるだけでなく、「適応・用法」情報も確認することができ、さらに適応外使用に係る公知申請が認められているものについても記載している。

### しくじり処方提案 薬物治療のよくある落とし穴

【編著】花井 雄貴 【発行】じほう 【発行日】2022年3月

【版型/頁】A5判/320頁 【定価】3,850円(税込)

臨床経験豊富な先輩薬剤師が自身や後輩が経験した処方提案での失敗事例に焦点を当て、見落としがちな薬物治療や投与設計についての考え方を解説。

### わかりやすい薬剤情報提供のための

### 写真付/服薬指導 CD-ROM 2022年3月版

【著者】患者向け医薬品情報CD化編集委員会 【発行】じほう 【発行日】2022年3月

【版型/頁】CD 【定価】30,800円(税込)

患者さんにわかりやすい言葉を用いた服薬指導せんや相互作用の説明(お薬手帳印刷にも対応)、院外処方せんや英語版薬剤情報提供書などの発行が可能で、指導せんは患者さんごとに指導歴として保存できる。指導文の加筆・登録、薬剤写真の選択・登録もできるほか、持参薬の院内採用の有無、代替薬の提案を行うための持参薬確認表の作成など、服薬指導に関連した多彩な機能を揃えている。

### 小児のギモンとエビデンス

### ほむほむ先生と考える臨床の「なぜ?」「どうして?」

【著者】堀向 健太 【発行】じほう 【発行日】2022年3月

【版型/頁】A5版/264頁 【定価】3,740円(税込)

Twitterフォロワー9万人超のほむほむ先生と、Twitterフォロワー45万人超の大人気イラストレーターぼくさんがタッグを組んだ、今もっともわかりやすい小児診療・小児対応の案内書。小児対応でよくある医療者の「なぜ?」や保護者の「どうして?」に、エビデンスを用いて答える。

## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

## ◆◇ 医療事故の再発防止に向けた提言第15号の公表について ◇◇

一般社団法人日本医療安全調査機構(医療事故調査・支援センター)では、収集した院内調査結果報告書を整理・分析した結果を医療事故の再発防止策として提言にまとめています。

提言書は、様々な医療機関から報告された個々の死亡事例の調査報告書をもとに、類似事例を集積し、その共通点・類似点を調査分析して、情報提供しており、第15号は「薬剤の誤投与に係る死亡事例の分析」となっております。一般社団法人日本医療安全調査機構のホームページで確認できますので、是非ご活用ください。



## 薬連だより

### 古謝玄太氏に三連盟が推薦状を交付



山本信夫日本薬剤師連盟会長（左）から古謝玄太氏へ推薦状を交付



木平健治日本病院薬剤師連盟会長（代理：姫野耕一副幹事長（右））  
からも推薦状が交付された。



前濱朋子沖縄県薬剤師連盟会長（右）から推薦状交付  
左は、川満直紀副会長。

去る5月7日、日本薬剤師連盟（山本信夫会長）と日本病院薬剤師連盟（木平健治会長）は、薬剤師である自由民主党沖縄県参議院選挙区第一支部長の古謝玄太氏に参議院議員選挙の候補者として適任と認める推薦状を交付した。

日本薬剤師連盟の山本信夫会長は、当日早朝に来沖、本連盟の前濱朋子会長と姫野耕一副幹事長（沖縄県病院薬剤師連盟代表）を連れ立って、古謝玄太自由民主党沖縄県参議院選挙区第一支部長事務所を訪問し、直接、推薦状を交付した。日本病院薬剤師連盟の推薦状は、姫野耕一副幹事長が代理で交付した。

また、これに先立ち、沖縄県薬剤師連盟の前濱朋子会長は川満直紀副会長を連れ立って、去る4月11日に自由民主党沖縄県支部連合会において、古謝玄太氏に推薦状を交付した。古謝玄太氏にとっては最初の推薦状とのことであった。同時に、政策協定を結ぶこともできた。

同三連盟は、7月予定の参議院議員選挙に向けて、日本薬剤師連盟組織内統一候補・同連盟副会長・自由民主党公認である比例代表選挙区の「神谷まさゆき」への支援活動と同様に、全力で支援活動を行っていく。

（文：事務局 大城喜仁）





## 沖縄県薬剤師連盟 令和3年度臨時評議員会

日時：令和4年3月20日（日）13:00～13:20

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

### ＜式次第＞

○神谷まさゆき日本薬剤師連盟副会長メッセージ動画放映

○会長あいさつ

○議題

○議案 第1号 令和4年度活動計画案について

第2号 令和4年度予算案について

司会：副幹事長 名嘉 紀勝

会 長 前濱 朋子

幹 事 長 石川 恵市

会計責任者 川満 直紀

沖縄県薬剤師会臨時総会に先立ち、沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会が開催された。

司会進行は、名嘉紀勝副幹事長が務めた。

司会より、本評議員会の評議員には、新型コロナウイルス感染防止対策として、第85回臨時総会の開催、運営方法に準拠して開催案内した旨の説明をした。そして、最終的な議題および関係資料が3月4日開催の沖縄県薬剤師連盟総務会で決議された後、関係書類と共に出席確認票を発送し、47名の評議員の内、会場出席4人、書面評決書提出による議決権行使30人、議長へ委任13人となっていること、また、Webからは14人の評議員と一般会員1人が視聴参加することになっていることを述べた。

次に、日本薬剤師連盟の神谷まさゆき副会長から届いたメッセージ動画を供覧した。来る7月の参議院議員選挙に向けて、引き続き、会員の積極的で強力な支援が必要であることを確認した。

議長は、前濱会長が事前に司会である名嘉紀勝副幹事長に委任していることが告げられた。

議長より、47人の評議員の内、会場出席4人、書面評決書提出による議決権行使30人、議長へ委任13人で47人全員が出席扱いとなり、過半数の出席であることから開会を宣言した。

前濱朋子会長の挨拶では、「4月の薬価改定は薬剤師の対人業務が期待されているとはいえ、実際には厳しいものとなっている。この

ような局面において、我々薬剤師の力になるのが薬剤師国会議員である。来る7月の参議院議員選挙の沖縄選挙区に、薬剤師である古謝玄太氏を擁立している。本会理事ともゆかりがあるとのことで明るいニュースとなった。引き続き、神谷まさゆき氏への支援とともに、古謝玄太氏へも会員の強力な支援をいただきたい。本日の臨時評議員会では、令和4年度の活動計画案と予算案についての審議を執行する。」と述べた。

### 議案第1号 令和4年度活動計画案について

石川恵市幹事長が、事業計画5案を説明した。

1. 本連盟および支部の組織の強化。
2. 日本薬剤師連盟の次期参議院議員選挙組織内統一推薦候補者である神谷政幸氏に対し、積極的に支援活動を行う。
3. 地区薬剤師会と連携強化の会議や、若手・女性薬剤師の集いを開催し、薬剤師職能と政治の関わりについて、その重要性の啓発を行い、政治連盟への積極的な参画と活動等の連携を強化する。
4. 薬剤師問題を理解し支援活動をしてくれる議員および候補者への支援活動を行う。特に、県内の若手地方議員と意見交換をして連携体制の構築を強化する。
5. その他の必要な事項。



神谷まさゆきメッセージ動画放映



司会・議長  
名嘉紀勝 副幹事長



あいさつ  
前濱朋子 会長



議案第1号  
石川恵市 幹事長



議案第2号  
川満直紀 会計責任者

議長が、議案第1号について、会場参加の代議員へ賛成方への挙手を求め4人全員が挙手、書面表決による賛成が30人であることから、会則第15条により、賛成が過半数の賛成多数で、議案第1号が承認されたことを述べた。

#### 議案第2号 令和4年度予算案について

川満直紀会計責任者が、以下の通り説明した。

##### 1.収入の部

前年度決算見込額を基に令和4年度の状況を予測し、各勘定科目金額を計上した。寄付金について、前年度は参議院議員通常選挙活動助成金として、日本薬剤師連盟より2,540,000円の交付があった。令和4年度は、日本薬剤師連盟から参議院議員通常選挙活動助成金の交付予定は無いため、寄付金の計上を若手薬剤師フォーラム開催助成金100,000円のみとした。

＜令和3年度 参議院議員通常選挙活動助成金の内訳＞

令和3年5月：1,158,000円

令和4年1月：1,382,000円

##### 2.支出の部

前年度の決算見込額を基に令和4年度の状況を予測し、各勘定科目金額を計上した。前年度は、第49回衆議院議員総選挙や神谷まさゆき全国支部訪問に係る活動で例年より支出が増加したが、令和4年度も参議院議員選挙や県知事選挙などいわゆる「選挙イヤー」となるため、前年度同等の支出額を計上した。

議長が、議案第2号について、会場参加の代議員へ賛成方への挙手を求め4人全員が挙手、書面表決による賛成が30人であることから、会則第15条により、賛成が過半数の賛成多数で、議案第2号が承認されたことを述べた。

滞りなく進行した司会（議長）の名嘉紀勝副幹事長が、沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会の閉会を述べ終了した。

（文：事務局 大城喜仁・玉寄博之）



## 薬連だより

## まさゆき 政幸だより

日本薬剤師連盟  
副会長 神谷まさゆき



### 全国支部訪問を振り返って

昨年2月に始まった全国支部訪問は、3月に入り栃木県、群馬県、千葉県、茨城県を回って一区切りとなります。オミクロン株による感染者数は減少傾向になっているものの予断を許さない状況の中で、訪問先の皆様のご尽力により活動を続けさせていただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、一昨年3月に私が組織内統一候補に選任いただいたのは、新型コロナウイルス感染症政府対策本部が設置される前日でした。4月に発出された緊急事態宣言が5月下旬に解除され6月から全国訪問を始めましたが、その後もコロナ禍は続き、昨年2月の全国支部訪問開始時においても状況は変わらず、戸惑いと焦り、不安を感じながら支部訪問が始まりました。このような中で訪問先の皆様には、感染状況や地域の実情に応じWEBの活用ほかさまざまな工夫とご配慮をいただき、おかげさまで充実した全国支部訪問とすることができました。

訪問の先々では、私のイメージカラーのグリーンのアイテムなどを身につけていただく“Something Green”が定着し、皆様と繋がっていることが実感でき大変うれしく思いました。コロナ禍にもかかわらず2年間にわたる訪問活動を無事乗り切ることができましたのも、都道府県薬剤師連盟や薬剤師会の皆様のお心遣いと、訪問先で温かく迎えていただいた薬局、病院薬剤部、卸の事業所等の皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私の役割は、薬剤師として国民が健康で安心して暮らせる社会を次世代につないでいくことであると考えております。より可能性に満ちたこの国の輝く未来に向けて、神谷まさゆきは行動します。

4月からは重点地区の訪問活動を予定しております。神谷まさゆきへのこれまで以上のご支援をよろしくお願いいたします。

### 全国幹事長連絡協議会 開催

昨年2月に開始した全国支部訪問は3月で一区切りとなり、4月からは地元の愛知県を皮切りに重点地区訪問を開始しております。

さて、3月21日(祝)に「70達成!やるっきゃない!!」をメインテーマとして、全国幹事長連絡協議会が開催されました。山本会長の開会挨拶、本田顕子参議院議員の励ましのご挨拶に続き、藤井基之参議院議員より「令和の薬剤師」と題して特別講演が行われました。続いて私から、全国支部訪問ではコロナ禍の中で皆様のご尽力が大きな支えになったこと、藤井基之先生の後継として本田顕子先生との二人体制を堅持し現場の薬剤師の声を国政に届ける役割を担うべく、残された時間を全力で駆け抜けていく決意であることをお話しさせていただきました。

次に、大澤副会長の基調講演「名簿の進捗等について」に続きスモールグループディスカッションが行われ、参加者を代表して東京都薬剤師連盟と大阪府薬剤師連盟より目標達成に向けた方策が発表され、岩本幹事長の総括、鳥海副会長の閉会挨拶で終了しました。

藤井基之先生と本田顕子先生のお話に私自身が鼓舞されるのを感じ、グループディスカッションで熱のこもった議論に触れて参加者の皆様と想いをひとつにすることができました。この想いを夏の決戦の時までさらに広げていけるよう取り組んでいく覚悟です。

休日にもかかわらずご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



## 神谷まさゆき君を応援しよう！！

### 公式ホームページ



### 公式 Facebook ページ 薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌



### 公式 Twitter



### LINE 公式 アカウント



LINE 公式 ID: @804mflcd

### メール マガジン



パソコンからの Email 受信拒否設定などを  
されている場合は、  
下記アドレスからの Email を  
受け取れるように設定してください。  
info@kamiya-masayuki.com

## 薬連だより

## オレンジ日記

自由民主党副幹事長・女性局長代理  
参議院議員・薬剤師 本田 顕子



### 予算委員会で質問

3月3日(木)に開催された参議院予算委員会において質問の機会をいただきました。

ロシア軍によるウクライナ侵略が継続されている情勢であったため、まず、ウクライナ情勢について質問しました。過去の経験がある日本が平和の大切さを一番知っているので、平和に向けた対策を政府にお願いし、外務省と経済産業省から答弁をいただきました。

次に、コロナ対策について、3回目のワクチンの接種状況、水際対策の段階的緩和、国内開発医薬品の海外展開への支援策、小中高における公衆衛生教育の必要性、健康危機管理庁の新設について担当省庁に質問しました。ワクチン接種についての答弁の中で、島村大厚労政務官からワクチンの分注などに携わっている薬剤師への感謝の言葉が述べられ、また、公衆衛生教育についての答弁の中で、末松信介文科大臣から学校薬剤師による指導の充実の重要性について発言されたことは、予想していなかった答弁であったため、とてもうれしく受け止めました。

最後に、後発医薬品の安定供給に向けての予算措置などについて後藤茂之厚労大臣に質問しました。2年以上にわたる供給不足に対して現場の薬剤師や薬局から悲鳴の声を聞いていること、令和4年度政府予算案に後発医薬品の使用促進事業と信頼性確保事業が盛り込まれているが、現場の関係者にとって納得できる予算であると考えてよいのかなどを質問しました。後藤大臣からは、予算の内容、品質確保のための調査体制の強化などについて答弁をいただきました。

後発医薬品はもとより、医薬品の安定供給が確保されるよう、引き続き国政の場で声をあげて行くこととしています。

### 政府予算の成立とウクライナ大統領の国会演説

○3月22日(火) 予算成立

2月22日、衆議院において令和4年度予算が可決され、参議院に送られてきました。出口を預かる参議院として、しっかり審議し議決することが参議院の役目です。予算案は衆議院から送られてきて30日以内で議決しなければ衆議院の議決が国会の議決となるため、与野党間の議会運営の駆け引きが行われる中、時間をにらみながらいつも以上に緊張感が求められる審議日程でありました。

3月22日、無事に予算が成立しました。これは戦後4番目に早い成立だったと知りました。この余韻に浸ることなく次は日切れ法案の審議に全力を注がなければ!と思いました。

○3月23日(水) ゼレンスキー・ウクライナ大統領による国会演説

国会運営は慣例に沿って行われていることが多くあります。オンライン演説は、日本の国会において前例がないため、与野党の国会対策委員長の話し合いによって、大変な調整がなされた上で実現されたものでした。

午後6時から衆議院議員会館の広い会議室を2つ使用してのものでした。スクリーンで語りかけるゼレンスキー大統領は丁寧に言葉を選びながら、まっすぐなまなざしで私たちに静かに語りかけるように演説をされました。日本のこれまでの歴史も十分知った上で日本国民に寄り添ったものでした。

有事という言葉は、本来、頻繁に使うものではありませんが、世界中にまん延している新型コロナウイルス感染症、自然災害、そしてロシアによるウクライナ侵略と、国会議員となってまだ2年半も経たないうちに有事の状態が続いています。

新年度からは診療報酬・薬価が改定され、現場の薬剤師の先生方にとっては今まさに有事の時だと拝察します。

新年度もよろしくお願い申し上げます。

## 薬連だより

## 国会レポート

参議院自由民主党政策審議会長  
参議院議員・薬剤師  
藤井 基之



### 診療・調剤報酬の改定

オミクロン株により急拡大した新型コロナウイルス感染症、ピークは過ぎつつありますが、その減少スピードは緩やかで、BA.2亜型への置き換えりによる再拡大も懸念されるところです。治療薬の提供やワクチン接種の支援等、感染症対策への薬剤師・薬局の役割が更に重要となっています。

さて、4月から診療・調剤報酬が改定されます。今回の調剤報酬の改定では、薬剤師・薬局の対物中心から対人中心の業務への転換を推進する観点から、調剤料等の評価体系を抜本的に見直し、対物業務を評価する薬剤調整料と対人業務を評価する調剤管理料に再編するとともに、服薬管理指導料が新設されました。また、糖尿病患者に対する調剤後の状況確認や医療的ケア児に対する薬学的管理の評価等、対人業務に対する評価の拡充も行われています。薬局の機能と効率性に応じた評価を見直す観点から、調剤基本料3の適用となる薬局について、これまでの同一グループでの処方箋受付回数が多い薬局に加え、同一グループの保険薬局数の多い薬局も対象になることとなりました。また、敷地内薬局を対象とした特別調剤基本料の評価の見直しも行われています。

後発医薬品調剤加算については、後発医薬品の調剤数量割合の基準をそれぞれ5%引上げて評価を見直すとともに、調剤数量割合が著しく低い薬局の減算規定の評価の見直しと対象範囲の拡充が行われています。同様に、医科における後発医薬品使用体制加算、外来後発医薬品使用体制加算の基準の見直しも行われています。

今回の改定ではリフィル処方箋が新たに導入されるなど、薬剤師・薬局の機能をさらに発揮することへの期待を強く示すものとなっています。この期待にしっかり応えていくことが、地域住民や患者からの一層の信頼向上に繋がるものと思います。

### 令和4年度予算成立

第107回薬剤師国家試験の合格発表は3月24日に行われ、9,607人の新たな薬剤師が誕生しました。合格率は全体で68.02%、新卒者に限れば85.24%と例年と同レベルの結果となっています。社会に巣立つ薬剤師の皆さんには医療提供者として、大いに活躍されるものと期待しています。

さて、令和4年度の政府予算案は3月22日の参議院厚労委員会及び本会議にて採決が行われ、与党と国民民主党の賛成多数で、原案通り可決・成立しました。国会では引き続いて、令和3年度内に措置が必要な日切れ法案等の審議が行われ、厚労省提出の「雇用保険法等の一部を改正する法律案」は、31日の参議院本会議にて可決・成立しました。雇用保険法等の改正は、新型コロナウイルス感染症による雇用情勢及び雇用保険財政への影響に対応し、令和3年度末が期限となる、雇止めによる離職者への給付日数の特例等の措置を延長すること。求人メディア等の幅広い雇用仲介事業を法的に位置づけ、安心してサービスを利用できる環境を整備すること。また、失業給付に係わる保険料率を令和4年4月から9月は0.2%、10月から令和5年3月は0.6%と激変緩和の措置を講ずること。失業給付の国庫負担について、雇用情勢に応じて機動的な対応が可能な仕組みを導入すること。等が規定されています。

新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置は、3月21日をもって全て解除されましたが、4月に入り再び感染者が増加傾向となっています。感染の拡大防止と社会経済活動の再生を如何に両立させていくかが重要課題となっています。皆様方には、薬剤投与等の治療や3回目のワクチン接種等の感染拡大防止に引き続きのご尽力をお願い致します。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>



## 第54回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会  
狩俣 イソ



ミニ薬草園にクチナシの木があります。もうすぐクチナシの花の強い上品な芳香が漂うことでしょう。花の香りは私たちが穏やかな気分になしてくれます。辺り一面立ち込めるクチナシの香りは格別です。

### クチナシ：山梔子：梔子

学名 Gardenia jasminoides Ellis  
科名 アカネ科 Rubiaceae  
属名 クチナシ属 Gardenia  
使用部位 花・果実  
成分 ゲニポサイド・クロシン・クロセチン  
マンニット・ガルデノシド・精油



### 【クチナシの名称】

古く 918 年頃に深根輔仁（ふかねすけひと）が著わした日本最古の「本草和名」には、久知奈之（くちなし）として収載されている。

名の由来は、大言海に「口無しの義、実熟すれども開かず」、白井光太郎著「樹木和名考」に「柁果（わびか）は殻ある物皆口をひらく、梔子は殻あれども口無し。故にクチナシと名づく」の記述がある。果実が開裂しないので、口なしと名付けられたという。牧野富太郎著「牧野新日本植物図鑑」に「一説に細かい種子のある果実をナシにみたて、それに宿存性の萼のことをクチと呼び、細かい種子のある果実を梨（ナシ）とし、クチのある梨の意味」とある。

沖縄ではカジマヤーギ、カジマヤーと呼ぶ。

### 【クチナシの分布・生育地】

東アジアの朝鮮半島、中国、台湾、インドシナ半島に広く分布し、日本では本州の静岡県以西・四国・九州、南西諸島の森林に自生する。野生では山地の低木として自生するが、むしろ園芸用として栽培されることが多い。

### 【クチナシの形態・生態】

樹高 1-3m の常緑の低木で株立ちする。樹皮は灰緑色～灰褐色。葉は対生で時に三輪生、長楕円形で全縁、長さ 5cm ～ 12cm、皮質で表

面に強い艶がある。葉身には、並行に並ぶ筋状の葉脈が目立ち、筒状の托葉をもつ。枝先の芽は尖っている。

花期は 6-7 月、葉腋から短い柄を出し、一個ずつ芳香がある花を咲かせる。花の直径は 5-8cm、開花当初は白色だが、徐々に黄色がかかる。上品な芳香は真夜中がいちばん強く、受粉のゆえに昆虫を引き寄せるためと考えられる。萼・花冠の基部が筒状で、先は大きく 6 裂または 5-7 片に分かれる。花はふつう一重咲きであるが、八重咲きもある。八重咲きの品種は、種子はできない。

秋 10-11 月ごろに、赤黄色の果実をつける。果実は液果で、やや苦味があり、果肉は黄色、長さ約 2cm の長楕円形、側面にははっきりした 5-7 本の稜が突き出ており、先端には 6 個の萼片が宿存していて、開裂せず針状についている。多肉の果皮の中に 90-100 個ほどの種子が入っており、形は卵形や広楕円形をしている。液果は冬に熟す。

### 【クチナシの利用】

乾燥させた果実は古く飛鳥、天平時代から黄色染料として布地の染色に、また無害の黄色着色料として、たくあんや栗きんとんなどの黄色の食品にも利用されている。また同様に黄色の色素であるゲニピンは米糠に含まれるアミノ酸と化学反応を起こして発酵させることによって青色の着色料にもなる。

### 【クチナシの薬用】

クチナシの花は一日花であるため、その日に使う分は夕方摘み取る。白い花卉を三杯酢でサラダにするとコリコリした食感で美味しく食べられる。神経が高ぶって眠れない、寝つきが悪い、眠りが浅いなどに有効。花を焼酎に漬けて花酒にし、さかずき 1 杯飲めば、不眠症が解消される。

果実は焼酎に漬け、毎日さかずき 1、2 杯飲めば便秘解消が期待できる。果実を水で煮だしたエキスには、解熱、黄疸に用いられる。胆管や腸管の狭まりを拡張させる作用があると言われている。キノコ中毒に 5 ～ 15 g を煎服する。喉が



腫れて痛む時に煎液でうがいをする。

完熟した果実の乾燥したものを、生薬で山梔子（サンシシ）または梔子（シシ）と称され日本薬局方に収録されている。未熟の果実は色素含量が少なく薬用には適さない。

薬効：吐血・喀血・黄疸・血尿・不眠症・イライラの改善、夏バテ予防、シミ・ソバカス改善、目の毛様体筋に直接働きかけ、筋肉の緊張を緩和し、酷使した目の改善、加齢による目の健康の向上にも効果が期待できる。

漢方では、消炎、利尿、止血、鎮静、鎮痙の目的で処方に配剤される。単独で用いられることはなく、黄連解毒湯、竜胆瀉肝湯、温清飲、加味逍遙散、五淋散、防風通聖散、清肺湯、清上防風湯、茵陳蒿湯、荊芥連翹湯、柴胡清肝湯などの漢方方剤に使われる。

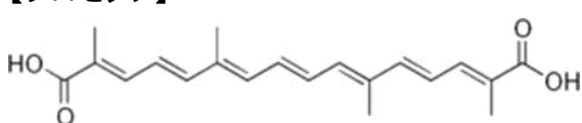
### 【クチナシの有効成分】

果実にはカロチノイド色素のクロシン・クロセチン、イリノイド配糖体のゲニポシド・ゲニポシド酸、フラボノイドや、精油などを含んでいる。

### 【クチナシの副作用】

クチナシの生薬としての用量での利用を原因とするクチナシ由来ゲニピンによる腸間膜静脈硬化症との関連示唆がある。このゲニピンはクチナシのゲニポシドの腸内細菌代謝により生成されるとされる。黄連解毒湯による副作用、加味逍遙散でも報告がある。山梔子を含む漢方製剤を長期服用し、腹痛、下痢、便秘、吐気、嘔吐などの症状、便潜血陽性があれば、投与を中止し、CTや大腸内視鏡などの検査を行う必要がある。漫然とした長期投与は要注意、定期的な検査が必要である。

### 【クロセチン】



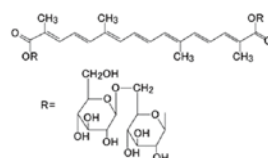
山梔子に含まれるクロセチンはβ-カロテンの仲間、分子が小さいため素早く吸収され、毛様体筋に直接働きかけて凝りをほぐし眼精疲労を軽減する。また強い抗酸化力で体内の活性酸素を除去し、血流を改善する働きがあることから、老化防止にも役立つ。

マウスに強い光を照射したのち、クロセチンを投与し通常の光環境に14日間飼育した時、視細胞の萎縮と細胞死が抑制されたことが明らかになった。これにより、光によるダメージから目を守り、さらには加齢黄斑変性症などの網膜障害を予防する可能性が示唆されている。

睡眠に軽度の問題を感じている健常な男性に対し、クロセチンを2週間摂取させたところ、ク

ロセチン摂取後は中途覚醒回数が減少したことが明らかになった。目覚めの爽快感が増すなどの自覚症状の改善も示された。

### 【クロシン】

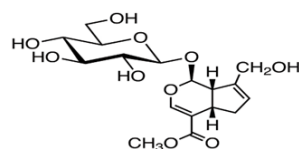


クロシンは水溶性のカロチノイド系の色素である。カロチノイドは基本的に脂溶性の分子で、クロシンのカロチノイド部分であるクロセチンの部分は、比較的脂溶性が高い。水溶性の高い糖であるゲンチオビオースを、2分子、エステル結合させているため、水溶性の性質を帯びている。

クロシンがアルコールにより誘発される記憶学習障害及びLTP（長期増強）抑制を改善する作用が明らかになった。またクロシンが海馬のニューロンにおけるN-Methyl-D-Aspartateレセプターを介したエタノールの阻害作用を改善することも解明し、クロシンの記憶学習改善作用はこの作用に基づくと推測される。このためクロシンは中枢神経系の障害改善薬として有用な天然薬物と目されている。

睡眠覚醒関連遺伝子を改変したマウスを用いて、クロシンの自発運動量や睡眠・覚醒に及ぼす効果を調べたところ、クロシンは間接的にヒスタミンによる覚醒系の抑制によって、ノンレム睡眠を誘発することを見出した。

### 【ゲニポシド】



ゲニポシドはクチナシの果実に含まれるイリドイド配糖体であり、日本薬局方生薬サンシシの確認試験（TLC）の標準物質。マウスにおける経口投与実験で、大腸内容物輸送を促進させ、その結果として下痢を起こすことが知られているほか、持続的な胆汁分泌亢進作用があるとされる。作用成分はアグリコン（配糖体を加水分解すると得られる非糖部分）と考えられ、パパペリン様鎮痙作用、胃液分泌抑制作用が報告されている。

参考 健康栄養効果効能、ハーブ薬草、わかさの秘密 e-yakusou.com 薬用植物一覧表、日本漢方生薬協会 SPOLABO、筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構、全日本民医連、長崎国際大学 薬学部 薬学科



## 玄米と私（とコロナ）



レモン薬局  
平田 崇

私は35年前から玄米を食べています。最近では世界的に日本食もブームになり、玄米もその中の1つに位置付けられています。そもそも玄米食に移行した理由としては、私が重度のアトピー性皮膚炎を患っていたことから民間療法の1つとして食事療法の中の玄米食にたどり着きました。玄米といっても、一般的な玄米ではなく酵素玄米というものです。この酵素玄米が全てを治したわけでは無いですが、徐々にアトピーが良くなり今ではきれいな肌になって快適な日常生活を沖縄で過ごしています。

酵素玄米を作るのには特殊な調理器具と時間を要します。少し調理方法を紹介します。

- ①玄米と小豆を一定時間水につける。
- ②天然塩とミネラルウォーターを加え、一定時間攪拌機で混合する。
- ③指定の圧力鍋で火力調節を行い、加圧した後、圧力を抜いてから一定時間蒸らします。
- ④指定の保温ジャーに移して数日間置いておけば完成。1日1回、軽くかき混ぜてます。

このような感じで作り始めから終わりまで約2時間はかかります。使う玄米やそこに付け足す小豆、天然塩、使用する水にまで、いろいろなルール決めがあり、現在に至るまで自

分なりにアレンジをしてストレスがないような形で気軽に作れるようになっています。

酵素玄米は炊き終えてからの④の行程が重要です。保温温度が酵素玄米に適切管理できる保温ジャーに炊きあがった玄米を入れる。美味しい酵素玄米を作るには「密閉性」と「保温性」が大事。1日に1回だけ蓋をあけて上下をかき混ぜること。保温ジャーの側面につかないように、玄米を中央に寄せて高く盛ると、表面の乾燥が防げます。ちなみに、保温温度は60～70度。食中毒の原因となる菌の繁殖を防げる温度のため、清潔な保温ジャーであれば、理論的には問題ないと思います。日が経つにつれて熟成が進みますが、個人的には4～5日が最も美味しいと思います。酵素玄米を炊き上げてから保温して日を追うごとに徐々に玄米の色が褐色に変わっていき色が濃くなっていきます。この現象をメイラード反応と呼びます。メイラード反応とは玄米と小豆の糖とアミノ酸を加熱したときに見られる褐色物質メラノイジンを生み出す反応の事です。メラノイジンの働きは、抗酸化作用、動脈硬化予防、高脂血症予防、整腸作用があり、血液をさらさらにして若々しさを保つ働きがあります。



メイラード反応  
1日ごとに熟成して美味しくなる酵素玄米



保温して置くことで玄米の糖分に含まれる酵素が活性化され、臭みのないやわらかさとモチモチとした食感になります。玄米のパサパサが苦手という人でも、美味しく食べられるのが酵素玄米の特徴の一つです。

「モチモチとした食感」はお米を炊いた際に生じる食感や粘り気を指し、糸を引くような粘り気は腐敗を指すのでその違いに注意しなければなりません。酵素玄米も、保湿状態によっては、多少の臭み（腐敗の初期）が感じられることがあります。発酵と腐敗は隣り合わせの環境下でできるものなので、食べる際は十分に気をつけています。

確かに玄米は体にいいのですが、だからといって玄米ばかり食べて重い病気になる人も

います。「健康のため!!」と神経質になりすぎて、それがストレスになれば、かえって毒になります。玄米を普通に炊いて普通に食する「健康!健康!」と力みすぎない事が重要と考えて日々過ごしています。

余談ですが、現在の職場の環境は門前のクリニックが早期にコロナ対応していたので、コロナ関連の業務が多く、発熱外来は勿論、ワクチン後の解熱剤の零売やコロナ後遺症患者様のサポート、3月時点で累積約1,000名のコロナ陽性の患者様の対応をさせていただきました。この環境下でもコロナ感染していないのはもちろん感染対策は十分行っていますが、酵素玄米の効果??なんて妄想しています。

次号には、喜友名 朝史 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい!

## 会 報 原 稿 募 集 の ご 案 内

### 広 報 委 員 会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

#### 【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

#### 【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

#### 【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

#### 【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。



#### ☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10

TEL 098-963-8930

FAX 098-963-8932

e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp



## 転載記事

### ファーマシーニュースブレイク

2022年2月28日月曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2079号



薬師・薬剤師のためのニュースメディア

**HARMACY NEWSBREAK**

© 2022じほう

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

## 薬学部設置の基本方針策定へ

### 沖縄県、来年度予算案

沖縄県は2022年度、県内初の薬学部設置の基本方針を策定する。一般会計当初予算案に約1100万円を計上した。県内の3つの国公立大の中から設置大学を選ぶために、県として求める薬学部の役割や機能を固める。

県は20年度、県として初めて薬学部設置の可能性を探る事業に取り組んだ。薬剤師需給などの調査から、「新設の必要性は高い」と判断していた。21年度は、国立の琉球大や公立の名桜大など県内の国公立大にヒアリングを実施。設置する場合の課題や求める支援策などを聞き取っている。調査結果を踏まえ、22年度事業では、県内の地域事情を踏まえながら将来を見据えた薬学部像を描くため、基本方針を策定する。

### ファーマシーニュースブレイク

2022年3月15日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2090号



薬師・薬剤師のためのニュースメディア

**HARMACY NEWSBREAK**

© 2022じほう

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

## 参院沖縄区に古謝氏、薬剤師で元総務官僚

### 自民党新人の38歳

今夏の参院選沖縄選挙区に、薬剤師で元総務官僚の古謝玄太氏(38)が立候補する。今月10日に自民党が公認。7月にも予定される選挙戦に向けて準備を進めている。

古謝氏は那覇市出身。東京大薬学部を卒業後、総務省秘書課長補佐などキャリア官僚を経て、現在はコンサルティング会社に勤務。地域活性化や地方創生などの分野に関わっているという。

今夏の参院選の薬剤師候補はこのほか、比例代表に日本薬剤師連盟が組織内統一候補として擁立する神谷政幸氏(43)も立候補する。神谷氏も新人で、現職の藤井基之参院議員(自民)の後継に位置付けられている。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

ファーマシーニュースブレイク

2022年5月11日水曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2125号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2022じほう

**PHARMACY NEWSBREAK**

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

## 薬学部新設、支援先大学や時期も明記へ

沖縄県が基本方針で、1学年100人でも「定員割れ考えにくく」

沖縄県は今年度、県内初の薬学部新設に向けた基本方針を策定する。財政面を含む支援内容を検討し、10年単位の設置時期も盛り込む予定。2023年度内には、候補となる国公立大3大学の中から県としての支援先を選定するなど、具体化を進めていく。県がまとめた報告書では、1学年の定員は100人程度でも国公立大であれば定員割れは考えにくいとし、地元出身者を優遇する「地域枠」の設定にも言及している。

沖縄県では薬剤師不足を背景に、薬局に求められる業務を断念したり、地域医療を支える薬局が閉店したりしているという。薬学部新設により、経済的な理由から薬学部進学を断念していた学生の薬学部進学を促し、県内実習を通じて、薬学部卒業生の県内就職を高める狙いがある。

新設候補となっているのは、国立の琉球大、公立の名桜大と県立看護大。早期新設に向けて、基本方針には、▽期待する薬学部ビジョン▽目指すべき新設の時期▽支援内容一などを盛り込む。策定に向けて、県は今夏以降、3大学や県薬剤師会の関係者を集めた推進協議会を発足させる。

### ●課題に教員確保「困難」の指摘も

県は21年度、前年度に続き薬学部新設の可能性を探る報告書をまとめた。薬学部新設に向けて想定される課題を主に7項目に整理。1つ目は、国家試験に合格できる教育効果と学部経営に直結する学部定員数で、県外の国公立大薬学部の定員を参考に100人程度と想定しても私立大よりも国公立大薬学部は学費が低くなることから「定員割れとなることは考えにくく、県外からの入学希望者も比較的多いものと期待される」とした。また、県内出身の入学者の確保に向けた「地域枠」の設定も促している。

教員確保については、「公募だけで55～60人規模の教員確保は困難」と指摘。90億円程度と見込まれる施設整備費は、「国の補助制度などの活用を前提に県が主体となって費用確保のめどを立てることが必要」とした。このほか、学部運営のランニングコストや実習受け入れ先の確保なども課題として挙げている。

### ●経済波及効果も試算

今回の報告書では、薬学部新設による地元への経済波及効果なども分析。定員100人（学部生600人）とした場合、大学側の▽初期コスト約92.5億円▽ランニングコスト約10.5億円▽運営費交付金や授業料などの収入約10.5億円一を想定。一方で経済波及効果としては、施設の建設、設備の整備といった初期投資による効果が計125億円程度、学部の教育・研究活動や学生の消費活動で年間22億円程度の経済効果もあると試算した。このほか、理科系進学希望者の県外流出の抑制や若者人口の増加、沖縄の天然資源を活用した創業産業の発展などにもつながる可能性があるとした。

県は沖縄21世紀ビジョン基本計画の「改定計画」に「薬剤師の確保」を明記。今夏には沖縄県知事選を控えるが、「薬学部新設の方向性は変わらない」という。

（折口 慎一郎）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



## 転載記事

### ファーマシーニュースブレイク

2022年5月16日月曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2128号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

**HARMACY NEWSBREAK**

© 2022じほう

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

## 「健康」含む新たな産業構造に意欲

参院選沖縄区古謝氏、薬学部新設は「創薬人材創出にも」



今夏の参院選沖縄選挙区に自民党新人として立候補を予定する元総務官僚で薬剤師資格を持つ古謝玄太氏は11日、じほうの取材に応じ、健康分野を含む沖縄の新たな産業構造の構築に意欲を示した。薬剤師不足を背景に検討が進む県内初の薬学部に対しては、地元の創薬産業などを引っ張る人材育成の役割を担うことの必要性も訴えた。

古謝氏が目指すのは、基地、公共事業、観光の頭文字を取って「3K」と呼ばれる沖縄の産業構造の転換。沖縄のリーディング産業である観光業を伸ばしつつ、新たに健康、環境、海洋、起業の「5K」を軸にした経済を目指す。「観光は（新型コロナウイルス感染症など）外的な要因に左右されやすい。他の産業をどう伸ばしていくかが大きな課題だ」と話す。

沖縄県には薬学部がない。古謝氏は「志を持った人材が県外に流れている現状があると聞いている。しっかり県内で育て、県内で活躍できる環境を整備することは、沖縄のために大事なこと」と話す。その上で、「沖縄は独特の自然環境や食文化によって健康長寿の島だった歴史がある」とし、薬剤師を輩出するだけでなく、創薬や健康産業を担う人材育成の重要性も指摘した。

### ●医療界からの支援「ありがたい」

古謝氏は那覇市出身。38歳。東京大薬学部を卒業後、総務省に入省し、内閣官房副長官補室で、琉球大医学部・付属病院が移転を予定する西普天間住宅跡の活用などにも関わった。「いつかは沖縄に恩返ししたい」という思いをずっと抱いていたと語る。そうした中で関係者からの打診もあり、参院選立候補を決めた。

薬剤師資格を持ちながらも、薬学や医療と離れた課題に取り組むことが多かったため、他団体に先駆けて推薦するなどした県薬剤師会の存在に「びっくりするとともに、とてもありがたい」と話す。親が医師であるつながりで、県医師会からの応援もあるといい「医療界からかなり応援していただき、本当にありがたいと感じている」と話す。

### ●復帰50年「沖縄の未来を描くべき」

15日には沖縄の日本復帰50年を迎えた。古謝氏は過去を振り返るのは大事だとしつつ、「これからの沖縄の未来を描くべきだ。制度や技術開発、予算支援など、望ましい沖縄の未来をどうやって実現できるか。このタイミングで『どうするか』を考え、未来を一步步作っていく」と意気込みを語った。

今夏の参院選沖縄選挙区には、現職の伊波洋一氏も立候補を表明している。

(折口 慎一郎)

転載記事

沖縄タイムス：令和4年3月19日（土）

# 抗原キット 県内に浸透

## 家で検査・判定30分 手軽さで購入者増

県内で新型コロナウイルスの感染者数が下げ止まる中、PCR検査より手軽に感染確認できる抗原検査キットの活用が広がっている。濃厚接触者でも陽性であれば勤務も可能なところから、薬局や薬剤師会には個人や民間企業、学校から購入などの問い合わせが来ており、売り上げが1カ月前に比べ5倍に伸びた店も。専門家はPCR検査、抗原検査それぞれのメリットを主とした活用を提唱する。

（社会部・銘功一哲、玉城日向子）

抗原検査キットは薬局で千円台で買えるものも多く、自分で鼻などから粘膜を拭いて、検査薬に漬けると30分ほどで結果が出る。県内で1日十人を超える感染者が出ていた1月ころは、薬局に行けなかったり全国的に品薄となつたため、国が増産に取り組み、購入しやすくなった。

沖縄市のある薬局では、2月は週に10個ほどが出る程度だったが、今週はすでに50個を販売。那覇市の薬局でも問い合わせは増えたという。「病院や検査場に行かず、自分で判断できるため買う人が多い」と話す。名護市の薬局では、教員が10個近くまとめ買いするケースも多いという。

県薬剤師会にも保育施設や企業などから「どこで買えるか」などの問い合わせがある。薬剤師の糸原達さん（59）は「キットを常備する家庭も増えたようだ」と話す。活用方法として、4人以下2時間以内で会食する前に陰性を確認することなどを挙げた上で、購入の際は「研究用」と書かれたものではなく「医療用」を使用するよう注意を呼び掛けた。

感染症に詳しい県立中部病院の高山義浩医師も、沖縄は民間PCR検査場が多い一方で北部地域や離島などはアクセスが難しく、薬局で購入できる抗原検査キットの有用性は高いと話している。

PCR検査に関する検査について「PCR検査は、自分が感染しているかある程度分かる。抗原検査は周囲への感染力があるかの目安が得られる」と説明。

発熱もなく症状が軽微で受診すべきか悩む程度であれば、すぐに結果が得られる抗原検査が有用とする。休むのが原則とした上で「陰性であれば、マスク着用など周囲への感染予防を徹底しながら一定の活動は容認される」と考えた。

PCR検査の結果が判明するのは2日ほどかかるが、抗原検査は数十分で結果が分かるため迅速性があるとし、「二つの検査を使い分けながら、積極的に活用することで、社会活動を円滑に進めることにつながる」と話した。

| PCR検査                                              | 抗原検査                                                       |
|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 当日か数日                                              | 約30分                                                       |
| 現在感染しているかを調べる。精度は高いが判定まで時間がかかる。検査のため病院や検査場に行く必要がある | 現在感染しているかを調べる。精度はPCRより劣るが陽性の場合には他人への感染性が低い。薬局で購入し自宅で検査ができる |
| 発熱など症状が重い人、感染者との接触が明らかな人、感染の不安がある人など               | 発熱はなく感染者との接触もないが鼻や喉の違和感などを感じる人など                           |

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

お知らせ

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧ください！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>

日薬通達

日本薬剤師会（令和4年2月16日付け日薬業発第438号）より、「令和3年度医薬品販売制度に関する自己点検結果」について、会員へ周知する旨の以下通知がありました。

会員におかれましては、より一層の法令遵守の徹底を周知いただくとともに、法令遵守ができていない薬局・店舗販売業におかれましては、直ちに改善できるようお願い申し上げます。

令和3年度医薬品販売制度に関する自己点検結果について

本年度の実施結果は、自己点検表を配布した薬局・店舗数が49,293軒、うち回答のあった薬局・店舗数が40,352軒（81.9%）であり、回答のあったうち「該当する全項目について適切に実施していることを確認できた」薬局・店舗数は39,336軒（97.5%）でした。

本点検は、会員の従事する薬局・店舗において、医薬品販売に関する法令上のルールを自ら点検し、その遵守状況を確認することを目的として取り組んでいただいております。

国民の安全・安心な医薬品の使用のためには、医薬品販売制度に則った対応を形骸化させることなく、専門家としての薬剤師の関与と適切な提供体制が不可欠です。

本期間に点検を実施できなかった薬局・店舗においても、期間に限らず点検を実施いただき、全ての薬局・店舗において法令遵守の徹底に向けて対応していただきたく存じます。

また、今般、医薬品販売制度等に係る資料を改訂しましたので（令和4年1月27日付け日薬業発第407号にて既報）、併せてご活用いただくと共に、地域住民に対して、公衆衛生や急性疾患対応の視点を含めた医薬品等の提供を目に見える形で実施していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜実施概要＞

- ・会員の従事する薬局・店舗を対象として、自己点検表（次頁）を配布。
- ・各薬局・店舗が自己点検表を用いて、名札、掲示、陳列に関する事項（4項目）、リスク分類別の販売時の確認に関する事項（15項目）をチェックの上、各項目を確認したことを、都道府県薬剤師会を通じて日本薬剤師会へ報告。
- ・実施期間：令和3年10月12日（火）から12月10日（金）
- ・昨年度に引き続き、「第1類医薬品における文書を用いての情報提供」及び「濫用等のおそれのある医薬品の複数購入」の項目について重点項目としたほか、「濫用等のおそれのある医薬品」の規制の対象となっていない総合感冒薬等についても「濫用等のおそれのある医薬品」と同様に扱うことを確認項目とした。
- ・令和4年1月からのセルフメディケーション税制の延長及び拡充を受けて、需要者が適切に制度を活用できるよう、各薬局・店舗で対応を確認するため、確認項目とした。

＜自己点検の収集結果の概要＞

|                                            | 薬局・店舗数 | 率（％）      |
|--------------------------------------------|--------|-----------|
| ①：対象薬局・店舗数                                 | 49,293 | —         |
| ②：自己点検を実施した旨の報告が得られた薬局・店舗数                 | 40,352 | 81.9（②÷①） |
| ③：②のうち、該当する全項目について、適切に実施していることを確認できた薬局・店舗数 | 39,336 | 97.5（③÷②） |



## 令和3年度 医薬品販売制度等に関する自己点検表

- ◆この自己点検表は、医薬品販売制度等における主なルールを確認するためのものです。
- ◆**OTC医薬品の取り扱い有無に関わらずご確認ください**（※Ⅱ、Ⅲは取り扱い医薬品に応じた項目についての確認）。
- ◆各店舗の業務と照らし合わせ、適切に実施していることを確認の上、各項目の確認欄にチェック☑を記入してください。
- ◆令和元年度厚生労働科学特別研究事業において、「濫用等のおそれのある医薬品」として指定されているものだけでなく、その用途から「濫用等のおそれのある医薬品」の規制の対象になっていない製品においても頻回購入及び複数個購入の実態が確認されたことから、本自己点検では規制の対象になっていない医薬品を含め確認をお願いします（注2）。
- ◆令和4年1月より、セルフメディケーション税制の期限延長及びスイッチOTC医薬品以外の一部のOTC医薬品に対象が拡大されること等を受けて、需要者が適切に制度を活用できるよう、対応状況について確認をお願いします（Ⅲ）。

### Ⅰ.名札、掲示、陳列（OTC医薬品の取り扱いに関わらず全ての薬局・店舗）

| No. | 点検内容                                                                                                  | 確認欄 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1   | 全ての従事者は <b>名札</b> を <b>来局者</b> に見えるように着用している                                                          |     |
| 2   | <b>来局者</b> が <b>名札</b> 等により「 <b>薬剤師</b> 」「 <b>登録販売者</b> 」「 <b>一般従事者</b> 」を容易に判別できるようにしている             |     |
| 3   | 医薬品のリスク分類の定義、表示、情報提供及び指導、陳列、医薬品副作用被害救済制度に関する解説等の <b>必要な掲示</b> をしている（医薬品等の販売において、虚偽・誇大広告となる表現は使用していない） |     |
| A   | 当該薬局・店舗において <b>OTC医薬品の取り扱い</b> がある（行政に薬局開設許可申請書でOTC医薬品取り扱いの届出をしている）                                   |     |

OTC医薬品の取り扱いがある場合は「Ⅱ」を回答、ない場合のみ「B」へ

### Ⅱ.販売時の確認（リスク分類別の確認事項）

「注1」要指導医薬品のみ適用

「注2」濫用等のおそれのある指定6成分を含む医薬品**全て**が対象

| No. | 要指導 | 第1類 | 指定第2類 | 第2・3類 | 点検内容                                                                                        | 確認欄 |
|-----|-----|-----|-------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1   | ○   | ○   | ○     | ○     | 取り扱っている医薬品を <b>リスク区分別（要指導、第1～3類）</b> に陳列している                                                |     |
| 2   | ○   | ○   | —     | —     | 購入者の <b>手の届かないところ</b> に陳列している（指定第2類（濫用等のおそれのある指定6成分を含む医薬品）についても、法令事項ではないが、本対応が好ましい）         |     |
| 3   | ○   | ○   | △     | △     | <b>販売記録を作成し</b> 、それを用いて販売管理している（「△」は努力義務）                                                   |     |
| 4   | ○   | —   | —     | —     | 薬剤師が購入者に対し、当該医薬品は <b>本人が使用すること</b> を確認している                                                  |     |
| 5   | ○   | ○   | —     | —     | 薬剤師が使用者の <b>年齢、症状、他の医薬品の使用状況</b> を確認している                                                    |     |
| 6   | ○   | ○   | —     | —     | 薬剤師が <b>対面により注1</b> 、 <b>書面を用いた情報提供及び指導注1</b> をしている                                         |     |
| 7   | ○   | ○   | △     | △     | <b>情報提供及び指導注1</b> の内容を理解したこと、他に <b>質問がないこと</b> を確認している（「△」は努力義務）                            |     |
| 8   | ○   | ○   | △     | △     | 販売時にお薬手帳を所持しない場合は <b>所持を勧奨し注1</b> 、必要に応じ <b>お薬手帳等</b> を活用し <b>情報提供と指導注1</b> をしている（「△」は努力義務） |     |
| 9   | ○   | ○   | △     | △     | 販売した際は、 <b>薬剤師の氏名、薬局の名称及び電話番号等</b> を伝えている（「△」については登録販売者でも対応可）                               |     |
| 10  | ○   | ○   | ○     | ○     | 需要者から相談があった場合は、必要に応じ <b>お薬手帳等</b> を活用し <b>情報提供または指導注1</b> をしている                             |     |
| 11  | —   | ○注2 | ○注2   | —     | 取り扱っている医薬品のうち、「 <b>濫用等のおそれのある指定6成分を含む医薬品</b> 」の製品を把握している                                    |     |
| 12  | ○   | ○注2 | ○注2   | —     | <b>1人1包装単位で販売</b> している（1人1包装単位で販売する仕組みができています）                                              |     |
| 13  | ○   | ○注2 | ○注2   | —     | <b>頻回購入</b> の購入者に対しては必要な指導を行っている                                                            |     |
| 14  | ○   | ○注2 | ○注2   | —     | 当該店舗以外での <b>購入状況等</b> を確認し、必要な指導を行っている                                                      |     |
| 15  | —   | ○注2 | ○注2   | —     | 購入者が <b>若年者</b> の場合は、氏名及び <b>年齢</b> を確認している                                                 |     |

|   |                                              |     |
|---|----------------------------------------------|-----|
| B | <b>上記の当該薬局・店舗に該当する項目について適切に実施していることを確認した</b> | 確認欄 |
|---|----------------------------------------------|-----|

※実施できていない項目は、適切に改善してから確認欄にチェックを記入してください

### Ⅲ.その他（OTC医薬品の取り扱いがある場合のみ、どちらかに○を記入してください）

|   |                                                                                                                  |                            |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| C | セルフメディケーション税制対象商品について、レシート（領収書）に対象商品である旨を明記している（レシート（領収書）には、①商品名 ②金額 ③当該商品がセルフメディケーション税制対象商品である旨 ④販売店名 ⑤購入日 が必要） | <u>している</u> ・ <u>していない</u> |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|

|         |  |      |  |
|---------|--|------|--|
| 薬局・店舗名  |  | 管理者名 |  |
| TEL・FAX |  |      |  |

以上、自己点検が完了いたしましたら、ご所属の都道府県薬剤師会にご報告ください。

**令和4年1月**

- 5水○株式会社スズケン沖縄来訪 県薬会長室 前濱会長
- 11火○令和3年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合  
佐藤常務理事
- 11火○沖縄県保健医療部ワクチン接種等戦略課来訪 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 11火○令和3年度第10回理事会準備委員会 県研修室
- 12水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部  
宮城常務理事
- 12水○令和3年度第4回都道府県薬剤師会会長協議会 WEB 前濱会長
- 12水○令和3年度第2回沖縄県自然環境保全審議会 沖縄県自治研修所 島袋理事
- 12水○令和3年度第2回会営薬局委員会小会議 県薬研修室
- 14金○令和3年度自殺予防対策事業ゲートキーパー養成研修会事前会議 県薬会議室 盛本常務  
理事、島袋理事、知名理事、村田学薬部会長、長嶺主任
- 15土○令和3年度第11回理事会 県薬研修室
- 16日○令和3年度第10回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 17月○令和3年度第4回広報委員会 県薬研修室
- 18火○Pharmacist Seminar IN OKINAWA WEB 主催：日本イーライリリー株式会社
- 19水○令和3年度第2回沖縄県医療提供体制協議会 WEB 前濱会長
- 20木○株式会社じほうからの取材 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 20木○令和3年度第2回薬学部設置可能性等調査事業検討委員会事前説明会議 WEB 前濱会長、  
大城次長
- 21金○令和3年度第4回地域医療提供体制対策委員会小会議 県薬研修室
- 22土○ICTを活用した業務等に係る薬剤師の資質向上オンライン研修会 WEB 宮城常務理事・西  
川常務理事・盛本常務理事、長嶺主任、金城主任
- 23日○**令和3年度女性薬剤師部会第1回妊娠・授乳とくすり研修会** 県薬ホール及びWEB 主催：  
女性薬剤師部会
- 24月○令和3年度第2回薬学部設置可能性等調査事業検討委員会 WEB 前濱会長、中村副会長、  
大城次長
- 24月○令和3年度第2回薬事情報委員会 県薬会議室
- 24月○**令和3年度第2回栄養管理に関する研修会** 県薬研修室及びWEB
- 24月○令和3年度第3回会営薬局委員会 県薬ホール
- 25火○令和3年度第2回沖縄県薬事審議会の打合せ会議 県薬会議室 前濱会長、津波昭史沖縄県  
保健医療部衛生薬務課主幹、吉本尚志沖縄県保健医療部衛生薬務課技師、大城次長
- 26水○沖縄タイムス社会部訪問 沖縄タイムス社 前濱会長、吉田理事、大城次長
- 27木○令和3年度第3回沖縄県国民健康保険運営協議会 WEB 宮城常務理事
- 27木○令和3年度第2回沖縄県薬事審議会 八汐荘及びWEB 前濱会長、村田副会長、中村副会長
- 27木○令和3年度第3回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 28金○令和3年度日本薬剤師会研究推進に関する全国会議 WEB 潮平英郎、金城主任
- 29土○令和3年度薬局実務実習受入に関する九州・山口地区ブロック会議 WEB 前濱会長、佐藤  
常務理事



**令和4年2月**

- 1火○令和3年度第2回医療保険委員会 県薬ホール
- 2水○令和3年度沖縄県「健康おきなわ21」推進協議会 WEB 西川常務理事
- 3木○第3回九州山口各県薬剤師会代表者会議 WEB 前濱会長、川満副会長
- 3木○九州ブロック日本薬剤師会代議員予備会議 WEB 前濱会長、川満副会長
- 3木○令和4年度実務実習受入薬局指導薬剤師事前説明会 県薬研修室 佐藤常務理事、宮城常務理事、仲真良重（薬学生実務実習受入委員会）
- 4金○令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業の広報について（訪問） 沖縄市役所 前濱会長、玉城武範、大城次長
- 4金○令和3年度第4回沖縄県がん診療連携協議会 WEB 前濱会長
- 4金○八重山地区高血圧・心不全治療を考える会 アートホテル石垣島及びWEB 主催：大塚製薬株式会社
- 4金○**令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る研修会②** 県薬ホール
- 5土○令和3年度学校薬剤師部会ブロック連絡会議 県薬研修室 前濱会長、川満副会長、知名理事、村田部会長、新垣紀子、長嶺主任
- 6日○**認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習会** 県薬ホール
- 7月○沖縄県医療審議会並びに医療法人部会 県庁 前濱会長
- 7月○令和3年度第11回理事会準備委員会 県薬研修室
- 8火○健康長寿おきなわ復活県民会議 書面開催 前濱会長
- 9水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 9水○2022年アンチ・ドーピング研修会（主催：沖縄県スポーツ協会） 沖縄県スポーツ協会 吉田理事、笠原大吾
- 9水○令和3年度第4回学術研修委員会 県薬研修室
- 11金○令和3年度薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業次世代薬剤師指導者研修会 WEB 上原理事、喜友名朝史、上川畑剛、鈴木毅、宮良善朗、金城主任
- 12土○令和3年度第12回理事会 県薬研修室
- 13日○**令和3年度成育医療分野における薬物療法等に係る研修会③** 県薬ホール
- 13日○令和3年度第11回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 14月○令和3年第2回保健福祉委員会 県薬研修室
- 16水○**令和3年度会営薬局うえはらの無菌調剤室を共同利用するための研修会** WEB 西川常務理事
- 17木○令和3年度第3回薬学部設置可能性等調査事業検討委員会事前説明会議 WEB 前濱会長、大城次長
- 17木○中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会 WEB 主催：MSD株式会社
- 18金○高齢者心房細動診療最前線～生涯に渡る最適な治療を考える～ 沖縄県医師会及びWEB 主催：第一三共株式会社
- 20日○**令和3年度医療安全講習会** 県薬ホール
- 21月○令和3年度第3回薬学部設置可能性等調査事業検討委員会 WEB 前濱会長、中村副会長
- 21月○**令和4年度第1期薬局実務実習オリエンテーション** 県薬ホール
- 21月○令和3年度第1回法務対策委員会 県薬研修室
- 22火○沖縄県薬剤師確保対策事業・沖縄県UIターンガイダンス（徳島文理大学薬学部） WEB 吉

本尚志沖縄県保健医療部衛生薬務課技師、大城次長

22火○令和3年度第1回薬学部創設推進特別委員会 県薬会議室

24木○第47回沖縄うふいち会 WEB 主催：アストラゼネカ株式会社

25金○令和3年度第1回財務委員会 県薬研修室

28月○沖縄県スポーツ協会令和3年度スポーツ医・科学サポートプログラム調整会議 WEB 吉田理事、笠原大吾

## 令和4年3月

1火○令和3年度第2回健康づくり推進協議会 WEB 盛本常務理事

2水○Diabetes & Incretin Seminar in 沖縄 WEB 主催：大日本住友製薬株式会社

3木○令和3年度学校薬剤師全国担当者会議 WEB 知名理事、村田成夫学薬部会長

5土○日本薬剤師会第99回臨時総会 ホテルイースト21東京及びWEB 前濱会長、川満副会長、亀谷相談役

6日○**令和3年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング(女性薬剤師部会)** 県薬ホール

7月○令和3年度第12回理事会準備委員会 県薬研修室

8火○New Normalの心不全治療フォーラム WEB 主催：アストラゼネカ株式会社

9水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 書面表決 宮城常務理事

9水○**沖縄県交通遺児育成募金贈呈式** ラジオ沖縄 前濱会長、大城次長

9水○第15回美ら島薬学セミナー WEB 主催：持田製薬株式会社

10木○令和3年度第3回沖縄県自然環境保全審議会 八汐荘 島袋理事

10木○**在宅訪問業務に係る座学研修会** 県薬ホール 西川・盛本両常務理事

11金○沖縄女性の片頭痛を考える会 ノボテル沖縄那覇及びWEB 主催：持田製薬株式会社

11金○第24回OCEAN研究会 WEB 主催：大日本住友製薬株式会社

12土○令和3年度第13回理事会 県薬研修室

13日○令和3年度第11回学校薬剤師部会役員会 県薬ホール

13日○**令和3年度自殺予防対策事業ゲートキーパー養成研修会** 県薬研修室及びWEB

14月○令和3年度沖縄県子ども医療電話相談事業（＃8000）運営協議会 沖縄県医師会 西川常務理事

16水○令和3年度日本薬剤師会実務担当者研修会 WEB 吉田理事

16水○沖縄県スポーツ協会令和3年度第1回スポーツ医・科学委員会 WEB 吉田理事、笠原大吾

17木○沖縄県理学療法士協会令和3年度沖縄県受託事業振り返り会議 WEB 盛本常務理事

18金○令和3年度沖縄県自殺対策連絡協議会 書面表決 島袋理事

20日○第76回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ WEB 宮里威一郎、松田絵理菜

20日○**沖縄県薬剤師会第85回臨時総会** 県薬ホール

24木○**令和3年度禁煙支援薬剤師認定研修会** 県薬研修室及びWEB

28月○**令和3年度青年薬剤師部会主催研修会** 県薬研修室及びWEB

29火○沖縄県医療審議会 県庁 前濱会長

29火○令和3年度第2回沖縄県保険者協議会 WEB 上原理事

29火○九州厚生局沖縄事務所長来訪 県薬会長室 前濱会長

31木○沖縄県市町村議会議員との意見交換会 県薬ホール 前濱会長、西川常務理事、石川理事、知名理事、上原理事、大城次長、玉寄係長、長嶺主任、平安山（事務局）

沖縄県薬剤師連盟

令和4年1月

- 5水○國場幸之助議員より新年挨拶の面会 県薬会長室 前濱会長、大城次長  
 30日○九州ブロック 神谷まさゆきを励ます会 WEB 石川幹事長  
 31月○神谷まさゆき中央後援会 選挙活動マニュアル説明会 WEB 石川幹事長、大城次長、玉寄係長、長嶺主任、稲嶺主任、金城主任  
 31月○令和3年度第5回薬剤師連盟職員定例会議 県薬会議室 前濱会長、石川幹事長、大城次長、玉寄係長、長嶺主任、稲嶺主任、金城主任

令和4年2月

- 2水○神谷まさゆき中央後援会主催：事務担当者会議 WEB 大城次長、玉寄係長、稲嶺主任、金城主任  
 7月○渡嘉敷奈緒美氏来訪 県薬研修室 前濱会長、石川幹事長、川満副会長、大城次長  
 11金○JPL（日本女性薬剤師）フォーラム WEB 与儀和子総務

令和4年3月

- 1火○令和3年度第6回薬剤師連盟職員定例会議 県薬会議室 前濱会長、石川幹事長、知名組織強化担当、大城次長、玉寄係長、長嶺主任、稲嶺主任、金城主任  
 4金○令和3年度第3回沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室  
 20日○沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会 県薬ホール  
 30水○令和3年度日本薬剤師連盟評議委員会 AP日本橋 前濱会長  
 30水○神谷まさゆきを激励する会 AP日本橋 前濱会長

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

千田 兼徳 先生（享年74歳） 令和4年3月15日ご逝去  
 松村 喜子 先生（享年61歳） 令和4年3月27日ご逝去  
 江口 幸典 先生（享年67歳） 令和4年4月15日ご逝去  
 神谷 正秀 先生（享年79歳） 令和4年5月12日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。  
 （香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】沖縄県薬剤師会事務局（玉寄・大城）：098-963-8930



## 誌上ギャラリー（裏表紙）について

- 上 「キューケンホフ公園」 photo by 成川 玲子（有限会社成和興産） 撮影地：オランダ  
広い公園には、小川が流れ、白鳥たちが舞い、多種多様な花々が見事に手入れされ、最高に美しい公園でした。
- 左下 「こぼれ日の中」 photo by 平良 恭子（薬局えぱーわーな〜） 撮影地：糸満市  
目の周りの白が目立っちゃってますが、そっとそっとお見守。
- 右下 「3兄妹ぬくぬく」 photo by 伊集 智英（くはら薬局） 撮影地：知念村  
野良猫がぬくぬくとしているところに忍び寄り撮りました。警戒心マックスです。

### 編 集 後 記

季節も変わり、だいぶ暖くなりました。今年も無事(?)新年度になりました。、未だコロナの影響を受け、入学式などが延期になったりとまだ通常には程遠い状態と言わざるを得ない状態です。ですが、徐々に日常が戻ってきているような気もしています。とはいっても本年度は診療報酬改定もあり、年度明け早々、届け書類の山に右往左往している状態です。私のモットーは「今、やることは後でもできる！」なので、期限ギリギリでいつも追い詰められています。いい加減この性格は直さなあかん…。(松)

恥ずかしながら防災セットを作っていないことに気づき慌てて準備を始めた。沖縄に住んでいると毎年の台風があるので、ある程度の飲食物の備蓄は常にあり、停電時も慌てなくなった。自宅での避難は慣れたものである。でももし家に居られないような有事が起きたら？時間をかけずに必要なものをまとめてすぐ家を出られるだろうか？幸い今はネット検索すると「本当に必要な防災グッズ」や「いらなかったもの」などの情報が溢れている。必要なもの、いらないもの、吟味しているとふと自分が何を大事にしたいかが見えてくる気がした。(ライチ)

石垣島マラソンが3月20日に開催され、フル部門に出場してきた。体力的にはきつかったが、私自身2年以上ぶりの大会を心から楽しめた。当日のサプライズゲストとして、石垣島が生んだスーパースター具志堅用高さんがスターターを務め、8時30分スタートにも関わらず8時29分までその軽快なトークで会場を盛り上げてくれた。今大会は新型コロナの影響で1月の予定が延期になったこともあり、当初の2303人のエントリーに対し出場したのは1477人だった。感染対策として出場者には大会前2週間の健康観察や大会前48時間以内のPCR検査の陰性証明の提出、スタート前・ゴール後はマスクを着用することなどが義務付けられた。他県では昨年から少しずつ色んな大会が復活してきているが、沖縄県ではコロナ渦になって以来、今回の石垣島マラソンが初めての実地の大会である。今大会を開催して下さった大会主催者・関係者・ボランティアの方々に感謝したい。感染対策をしっかりすればマラソン大会を開催できるという、今後に向けての第一歩になったのではないと思う。この大会をきっかけに今後少しずつでも県内のマラソン大会が復活していくことを祈る。(ハンバーグ)



今月号の会報に本田顕子議員が参議院予算委員会で、後発医薬品の安定供給に向けての予算措置などについて、2年以上にわたり供給不足が続いて現場の薬剤師や薬局から悲鳴の声が上がっていると、後藤茂之厚労大臣に質問したとの報告を見て、密かに拍手喝采をした。当薬局では未だに後発品の入手困難が続いている。なかで先発品ではあるが「リマチル」の事が忘れられない。後発品のブシラミンを手掛ける日医工、小林化工が業務停止処分を受けた影響で、先発品を扱うあゆみ製薬に注文が殺到し出荷停止となってしまったのだ。当薬局では「リマチル」服用者が一人、「ブシラミン」服用者が二人だった。「ブシラミン服用者」の一人は中止、一人は他薬へ変更。問題は「リマチル服用者」のSさん。Sさんは広域病院からの転院で最初に「私はリマチルでないと駄目なのでジェネリックに変えないで」と念を押された方である。リマチルを何度注文してもいっこうに入ってこないののでメーカーに確認したら「製造はしているのですが・・・」とおっしゃる。とうとうSさんが来局されてDr、は別の薬を処方。Sさんは拒否だったが幸い40錠ほど残っていたリマチルをお渡したので、大事そうにして持って帰っていった。次回いらしたとき、幸いにも前日に100錠入荷したので、そのままお渡しして、その後は細々と切らさずにお渡しすることが出来て胸をなで下ろしているところである。(ピアナ)

4月に調剤報酬の改定がありました。自分としては今回の調剤報酬に何とか適応できるように前もって学習しようと思い、ネットで情報を探していたところ、webでの講演会が行われていたり、SNSで分かりやすく解説している方もいて、とても勉強になりました。特にTwitterでは、情報をわかりやすく提供してくれるだけでなく、医薬品の供給情報もいち早く提供してくれるので、仕事でも大活躍しています。昨今、SNSの使い方については問題視されることが多いですが、活用の仕方次第では自分を助けてくれるツールの1つになると実感しました。また、YOUTUBEでも参考になる情報が多くあるので、ぜひ活用してみてください。(ちゃげ)



## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp  
**■事務局** TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬事情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937  
**■会営薬局医療センター前** TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932  
**■会営薬局うえはら** 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567  
**■会営薬局とよみ** 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報

第312号 令和4年5月26日発行

◇次号は、令和4年7月下旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・運天芳生・宮本直樹  
 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子  
 八重山地区通信員／安村慶子 事務局／大城喜仁

印刷：株式会社 東洋企画印刷



誌上ギャラリー（会員作品）

お気軽にご投稿下さい。

